



2025 兵庫教育大学 大学院案内

Graduate School,
Hyogo University of Teacher Education

学校教育研究科
修士課程
専門職学位課程(教職大学院)

日本の教師教育をリードする 兵庫教育大学大学院で豊かな学びを



兵 庫教育大学は、大学院における教員の養成・研修を中核とする新しいタイプの教育大学として、1978年に創設されました。以来、日本の教師教育をリードするトップランナーとして、学校現場の課題やニーズ、教育政策の変化に応じて、大学院の専攻・コースを刷新し、カリキュラムを改善してきました。そのような本学大学院は他の教育系大学院にはない、次のような特色を持っています。

- 理論と実践の往還・融合を重視した教育・研究(教育実践学)を行っています
- 文部科学大臣指定の「教員養成フラッグシップ大学」として、Society5.0時代の教員養成・研修の研究開発に先導的に取り組んでいます
- 教育長、校長などの管理職から、教務主任、生徒指導主事、特別支援教育コーディネーターなどのミドルリーダー、新任教員やスクールカウンセラーまで、学校教育の多様な専門職の養成プログラムを展開しています
- 対面とオンラインを併用した教育効果と利便性の高い授業を行っています
- 日本全国どこからでも、職場を離れずに学べる「フレックスクラス」をほぼすべてのコースに設置し、現職教員等の多様な学びのニーズに応えています
- 現職教員等の学生とこれから教員や心理専門職になろうとする学生との学びの交流があります
- 就職支援が充実しており、ほぼすべての修了生が教員や心理専門職に就職しています
- 現職教員等も多く学ぶ本学博士課程への進学道が開かれています

本学大学院に入学されて、ご自分の可能性を最大限に伸ばし、キャリアアップと豊かな人生を実現してください。

国立大学法人兵庫教育大学長

加治佐 哲也

兵庫教育大学のビジョン

- 1 教師教育のトップランナー
- 2 学生の持てる力を最大限に引き出す大学
- 3 成長し続ける大学

兵庫教育大学のミッション

- 1 現職教員に対する高度な専門性と実践的指導力の育成
- 2 豊かな人間性と確かな実践力を持った新任教員及び心理専門職の養成
- 3 教育実践学の推進
- 4 教師教育の先導的モデルの構築
- 5 教育研究成果の国内外への発信

3専攻17コース

全国最大規模の教員養成系大学院

本学大学院学校教育研究科は、修士課程(2専攻:定員145名)と専門職学位課程(1専攻:定員155名)で構成し、それぞれの教育課程の目的に沿って学校現場を重視した教育・研究(教育実践学)を行い、以下のような人材を養成しています。

開学から40年以上が経ち、1万人を超える修了生が全国の学校現場等で活躍しています。

修士課程

人間発達教育専攻	教育コミュニケーションコース	→ p.17
	幼年教育・発達支援コース	→ p.19
	学校心理・学校健康教育・発達支援コース	→ p.21
	臨床心理学コース	→ p.23
	芸術表現系教育コース	→ p.25
	生活・健康・情報系教育コース	→ p.27
特別支援教育専攻	障害科学コース	→ p.31
	発達障害支援実践コース	→ p.33

養成する人材

- “子どもとのかかわり”から教育を捉え、多様な観点から協働的に問題解決ができる教員
- 幼年教育の理論と実践に基づき、子どもと共に希望ある未来をつくる子育て支援コーディネーター
- 教育現場における子どもの発達や教員の悩みを、総合的に支援できる心理専門職
- 障害のある児童に対し、専門的・総合的な支援を行える特別支援教育スーパーバイザー

専門職学位課程(教職大学院)

教育実践高度化専攻	学校経営コース	→ p.41
	教育方法・生徒指導マネジメントコース	→ p.43
	言語系教科マネジメントコース	→ p.45
	社会系教科マネジメントコース	→ p.47
	理数系教科マネジメントコース	→ p.49
	小学校教員養成特別コース	→ p.51
	グローバル化推進教育リーダーコース	→ p.53
	教育政策リーダーコース	→ p.55
	授業実践課題探究コース	→ p.57

養成する人材

- 高度な経営力を備え、新しい学校と教育行政をつくるトップリーダー
- 授業実践や生徒指導において、学校現場で指導的役割を果たし得るミドルリーダー
- より実践的な指導力・展開力を備え、新しい学校づくりの有力な一員となり得る新人教員

CONTENTS

学長メッセージ	→ p.1
兵庫教育大学のビジョン・ミッション	→ p.1
兵庫教育大学大学院の特色ある取り組み	→ p.3
修了生が語る!大学院の魅力	→ p.7
取得できる資格	→ p.9
各コース紹介	
修士課程	→ p.11
専門職学位課程(教職大学院)	→ p.35
教育プログラム	→ p.59
修学支援	→ p.61
▶ 入学金・授業料	
▶ 奨学金制度等	
修了後の進路・就職	→ p.63
データで見る大学院生のキャンパスライフ	→ p.65
学びをサポートする充実の環境	→ p.66
▶ 加東キャンパス	
▶ 学生寄宿舍	
▶ 神戸キャンパス	
▶ カレッジバス	

兵庫教育大学大学院の特色ある取り組み

これからは小学校と中学校の
両方の教員免許が必須に

小中連携教育プログラムを開設

小学校から中学校への進学に際し、新しい環境での学習や生活に不適応を起こす、いわゆる「中1ギャップ」の解消等のため、小中一貫教育等が推進されています。平成28年度からの改正学校教育法の施行により、「義務教育学校(9年制)」の設置が可能となりました。令和5年度学校基本調査によると、全国に義務教育学校207校(前年度から29校増)が設置されて

おり、小中一貫型小・中学校も合わせ、その設置数は年々増加しています。これに伴い、中央教育審議会において、義務教育9年間を見通した児童生徒への指導や学校運営に対応するため、養成段階においても小学校と中学校の両方の教員免許の取得を推進するための方策が検討され、兵庫教育大学では先駆けて対応しています。

教員採用試験において小・中学校を一括採用する試験区分等がある自治体(令和5年度実施分)

- | | | | | |
|-----------------------|---|------------------|---|--------------------------|
| ▶ 大阪府(中学校/全教科対象) | ⋮ | ▶ 静岡県(中学校/全教科対象) | ⋮ | ▶ 大分県(算数・数学、理科、音楽、保健、英語) |
| ▶ 京都府(算数・数学、理科、技術、英語) | ⋮ | ▶ 岡山市(中学校/全教科対象) | ⋮ | など |

小中連携教育プログラムの概要 大学院で小(中)学校の教員免許状を追加取得可能

小中一貫・連携教育に対応できる教員を大学院で養成するため、小中連携教育プログラムの受講希望者は、大学院在学中(2年間)に小学校教諭2種免許状の所要資格を取得できます。さらに、修士課程の学生については、幼稚園教諭免許状を取得後、幼稚園教諭や保育教諭として3年以上の教職経験を有している人も、小学校教諭2種免許状の所要資格を取得できます(小学校教員

養成特別コースの学生は中学校教諭2種免許状の所要資格を取得可能)。本プログラムの受講者は、学部の教職課程を履修します。大学院生が履修しやすいよう、多くの授業科目はオンライン(原則オンデマンド)方式での開講となります。また、教職大学院(専門職学位課程)の共通基礎科目では、小中連携教育の理解を深めるための教職科目を開設しています。

3つのユニットと対象コース等 本プログラムには次の3つのユニットがあります。

- ▶ 小学校ユニット(昼間クラス)…小学校教諭2種免許状を取得可能
- ▶ 中学校ユニット(小学校教員養成特別コース)…中学校教諭2種免許状(国・社・数・理・英いずれかの教科)を取得可能
- ▶ 現職ユニット(昼間・フレックスクラス)…小学校教諭2種免許状を取得可能 免許法第6条別表8適用者

対象コース等		受講可能なユニット	大学院入学前に取得(取得見込み含む)が必要な教員免許状
修士課程	▶ 全専攻・コース	教職経験者(3年以上) ※2	現職ユニット 中学校または幼稚園教諭免許状
専門職学位課程 (教職大学院)	▶ 教育方法・生徒指導 マネジメントコース ▶ 言語系教科 マネジメントコース ▶ 社会系教科 マネジメントコース ▶ グローバル化推進 教育リーダーコース	教職経験のない人等 ※1	小学校ユニット 中学校教諭免許状
		教職経験者(3年以上) ※2	現職ユニット
	▶ 理数系教科 マネジメントコース ※3	教職経験のない人等 ※1	小学校ユニット 中学校教諭免許状
		教職経験者(3年以上) ※2	現職ユニット
	▶ 小学校教員養成特別コース	3年制コース ※4	中学校ユニット
2年制コース ※4	小学校教諭1種免許状		
	▶ 授業実践課題探究コース	教職経験者(3年以上) ※2	現職ユニット 中学校教諭免許状

※1…教職経験3年未満の人を含みます

※2…現職ユニット受講者は、中学校教諭として3年以上の教職経験(講師としての経験を含む)がある人が対象となります

なお、修士課程については、幼小連携教育にも対応できるように幼稚園教諭免許状を取得後、幼稚園教諭または保育教諭として3年以上の教職経験(講師としての経験を含む)がある人も受講対象とします

※3…理数系教科マネジメントコースの学生で理数系教員養成特別プログラムを受講する人は、小中連携教育プログラムを受講することはできません

※4…小学校教員養成特別コース(3年制コース・2年制コース)の学生で、中学校教諭免許状(教科は問わない)を取得(取得見込みも含む)している人は、小中連携教育プログラムを受講することはできません

修得単位数の目安(教職大学院の場合)

	小学校ユニット受講者	中学校ユニット受講者 (小学校教員養成特別コース2年制コース)	現職ユニット受講者 (実習免除が適用された場合)
教職大学院修了要件単位数	46	46	36~42
各ユニット科目単位数	39	37~43(教科により異なります)	14
計	85	83~89	50~56

申請方法(8月選抜・11月選抜のみ)

本学大学院出願時に、「小中連携教育プログラム受講申請書」を出願書類とともに提出してください。

入学後の申請はできないため、必ず出願時に併せて提出してください。詳しくは、大学院学生募集要項をご覧ください。

【参考】専修免許状の取得について

各自がすでに所持している1種教員免許状を、専修免許状に上進することができます。

例

言語系教科マネジメントコース学生が
小学校ユニットを受講した場合

入学前に取得済みの教員免許：中学校1種(国語)、高等学校1種(国語)



教職大学院修了時：中学校専修(国語)、高等学校専修(国語)+小学校2種

大学院修了者の初任給

大学院修了者は、大学卒業より2万5,000円程度初任給が高くなります。生涯賃金を考えると、大学院を修了するメリットは給与面でもあるといえます。

【参考】兵庫県教員の初任給

神戸市内の県立高等学校勤務者の場合

(大学院修了者) 27万1,397円 (大学卒業) 24万6,308円

※金額は令和6年度募集案内から

働きながら学ぶ社会人のための大学院
心理専門職を目指す人のための大学院

神戸新キャンパススタート(JR新長田駅前)

兵庫教育大学の神戸キャンパスは、働きながら学ぶ教員・社会人、また心理専門職養成のための大学院として数多くの修了生を輩出してきました。令和6年度からは、夜間クラスをフレックスクラスとして、オンライン同期型やオンデマンド型の授業、対面授業など多様な学修方法を組み合わせ、学生のライフスタイルに合った学びを提供しています。令和7年度フレックスクラス・臨床心理学コース入学から、兵庫県が建設する「新長田キャンパスプラザ(仮称)」で教育・研究を行います。神戸新キャンパスは、これまでの2倍以上の規模を有し、教育研究機能を大幅に拡充させます。教師教育のトップランナーとして兵庫県・神戸市から全国に発信できる教育研究を進めるとともに、長田地区の活性化に少しでも貢献できるよう、地元の方々や兵庫県・神戸市との連携を強化していきます。



神戸新キャンパス概要

▶所在地等

神戸市長田区腕塚町5-2-1 (JR新長田駅・地下鉄新長田駅から徒歩約7分)
新長田キャンパスプラザ(仮称) 6~8階 延べ床面積約3,700㎡
※現キャンパス(1,700㎡)の2倍以上

▶臨床心理相談室を大幅に拡充

子どもの不登校や発達障害、大人のストレスなどに関する相談などを実施
面接室4室、プレイルーム4室、観察室、検査室などを整備

▶教員・社会人が学びやすい環境づくり

対面授業またはオンライン授業(同期・非同期)を学生が選択できる
「ハイブリッド方式」を推進

▶Society5.0時代の教育への対応

STEAM教育の推進や教育とテクノロジーを融合したEdTechの活用を推進する
「STEAM Lab」や「ICT教育室」を整備

フレックスクラスでは、コースの特性にもよりますが、オンラインを活用してほぼ通学しなくても修了できるコースを多く開設しています。オンライン授業には「通常の夜間の授業時間帯にリアルタイムに双方向で行う同期型」「学生が好きな時間にオンライン教材を視聴するオンデマンド型」「神戸キャンパスでの対面授業またはオンライン同期型を学生が選択できるハ

イブリッド型」があり、各コースともオンラインや対面授業を効果的に活用した授業やゼミ、研究指導を実施しています。オンデマンドの授業についても、TeamsなどLMSを活用して、教員に気軽に質問でき、ディスカッションなど学生同士も交流できるようにしています。また、長期履修学生制度でゆったり学ぶことも可能です。長期履修学生制度の詳細はp.61を参照。

フレックスクラスの4つのメリット

1 学校現場を離れずに学べる
日本全国どこからでもOK*

※一部のコース
は通学が必要で
す。下表参照

2 指導教員等と相談しながら、
柔軟な指導が受けられる

※オンラインに加え、神
戸キャンパスでの対面
授業も選択できるハイ
ブリッド方式を導入

3 教職を続ける基盤となる理論や実践、
研究方法を身に付けることができる

4 さまざまな課題を持ち、研究を進める仲間や
大学教員と意見を交わしながら、
学びをより深めることができる

フレックスクラスを開設している各コースの授業について

専攻	コース	オンラインのみでの修了の 可否・週当たりの通学状況	課題研究や研究指導、 ゼミの実施方法
人間発達教育	教育コミュニケーションコース	3 週1回程度	主として通学 (オンラインを併用することも)
	幼年教育・発達支援コース	1 通学不要	オンライン
	学校心理・学校健康教育・発達支援コース	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン (進度により通学もあり)
	臨床心理学コース※1	1 通学不要	オンライン
	芸術表現系教育コース(音楽)	2 週1~2回程度	主として通学 (オンラインも含めて柔軟に対応)
	芸術表現系教育コース(美術)	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン (希望や必要等に応じて通学でも実施)
	生活・健康・情報系教育コース	2 ほぼ通学不要	主としてオンライン (テーマによっては対面で実施)
特別支援教育	障害科学コース※2	2 ほぼ通学不要	主としてオンライン (一部対面の演習等あり)
教育実践高度化	学校経営コース	1 通学不要	主としてオンライン
	教育方法・生徒指導マネジメントコース	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン (一部対面の授業あり)
	言語系教科マネジメントコース	1 通学不要	主としてオンライン
	社会系教科マネジメントコース	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン
	理数系教科マネジメントコース	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン
	グローバル化推進教育リーダーコース	1 通学不要	主としてオンライン
	教育政策リーダーコース	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン (休日や夜間における指導が中心)
	授業実践課題探究コース	2 ほぼ通学不要	主としてオンライン

オンラインのみでの修了の可否 1…ほぼ可能 2…選択した授業により通学が必要 3…通学が必要

※1…臨床心理学コースのフレックスクラスでは、公認心理師および臨床心理士の受験資格は取得できません。詳しくはp.23を参照

※2…障害科学コースのフレックスクラスは、昼間クラスとは開講科目や修了要件が異なります。詳しくはp.31を参照

各コースの詳細は本学ウェブサイトでご確認ください

教員免許状を大学院で一から取得したい人へ 教員免許状を持っていなくても、これから教員を目指せます!!

大学(学部)で教職課程を受講しておらず、これから教員免許を取得して教員を目指す人に対して、長期在学や長期履修学

生制度により、教職大学院で3年間かけて教員免許の取得が可能なコース(プログラム)を設置しています。

小学校教員を目指す人

小学校教員養成特別コース(3年制コース) ※長期在学コース

3年間かけて教職大学院の教育課程と学部の教職課程(小学校1種対応)を履修し、修了時には小学校教諭専修免許状の所要資格が得られます。詳細はp.51を参照。また、小中連携教育プログラム

を履修することで、併せて中学校2種免許(国・社・数・理・英のいずれかの教科)の所要資格を得ることも可能です。

ここに注目!!

3年制コースではありますが、2年次までに小学校1種免許相当の単位修得が可能なため、2年次から各自治体等が実施する教員採用試験を受験することができます(大学院在学中に2回教員採用試験を受験する機会があります)。

2年次に教員採用試験に合格し、多くの自治体等で実施されている大学院在学者・進学者に対する特例制度(採用の延期など)の適用を受けた3年制コースの学生は、3年次の授業料を全額免除します。

大学院在学者・進学者に対する特例制度とは…

教員採用試験合格者のうち、大学院に在学・進学する人に対して、採用候補者名簿登載期間の延長・採用の延期をするなどの特例的措置を各自自治体

実施するものです。大学院在学者は1年程度採用の延期等ができます。教員採用試験を実施している都道府県・市等は68ありますが、そのうち63の自治体で大学院在学者・進学者に対してこの制度を適用しています。

中学校・高等学校の数学または理科の教員を目指す人

理数系教科マネジメントコース(理数系教員養成特別プログラム) ※長期履修学生制度を活用した3年履修

3年間かけて教職大学院の教育課程と学部の教職課程(中学校・高等学校1種対応)を履修します。修了時には、中学校・高等学校教諭専修免許状(数学または理科)の所要資格が得られます。詳細は

p.59を参照。なお、理数系教員養成特別プログラムを受講する人は、小中連携教育プログラムを受講することはできません。

Q&A

Q.1 長期在学制度とはどういうものですか。

A.1 長期在学制度が適用される小学校教員養成特別コース(3年制コース)は3年間の教育課程が編成されており、コース入学者全員が3年間在学します。そのため、3年分の授業料が必要になります。ただし、小学校教員養成特別コースの学生は、2年次に小学校1種免許相当の単位が修得可能なため、2年次に教員採用試験を受験することが可能です。2年次に教員採用試験に合格し、各自治体の採用猶予を受けた人は3年次の授業料を全額免除します。

Q.2 長期履修学生制度とはどういうものですか。

A.2 理数系教科マネジメントコースの入学者で、理数系教員養成特別プログラムの受講を希望する人について適用さ

れます。2年の標準修業年限を1年延長し、理数系教員養成特別プログラムを受講します。2年分の授業料で3年間修学することができます。

Q.3 小学校教員養成特別コースへの入学を希望していますが、出身大学(学部)では卒業論文が課されていなかったため、教職大学院の「教育実践研究報告書」が作成できるか不安です。

A.3 小学校教員養成特別コースは、レポート作成法、教育実践研究法、アクション・リサーチなど「教育実践研究報告書」の作成に必要な基礎的な知識や技能を修得する科目が開設されています。また、指導教員から個別の指導も受けられるので、卒業論文作成の経験がない人も安心してください。

アットホームな環境の中 「教育」にどっぷり浸った2年間 進学して本当に良かったです

生活・健康・情報系教育コース 令和5年3月修了 村田美萌さん

兵教大 → 兵教大大学院 → 公立高校教諭

兵教大に入学した理由

学部時代、インクルーシブ教育、とりわけ合理的配慮に興味を持ちました。特別支援として別の枠組みで教育の機会を設けるのではなく全ての子どもの学びを実現できれば、支援が必要な子だけでなくそれ以外の子にとってもメリットになることがあると思ったからです。ただ、全15回の授業だけでは単なる知識にとどまりしっかり学びきれていないと感じたので、もっと深い部分まで研究したいと進学を決めました。

ココが良かった!

ゼミの指導を通じて、思考を整理する力が身に付いたことです。研究を進めている時に「何のために作業しているのか、目的を見失っているよ」と指導教員の小川先生から指摘されることがあり、目的を念頭に置くことの大切さを教わりました。それは仕事

が多岐にわたる現在も「今日の授業で分かってもらうべきポイントは何か」「なぜ今、叱らないといけないのか」といった押さえるべき点を明確にした上で生徒と関わるなど、日々の教育の場面で生きています。また、同級生には現職の先生もいたので、現場の話聞かせてもらえたのも良かったです。

実感!自分の成長

学部時代は教科の知識を身に付けることで精いっぱいでしたが、大学院では学んだ知識をどうやっ

て子どもたちに還元するのかにまで踏み込んで考えるようになりました。院での2年間がなければできなかったことだと思います。この仕事は知識だけではできない面もあるので、進学して本当に良かったです。

進学を考えている人へのメッセージ

ゼミは少人数で、指導教員と密に関われるのも兵教大の特徴です。空きコマにはよくゼミ室に行き、小川先生やゼミ生たちとおしゃべりしていました。話題は研究に限らずプライベートのことまでさまざま、授業の内容について話すうちに議論に発展して理解がさらに深まるといったこともしばしば。他の先生の部屋にも気軽に訪問できるアットホームさは、兵教大ならではのせいたくで特別なことだったんだと卒業してから気がきました。教育の世界にどっぷり浸れる環境なので、教育全般について深く考えたいと思っている人には本当にお勧めです。

Profile

兵庫教育大学で中学・高等学校の物理と数学の教員免許状を取得。令和3年3月に卒業後、4月に同大学院に入学し、小川修史ゼミに所属。数学科のデジタル教材のアクセシビリティ機能をテーマに、合理的配慮について研究した。令和5年3月に修了した翌月、神戸市内の市立高校に数学科教諭として着任、1年生を担当し担任も務めた。



研究に没頭した2年間で 教育者としての軸が見つかり 自信につながりました

学校教育臨床コース(現教育方法・生徒指導マネジメントコース) 令和5年3月修了 川上健治さん

他大学 → 塾講師 → 公立小学校教諭 → 兵教大大学院 → 公立小学校教諭

兵教大に入学した理由

教員になった10年ほど前は、ユニバーサルデザイン、アクティブラーニングなどはやりの実践があり、5、6年目くらいまではその流行に乗って授業をするのがいいことだと思っていました。でも、「結局、自分がしたい教育って何なのか」と疑問を持つようになり、教育で自分の軸となるものや、好きな教科である国語の本質を見つけたいと思い入学を決意しました。現場から2年も離れるので取り残されないか不安はありましたが、職場に同じ制度を活用した先輩がいて、「大丈夫、ブランク以上の学びがあるよ」という言葉に後押しされ、手を挙げました。

ココが良かった！

自分の専門だけでなく、生徒指導をテーマにした同期の研究内容を聞くだけでも勉強になりましたし、心理学などいろいろな角度から学びを深めることができました。ゼミは少人数なので毎回発表の番が回っ

てきて、宮田先生との問答はすごく緊張するのですが、終わった時には次に何をしなければいけないかが見えて研究が進んでいきました。また、他コースである国語科の吉川芳則教授にお願いしてゼミに参加させてもらっていました。兵教大の先生方は知識が豊富なのももちろん、すごく面倒見がよくて、相談に行きやすい雰囲気づくってくださるのもありがたかったです。

実感！自分の成長

2年間、研究に没頭できたおかげで子どもの前に立つ上で大事にすべきことが明確になり、自分の軸が

できました。それが自信につながっています。以前は子どもたちに求めることへのハードルがすごく高かったように思います。でも、いったん現場から離れて外から見た時に、「いや、それはできないよ」ということを教員が結構要求していると気付きました。現場に戻ってからは、こちらで用意した台本を渡すものの、授業の進行は児童が担い、私は見守り役に徹するなど、子どもに任せることが多くなりました。たとえ失敗しても叱るのではなく、そこからどうしなければいけないのかを教える方が大事だという考えに変わりました。今の方が心を開いてくれているように感じます。

進学を考えている人へのメッセージ

自分の教員人生において、大学院での2年間の学びはなくてはならないものでした。現場で過ごす2年間より、何倍も、何十倍も力を付けて帰ってこられると思うので、ためらっている人にはぜひお勧めしたいです。



Profile

他大学の教育学部を卒業後、希望通り塾の講師に。小学校の先生と児童たちが楽しそうに下校する光景にうらやましさを感じ、小学校の教員に転身。7年目の令和3年4月、明石市教育委員会の現職派遣制度を利用して兵庫教育大学大学院に入学し、宮田佳緒里ゼミに所属。5年3月に修了後は明石市内の小学校に復職し、3年生を担当した。

現職教員が兵庫教育大学大学院で学ぶ方法

公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教員、教育委員会や教育センター等で教育行政に携わる指導主事などが、教員の身分を有したまま学び、学位を取得することができます。詳しくは、所属する都道府県または市町村の教育委員会へご相談ください。

- 1 都道府県等教育委員会からの派遣により学ぶ
全国の都道府県等教育委員会から派遣された現職教員が学んでいます(令和5年10月1日現在128人)。
- 2 大学院修学休業制度を利用して学ぶ
在職期間が3年以上ある教員が対象で、最長3年間休職できます(令和5年10月1日現在18人)。

- 3 自己啓発等休業制度で学ぶ
地方公務員または国家公務員として2年以上の在職期間がある者が対象で、原則2年間休職できます。
- 4 働きながらフレックスクラスで学ぶ
全専攻で開講しています。

取得できる資格

教員免許状 専修免許状を取得できます。(注2)

課程	専攻	コース	取得できる教員免許状の種類	
修士課程	人間発達教育専攻	教育コミュニケーションコース	幼小中※1 高※2	
		臨床心理学コース		
		幼年教育・発達支援コース	幼小	
		学校心理・学校健康教育・発達支援コース	幼小中※1 高※2 養 栄	
		芸術表現系教育コース	(音楽)	小中(音楽) 高(音楽)
			(美術)	小中(美術) 高(美術、工芸)
		生活・健康・情報系教育コース	(保健体育)	小中(保健体育) 高(保健体育) 栄※3
			(技術)	中(技術) 高(工業)
			(家庭)	小中(家庭) 高(家庭) 栄※3
			(情報)	幼小中※1 高※2
特別支援教育専攻	障害科学コース	特別支援学校教諭専修免許状 (視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者) 特別支援学校教諭1種・2種免許状 (視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者)(注3)		
	発達障害支援実践コース	特別支援学校教諭専修免許状 (視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者) 障害科学コースの授業科目を受講することで、特別支援学校教諭1種・2種免許状を取得できます(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)(注3)		
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	学校経営コース	幼小中※1 高※2	
		教育方法・生徒指導マネジメントコース		
		小学校教員養成特別コース(3年制コース・2年制コース)		
		グローバル化推進教育リーダーコース		
		教育政策リーダーコース		
		授業実践課題探究コース		
		言語系教科マネジメントコース(国語)(英語)	小中※1 高※2	
		社会系教科マネジメントコース		
理数系教科マネジメントコース(数学)(理科)				

幼…幼稚園教諭専修免許状 小…小学校教諭専修免許状 中…中学校教諭専修免許状 高…高等学校教諭専修免許状 養…養護教諭専修免許状 栄…栄養教諭専修免許状

- ※1…国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、職業、職業指導、英語、ドイツ語、フランス語、宗教の免許教科を示します
 ※2…国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、看護、家庭、農業、工業、商業、水産、商船、職業指導、英語、ドイツ語、フランス語、宗教、情報、福祉の免許教科を示します
 ※3…免許状の取得には、修了に必要な単位に加え、一部他コースの授業科目の単位を修得する必要があります

- 注) 1. 授業科目は、特別支援学校教諭1種・2種免許状の対応科目を除き、全て専修免許状の取得に対応しています。1種・2種免許状の取得には使用できません。
 2. 専修免許状を取得するためには、取得を希望する専修免許状に対応した1種免許状を所有していなければなりません(小学校教員養成特別コース(3年制コース)については、入学時に小学校教諭の免許状を所有していなくても、小学校教諭専修免許状を取得することが可能です)。
 3. 特別支援学校教諭1種・2種免許状を取得するためには、幼・小・中・高いずれかの普通免許状を本学大学院に入学するまでに所有していなければなりません。なお、教育実習(特別支援学校)は、特別支援教育専攻に所属する学生のみ履修が可能です。そのため、特別支援教育専攻以外の学生で取得を希望する方は、次のようになります。
 ①3年以上教員として勤務経験がある方については、教育実習を除く所定の単位を修得することで取得が可能です。
 ②3年以上教員として勤務経験のない方については、修了時には取得できませんが、教育実習を除く所定の単位を修得し、修了後に勤務経験年数を満たせば取得可能です。
 4. 他の専攻・コースの授業科目の単位を修得することで、所属コースでは対応していない免許状を取得することが可能ですが、所定科目の履修機会を保障するものではありません。

その他の資格

その他の資格 心理系の資格等の受験資格も取得できます。

取得できる受験資格	対象コース等	概要
公認心理師	臨床心理学コース (昼間クラス)	平成29年9月15日に施行された公認心理師法に基づく国家資格です。保健医療・福祉・教育その他の分野において、心理に関する支援を要する人やその関係者に対し、心理状態の観察・分析、相談・支援・援助などを心理学に関する専門的知識と技術をもって行います。また、心の健康に関する知識の普及を図るための教育や情報提供も行います。公認心理師試験の受験資格を得るためには、学部で所定の科目を修めている必要があります(大学学部における要件充足の有無については、ご自身で在学または出身大学にご確認ください)。 厚生労働省 公認心理師 検索
臨床心理士		(公財)日本臨床心理士資格認定協会が認定する資格で、有資格者は「心のケアの専門家」として、教育、医療、福祉、司法、産業などの活動領域で活躍しています。臨床心理学コースは、臨床心理士の受験資格を得られるコースとして同協会から1種指定大学院として指定を受けています。 日本臨床心理士資格認定協会 検索
学校心理士	教育コミュニケーションコース 幼年教育・発達支援コース 学校心理・学校健康教育・発達支援コース 特別支援教育専攻 (原則、障害科学コース(昼間クラス)のみ)	本学での条件を満たした人は、学校心理士資格を学校心理学大学院類型で申請できます。なお、資格認定には指定された科目の履修に加え、筆記試験とケースレポートの審査に合格することが必要です。 学校心理士認定運営機構 検索
カウンセリング心理士	学校心理・学校健康教育・発達支援コース 教育方法・生徒指導マネジメントコース	日本カウンセリング学会がカウンセリングについての一定の学識と技能を有する会員に付与するものです。 日本カウンセリング学会 検索
臨床発達心理士	学校心理・学校健康教育・発達支援コース 特別支援教育専攻 (昼間クラスのみ)	(一社)臨床発達心理士認定運営機構が認定する資格です。発達観の観点から障害、社会適応などの問題を査定し、子どもから大人まで生涯にわたり人間の多様な育ちを支援します。 臨床発達心理士認定運営機構 検索

※単位、科目など所定の要件を満たすことが必要ですが、複数の資格取得を目指す場合など、所定科目の履修機会を得られない場合があります
※詳細は各協会等のウェブページまたは本学ウェブサイトの各対象コースの「取得できる教員免許状と資格」ページでご確認ください

教育にとって
本質的なものを探究する

修士課程

授与される学位…修士(学校教育学)

多様化する学校教育の
諸課題と向き合い究明する

人間発達教育専攻

こんな人を募集します!

教育コミュニケーションコース 	教育という営みを成立させているさまざまな要因について、哲学、歴史学、社会学、心理学の観点から、多元的かつ総合的に研究します。	広く教育を問いたい人
幼年教育・発達支援コース 	幼年期の教育、心理、保育内容、福祉、子育て支援について教育・研究を行い、総合的な教育・発達支援を進めていく専門性を高めます。	幼児教育・保育関係者 子育て支援関係者
学校心理・学校健康教育・発達支援コース	子どもの成長や発達ならびに健康を総合的に支援・教育できる教員や専門家を育成します。	学校・教育関係者 保健・福祉領域関係者
臨床心理学コース	生涯発達のさまざまな段階における心の問題にアプローチする専門家を養成します。	臨床心理士を目指す人 公認心理師を目指す人 対人援助職・心理職関係者
芸術表現系教育コース	音楽と美術の芸術教育に関わる諸事象について、理論と実践の両側面から探究し、論理的・創造的な実践力を備えた人材を育成します。	芸術系教員 芸術関係者 教員志望者
生活・健康・情報系教育コース 	生活、健康、情報ならびに関連する教科に関わる高度な知識と技能を学び、応用的な実践や社会実装ができる人材を育成します。	生活・健康・情報関係者 家庭・技術・情報・保健体育教員 教員志望者

障害のある幼児・児童・生徒等への
専門的・総合的な支援力・実践力を高める

特別支援教育専攻

障害科学コース	多様な教育的ニーズのある児童生徒に対応できる総合的な専門性に裏付けられた支援力(実践、連携、研究)を育成します。	特別支援学校教員 特別支援学級担任 教員志望者
発達障害支援実践コース	学校(通常学級、通級指導教室、校内における特別支援教育体制)や地域における発達障害支援のための実践力を育成します。	学校教育関係者 教員志望者

…昼間クラス …フレックスクラス(オンラインを積極的に活用して、勤務しながら学ぶことができるクラス(一部の授業等は対面あるいはオンライン同期型で実施))

修了に必要な単位

		合計単位数	最低修得単位数
共通科目	2単位以上	26単位	32単位 ※
専門科目	16単位以上		
探究力を養成する課題研究	各自の研究課題に応じ、担当教員の指導の下に8単位		

※合計単位数26単位と最低修得単位数32単位との差6単位は、共通科目、専門科目(修士課程においては、自身が所属するコース以外で開設する科目を含む)および交流科目のうちから修得するものとします。なお、外国人留学生については、外国人留学生専門科目からも修得できるものとします

学びのプロセス

課題研究(修士論文作成)の流れ

1年次	5月まで	指導教員(ゼミ)を決定
	5月以降	研究テーマを設定し、順次、先行研究・文献の調査、実践研究、学会等での研究
2年次	6月	中間発表(研究の動機と目的、研究方法、章立て、参考文献)
	11月	論文題目の最終決定
	12月中旬	提出締切
	2月初旬	修士論文口述試験



教育コミュニケーションコース
令和5年3月修了
市教育委員会指導主事
中村宏美さん

「教える—学ぶ」行為を問い直す～子どもと教員が共に「分からないこと」を探究するために～

不安は、行為を萎縮する原因にもなりますが、準備への推進力にもなります。論文執筆に不安しかなかった1年次は、指導教員や他分野の先生方から薦められる文献を片っ端から読み進めました。ゼミでは、自分が読み進めている文献から得た知見や考察を発表します。毎回「面白いです

ね。でも中村さん、本当にそうですか?」と問い返されます。その度悩みますが、幸い教育コミュニケーションコースでは、教育哲学、教育史学、発達心理学、教育社会学、教授学習心理学など多角的に学びます。他コースや教職大学院の授業も受けました。一つの視点からだけでは偏った考えしか生まれませんが、さまざまな学問からの知見を得られたことで、逆に自分の研究課題を研ぎ澄ますことができました。

このように、多様な授業で得た知見、コツコツ書きためてきた考え、これはと思った文献の書き出し等、関係ないと排除することなくいろいろやってみたことが、修士論文を書き進める準備となり、助けとなりました。

これまでは場当たりの実践で、それらを省察し探究することはありませんでした。ゼミで常に自省を求められることは、苦しくもありましたが、この研究がなければ私自身が「教える」という行為に向き合えていなかったと思います。今後もさらに探究を深めていきたいです。

中村さんの2年間の学び

年次	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	指導教員決定												
	研究課題の選定												
2年次	情報収集(文献)												
	情報収集(文献・学会参加・実践調査、アンケート・研究の分析、考察)												
	論文作成												
	論文提出												



発達障害支援実践コース
令和6年3月修了
小学校教諭
徳永典子さん

日常の保育に根差した幼児・保護者・幼稚園教諭で取り組む就学移行支援—クラスワイドな支援が及ぼす気になる子どもへの効果検討—

私は、大学院入学前に指導教員が出版された本を読んでいました。また、指導教員を決定するに当たり、最初の教員紹介でのお話も参考にしました。指導教員の研究されている内容と自分の研究したいことが合致しているかが決定のポイントでした。

次に、私たちのコースでは現場実習が修士論文のテーマ決定に関わります。そのため、指導教員に希望を話し、幼稚園での実習をさせていただきました。さらに、研究課題の決定までの道筋として、まず、自分が研究したい内容について、同期との自主ゼミを繰り返しました。その上で、指導教員にご検討、ご指導いただき、幼稚園から小学校への就学移行支援を研究することを決定しました。研究する上で気を付けたのは、「幼稚園の先生に主体性を持って実践していただくこと」であり、「対象の先生と一緒に研究する」という気持ちで取り組むことです。結果として、幼稚園の先生は主体的に取り組み、成果を上げてくださいました。

研究を通して、私は人と本音で話すという自分自身の課題に向き合えたことが何よりの収穫であったように思います。教員として今後どのように働くことが、関わる子どもにとって有益であるか、大学院を修了してからも自分に問いつけたいと思っています。

徳永さんの2年間の学び

年次	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	指導教員決定												
	研究課題の選定												
2年次	情報収集(アンケート・フィールドワーク)												
	研究テーマ発表												
	研究開始・介入												
	フォローアップ期												

学生の時間割を公開！



教育コミュニケーションコース
2年／公立小学校教諭
赤崎洋之さん

大学院生の学び

私は、「教育とは何か」「教員と子どもの関係」などをキーワードに時間割を組みました。「教育の歴史と教育理論の展開」では、近代化としての学校教育を捉え直し、学校制度や学校文化を考え、現代の学校教育において何が問題なのかと問い直すことができました。また、「子どもの発達と学校の関わり」や「かかわりの発達心理学」では、子どもの成長や学びを発達の側面から捉えることができました。現在、日本では学校改革の必要性が叫ばれていますが、学校教育で今まで当たり前として捉えていたことを、講義の中で先生や他の院生と共に対話を通して考え、さまざまな側面から学校教育を見ることで、何が問題なのかをもう一度問い直す機会となるのが、大学院での学びだと思います。

1年次の授業スケジュール(令和5年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	1			子どもの発達と学校の関わり	
	2	教育コミュニケーション論		教育文化の歴史	
	3			かかわりの発達心理学	
	4				ゼミ
	5				
後期	1				
	2	子どもの生活と心理	教育コミュニケーション実践論	教えと学びの哲学	
	3			ライフスタイルと健康	
	4				ゼミ
	5				

集中講義：特別支援教育と通常学級の授業づくり・学級経営



幼年教育・発達支援コース
2年／私立保育園勤務
岩井真樹さん

Zoomを活用しながら仕事や子育てと両立！

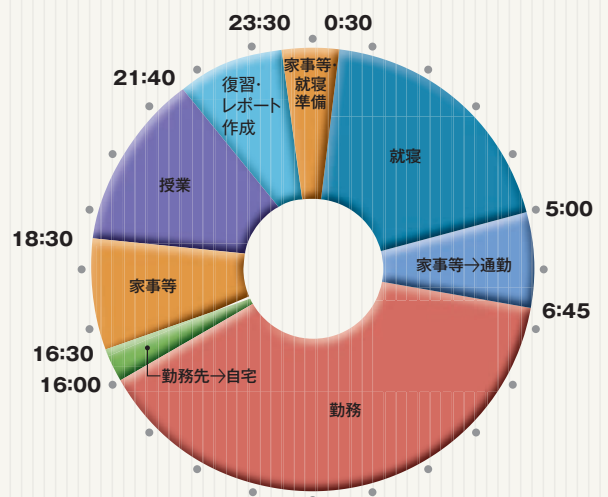
仕事と子育ての忙しさに加えて大学院に挑戦することには不安もありましたが、長期履修制度を利用し、自分のペースで単位を修得しています。職場の協力もあり、授業がある日は早番にしてもらうなどシフトを調整しながら、できる限り授業に参加できるようにしています。大阪府在住のため毎回通学するのは難しいものの、ほとんどの授業がZoomで受けられるので、無理なく受講できています。私自身子育て真っ最中ですが、子育てがしんどくなっている保護者の心の負担をどうすれば軽減できるのか、子育ての中で感じる幸福感を向上させるにはどのような支援が必要かを研究しています。大学院でいろいろな先生、院生と話をさせていただく中で、自分の視野が広がり、学びが深まっていることを感じています。

1年次の授業スケジュール(令和5年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	6	子どもの生活と教育	子どもの生活と表現		
	7		教育コミュニケーション論	子ども学研究法	ゼミ
後期	6		子どもの発達支援		
	7		子どもの生活と社会		ゼミ

集中講義：学校における防災教育と心のケア、子育て支援演習

授業がある日の1日





学校心理・学校健康教育・
発達支援コース2年
／公立小学校養護教諭

小西あゆみさん

日々挑戦！仲間と共に！

養護教諭として不登校等の悩みを抱える児童に寄り添うためにはどうすればよいか、心理面から研究したいと思い、大学院に進学しました。そのため、心理教育や学校保健に関する科目や、学校心理士の資格取得に必要な科目を中心に履修しています。研究を進めるための心理統計の基礎や、学校現場で生かせるアセスメントやカウンセリング技法について学び、幅広い知識を身に付け専門性を高めています。ゼミは温かい雰囲気、研究について議論を深めています。丁寧にご指導くださるコースの先生方・志を共にする仲間恵まれ、新しいことに挑戦しながら、多様な背景を持つ方々ともつながることができ、充実した日々を過ごしています。

1年次の授業スケジュール(令和5年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	1	ゼミ		子どもの発達と学校の関わり	
	2	食育の考え方と進め方	子どものメンタルヘルス	心理統計研究法演習	
	3	心理教育アセスメント	生徒指導と学校教育相談	学校保健研究	
	4	心理統計研究法	健康教育論		
	5				
後期	1				
	2	子どもの生活と心理	教職員のストレスマネジメント	子ども理解と学級経営の心理学	
	3		学校臨床心理学演習	ライフスタイルと健康	
	4	ゼミ		情動・社会性発達論	
	5				

集中講義：キャリアカウンセリング特論



臨床心理学コース

心の問題にアプローチする心理専門職の養成を目指し、心理職に必要なとなる基礎的な知識と技術を身に付けるための授業を幅広く開講しています。

昼間クラスは、公認心理師と臨床心理士の受験資格を取得できます。

フレックスクラスは、教育現場ならびに対人援助現場の課題解決型クラスとなっています。フレックスクラスの授業は基本的にオンデマンド配信(演習科目の一部は同期型オンライン授業)により行うので働きながらでも学びやすく、また、自宅等から授業を受講できます。

昼間クラスで公認心理師と臨床心理士の資格を取得する場合の1年次の授業スケジュール例(令和6年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	1		臨床心理学特論		
	2	福祉分野に関する理論と支援の展開	臨床心理面接特論I	課題研究	臨床心理学の理論と方法
	3	臨床心理基礎実習	臨床心理査定演習I		心理実践実習
	4	臨床心理基礎実習	産業・労働分野に関する理論と支援の展開		
	5				
後期	1	保健医療分野に関する理論と支援の展開	心の健康教育に関する理論と実践		被害者の心のケア
	2	臨床心理査定演習II	臨床心理面接特論II	課題研究	臨床心理統計研究法
	3	臨床心理基礎実習	教育分野に関する理論と支援の展開		心理実践実習
	4	臨床心理基礎実習	発達障害心理臨床特論		
	5				

集中講義：教育の歴史と教育理論の展開、臨床心理基礎実習、福祉分野に関する理論と支援の展開、発達障害心理臨床特論、心理実践実習 ほか

学生の時間割を公開！



芸術棟
芸術表現系教育コース(美術)
2年
／公立小学校教諭(図工専科)
入谷由喜子さん

歩みを止めて「表現」と向き合う日々

美術分野の1年目の流れとして、前期は実技を中心に履修を進め、その経験を基に後期は理論や歴史を学びます。前期は、さまざまな材料や技法に出会い、表現の幅がぐんと広がりました。半年間しっかりと自分自身の制作に向き合ったことで、教育実践のための題材開発にも再び前向きな気持ちで取り組めるようになりました。後期は、より多くの出会いを求めて、他課程の授業を特別に聴講させてもらったり、学部授業を見学したりもしています。いずれも担当の先生方がフレキシブルに対応していただき、実現しました。授業外では「兵庫教育大学美術展」に向けての制作を行ったり、美術館や展覧会に足を運んだりして、美術と向き合う機会を積極的につくっています。

1年次の授業スケジュール(令和5年度)

時限	月	火	水	木	金	
前期	1			子どもの発達と学校の関わり		
	2	造形表現の知識と技能Ⅳ(工芸)	造形表現の知識と技能Ⅰ(絵画)			
	3	造形表現の知識と技能Ⅳ(工芸)	造形表現の知識と技能Ⅰ(絵画)			
	4	ゼミ			造形表現の知識と技能Ⅱ(彫塑)	
	5				造形表現の知識と技能Ⅱ(彫塑)	
後期	1	学校における防災教育と心のケア				
	2	造形活動の基礎Ⅳ(工芸)		造形活動の基礎Ⅲ(デザイン)	造形活動の基礎Ⅰ(絵画)	
	3					ゼミ
	4				美術史学の基礎と批評	
	5					

集中講義：造形表現の知識と技能Ⅲ(デザイン)、造形活動の基礎Ⅴ(版画)、総合芸術表現研究



生活・健康・情報系教育コース
令和6年3月修了
／栄養専門学校講師
矢後祥子さん

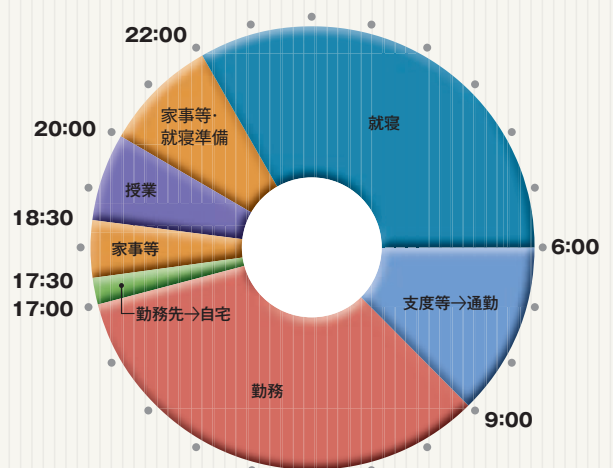
仕事も学びも子育てでも！

大学院で学ぶに当たって、仕事をしていることと、幼稚園児と小学生2人の子どもがいることで、まとまった学ぶ時間が取れないかもしれないという不安があり、長期履修学生制度を利用することにしました。3年間の在学期間があるので、時間割は詰め込まずに、1年次と2年次の前期も後期も1日1コマ、週2日で考えました。また、仕事柄大学院と同じく夏休みや春休みがあり、そこに合わせて集中講義も取りました。そうすると思った以上に負担はなく、2年次で課題研究以外の最低修得単位が取れました。3年次は課題研究をメインに興味のあった集中講義を受講し、自分の仕事に生かせる学びや刺激をたくさん受けました。

2年次の授業スケジュール(令和4年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	6		食育の考え方と進め方		
	7			健康教育論	
後期	6	ライフスタイルと健康			
	7		教育コミュニケーション実践論		

授業がある日の1日





障害科学コース
令和6年3月修了
佐古智香さん

理科と特別支援教育のプロフェッショナルを目指して

「理科と特別支援教育のプロになって帰ってきます！」学部4年次、教員採用試験の面接で「大学院修了後も踏まえた1分間自己PR」を求められ、私は宣言しました。大学院進学後、私は特別支援学校教諭1種免許状(5領域)と専修免許状(中学校教諭(理科)・特別支援学校教諭)の取得を目指しました。修士課程の授業を履修するだけでも専修免許状は取得できますが、理科についても専門的に学びたいと考え、専門職課程の授業も履修しました。そのため、履修する授業数はやや多いですが、コース外の学生ともつながりができたり、新たな知見を得たりと毎日が充実しています。空き時間には、ノートテイク、TA、ボランティア、学生有志の勉強会に参加し、自らの好奇心の赴くままに学びました。

1年次の授業スケジュール(令和4年度)

時限	月	火	水	木	金	
前期	1	特別支援教育研究	肢体不自由児指導論	子どもの発達と学校の関わり	聴覚障害児心理学研究	
	2	特別支援教育方法演習	視覚障害児心理学研究	理科授業の理論と実践(エネルギー)	聴覚障害児教育基礎技能	
	3	特別支援心理学研究方法演習		コーディネート概論		
	4	発達障害研究		視覚生理・病理	ゼミ	
	5	障害者福祉論				
後期	1	学校における防災教育と心のケア	病弱児指導論	発達神経医学	聴覚障害児指導法	
	2	コーディネート研究	視覚障害児教育論	聴覚・音声検査法	行動障害支援論	視覚障害児心理学特論
	3			教えと学びの心理学		
	4	情報社会と生活		視覚障害児指導法	ゼミ	
	5	特別支援教育事例研究				

集中講義：理科授業の理論と実践(生命)、教えと学びの社会学、情報のモラル教育と学校のセキュリティ、特別支援教育における学校臨床心理学演習 ほか



発達障害支援実践コース
令和6年3月修了
／公立小学校教諭
吉川真紀さん

学びほぐしの日々

私は、特別支援教育の視点に基づく授業づくりに関心があり、大学院に進学しました。講義は、発達障害の理解や支援方法、コーディネーターのスキル、通級や個別指導について等、多様な視点で学ぶことが多かったです。コースの一番の特徴は、地域の学校園での長期実習があることです。1年目の「基礎実習」では個別指導、2年目の「課題実習」では研究を行います。私は、特別支援学校教諭免許状と特別支援教育士の資格取得のため履修する講義が多かったのですが、自分の今までの知識・考えに固執せず、新しい知識・考えを取り入れられるように、さまざまな専門分野の先生から幅広く学びました。まさに「学びほぐし」の日々を、志の高い仲間と励まし、楽しみながら、充実した大学院生活を過ごせました。

1年次の授業スケジュール(令和4年度)

時限	月	火	水	木	金	
前期	1		肢体不自由児指導論	子どもの発達と学校の関わり		
	2			特別支援教育リーダーのための創発的コミュニケーション	発達障害支援基礎実習	
	3	特別支援教育論文講読と研究方法			コーディネート概論	発達障害支援基礎実習
	4	発達障害支援アセスメント演習	発達障害研究	ゼミ	学習障害児指導法演習	
	5	発達障害支援アセスメント演習	障害者福祉論	ゼミ		
後期	1	病弱児指導論		発達神経医学		
	2	コーディネート研究		発達障害支援ケース実習	特別支援教育と教員間コミュニケーション	発達障害支援基礎実習
	3	特別支援教育課程論	障害児心理学研究	発達障害支援ケース実習		発達障害支援基礎実習
	4	発達障害支援ケース実習	子どもの発達支援		ゼミ	
	5	発達障害支援ケース実習			ゼミ	

集中講義：個別の指導計画演習、特別支援教育と通常学級の授業づくり・学級経営、障害児保健研究、発達・学習支援特論

教育コミュニケーションコース

“かかわり”から教育を見つめ直す

今 社会のあらゆる領域でコミュニケーションの重要性が叫ばれています。とりわけ、教育においては、その諸問題がコミュニケーションの問題という観点から語られる傾向にあります。しかし、そこでコミュニケーションのハウツーのみを覚えても限界があります。教育は人と人とのかかわり、人と社会とのかかわりの中で成立するものです。それゆえ、教育の本質的な課題に取り組むためには、まず“かかわり”、すなわち関係性という点について深く考察することが不可欠です。

このコースでは、教育という営みを成立させているさまざまな要因について、哲学・歴史学・社会学・心理学の観点から、多元的かつ総合的に研究を行います。それらを通して、これまでの教育観や教育システムを問い直し、より良い教育コミュニケーションのモデルを探求します。



主な修士論文のテーマ

- ▶アーユルヴェーダ教育思想研究—インド医学古典書『チャラカ・サンヒター』について
- ▶近現代日本の学校教育における体罰の考察—判例・学説・体罰禁止法制の分析を中心として—
- ▶日本昔話にみる親・子関係—『日本昔話通観』を手がかりに—
- ▶公立中学校教員が抱く多忙感の構造
- ▶言説分析を通じた「教員の多忙」に関する表象の通時的変化—1984-2020年度の『朝日新聞』を事例に—
- ▶工業高校生の進路選択の戦略に関する研究
- ▶自己への気づきを促すアート表現の可能性—可視化・空間化された自己世界の検討を通して—
- ▶中年期に日本語教師職を選択した女性3名のキャリアテーマ—異なるライフコースにおける構築の様相—
- ▶青年期の恋愛依存に関する研究
- ▶看護教育における社会保障制度の知識と実習を関連づける授業の研究—地域・在学看護論の授業実践を通して—
- ▶リフレクションを促す教育実践が言語聴覚士の後進指導に及ぼす影響—指導経験者を対象としたワークショップを手がかりにして—
- ▶機械的公式観を克服し学習者の興味を喚起する算数の援助法の探究
- ▶学校でシティズンシップを育むための体験活動に関する研究—デューイの経験論における「試みること」と「被ること」の検討から—
- ▶「わからないこと」に対する教師と子どもの協同的探究—ワイトゲンシュタインの言語ゲーム論を手がかりにして—
- ▶日本語教育における意味の伝達と創造に関する研究—言語行為におけるコンテキストの共有と意味の脱構築に着目して—

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 <p>教授 吉國秀人</p>	心理学、 教育心理学、 教授学習過程	教えと学びの心理学	学校の授業場面とのつながりを大切に、実験的構想を駆使し、教授学習過程への理解を深めていきたいです。
 <p>教授 中間玲子</p>	自己形成論、 青年期の発達	かかわりの発達心理学	人が生まれてから死ぬまでの時間について、種、個、関係、社会、歴史などを踏まえて考えていきましょう。
 <p>教授 大関達也</p>	教育哲学、 解釈学、 教養論	教えと学びの哲学	文化的背景の異なる他者と共生する社会を築くために、対話による教養教育の可能性を探究します。
 <p>准教授 平野 亮</p>	教育学、 教育史、 教育思想	教育文化の歴史	過去を探り、現在(私たち)の自明性を問い直す歴史のアプローチから、(教育)について考察します。



教育コミュニケーションコースをイメージして描かれた絵

Voice

「人」から学ぶ日々

教育コミュニケーションコース2年

近田知富美さん



小学校教員として勤める中で、学校教育の変容を感じ、維持と変化の必要な部分の双方について考えるようになりました。そこで、これまでの自身の教育実践を振り返るとともに、私を感じるさまざまな問題意識とじっくり向き合いたいと思い大学院で学ぶことを選択しました。

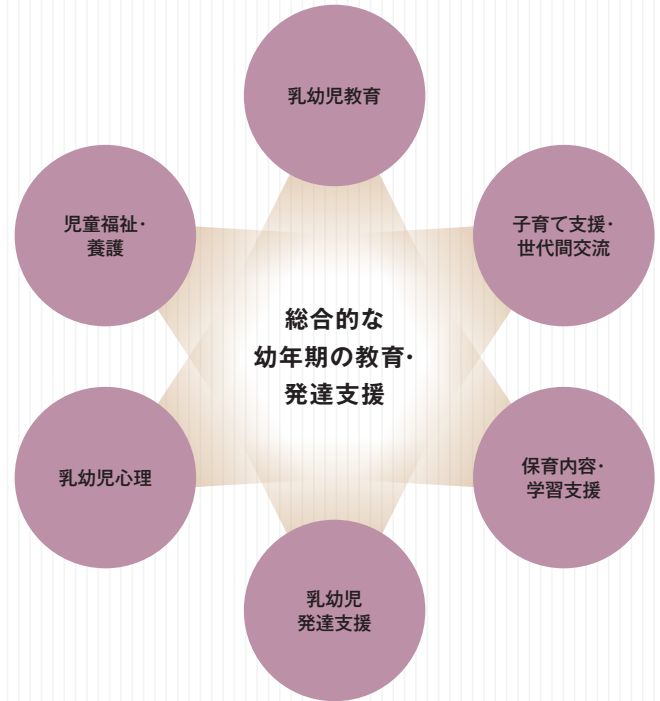
大学院では、あらゆる教育課題の根幹に、「コミュニケーション」の存在があることに気がきました。本コースでは、哲学、心理学、歴史学、社会学というさまざまな視点から教育コミュニケーションについて学び、考えることができます。講義やさまざまな文献からの深い学びに加え、先生方や他の院生などの議論が楽しく、「人」「人とのつながり」から得られるものの大きさを実感しながら、充実した学生生活を送っています。

幼年教育・発達支援コース

幼年期の子どもとともに希望ある未来をつくる

幼年期は、遊びや生活の中の具体的な体験を通して生きる力の基礎を培い、その学びが小学校以降へとつながる重要な時期です。幼年教育・発達支援コースでは、現代にふさわしい幼年期の教育・発達支援の理論と実践の構築を目指しています。そのために、「乳幼児教育」「児童福祉・養護」「乳幼児心理」「乳幼児発達支援」「保育内容・学習支援」「子育て支援・世代間交流」の6分野から教育・研究を行い、総合的な教育・発達支援を進めていく専門性を高めます。さらに、本学の子育て支援ルームや地域の子育て支援施設での実践を通して、多様化する子育て支援の課題に対応するための専門性を身に付けた「子育て支援コーディネーター」を養成します。子どもとともにある今の生活にまなざしを向け、互いに手を取り合い、希望ある未来を切り開いていきましょう。

※子育て支援コーディネーター養成プログラムについてはp.59を参照



主な修士論文のテーマ

- ▶石井十次の施設養育に対する意識の検討—岡山孤児院新報の主婦関連記載部分に着目して—
- ▶3~5歳児の自己制御能力の発達と保育者の援助—遊びの事例に基づく検討—
- ▶特異的言語発達障害(SLI)幼児に対する体験絵本を用いた支援についての研究—事例分析による検討—
- ▶特定非営利活動法人による子ども・子育て支援の現状と課題—全国調査に基づいて—
- ▶幼児の拒否行動における父親の育児行動に関する研究—帰宅プロセスに着目して—
- ▶伝承遊びとしての絵かきうたの可能性—親子で遊ぶツールとして—
- ▶4歳児の葛藤克服場面の検討—「こま回し」の習得過程に着目して—
- ▶保育現場におけるピアノ克服過程に関する研究—FGIによる分析から—
- ▶保育者の保育者効力感と同僚性・IFC・仕事意欲との関連
- ▶低天井下における子どもの活動内容に関する研究—保育施設の総合道具に着目して—
- ▶日本における外国籍の子どもをうけもつ養育者の子育てに関する研究
- ▶粘土表現の歴史の変遷過程に関する研究—保育雑誌の記載内容に着目して—
- ▶幼児期における捕球動作と一致タイミング見越し能力との関連
- ▶乳児クラスにおける手作り玩具の意義—保育所保育指針の内容に基づいた観点からの考察—

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 石野秀明	発達心理学、 教育心理学	子どもの生活と心理、 子ども学研究法	変化が著しい環境にあっても、子どもが生き生きと過ごせるよう、抛るべき理論を共に探していきましょう。
 准教授 飯野祐樹	保育学、 幼児教育学	子どもの生活と教育、 グローバル社会の子ども学	専門は幼児教育学です。「保育の質評価」を基幹とし、カリキュラムや保育記録の国際比較を行っています。
 准教授 門脇早穂子	保育内容学、 音楽教育学	子どもの生活と表現、 子どもの生活と社会	保育におけるさまざまな表現活動が子どもたちの成長に及ぼす意義を踏まえた上で、豊かな感性を育む実践的な方法を考えていきましょう。
 准教授 茶谷智之	子ども家庭福祉、 子育て支援	子どもの生活と福祉、 子どもの生活と社会	子育てで家庭が抱える困難と向き合いながら、子どもがよりよく生きられる「環境」について共に考えていきましょう。
 講師 水落洋志	保育内容学、 幼児教育学	子どもの生活と健康、 子ども学研究法	未来を担う子どもたちのために、理論と実践を融合する力を共に高め合いきましょう。



子育て支援ルーム「かとうGENKI」



Voice

「学び」は面白い!!

幼年教育・発達支援コース

令和6年3月修了

森美代さん



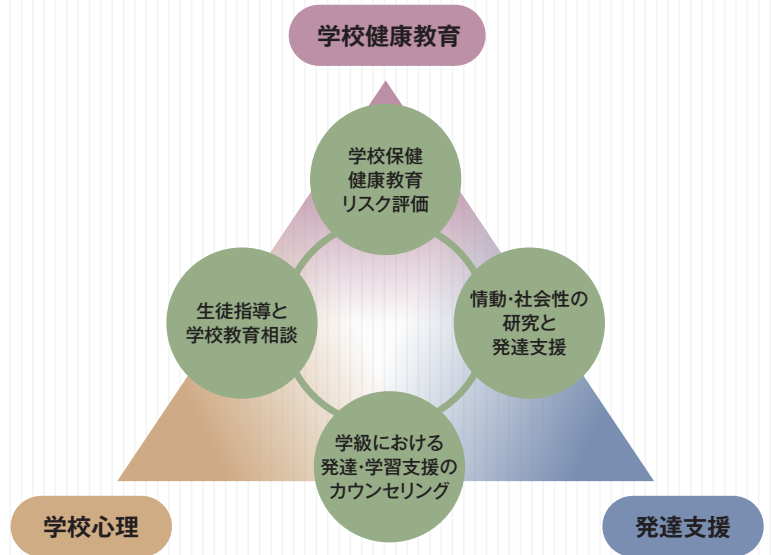
私はこれまで保育者として10年間経験を重ねる中で、担う役割も変わっていき、新任保育者をはじめ若手の保育者の指導にも当たるようになりました。指導に向き合うにつれて、自身のこれまでの経験に依拠した指導には限界があること、そこには理論に裏付けされた指導の展開が必要であると思い、入学を決めました。

本コースでは、授業やゼミを通して、これまでの保育実践を振り返り、疑問に感じたことと向き合い、言葉の持つ意味や背景を深く考えたり調べたりする機会が多くありました。このような学びの環境に身を置くことにより、知的好奇心の高揚はもちろん、考えることや学ぶことの面白さに気付く契機となり、とても充実した2年間でした。

学校心理・学校健康教育・発達支援コース

こころとからだの発達支援と教育を究める

学 校心理・学校健康教育・発達支援コースは、「学校心理」「発達支援」ならびに、「学校健康教育」の3つの領域にまたがるコースです。その中で①生徒指導と学校教育相談、②学級における発達・学習支援のカウンセリング、③情動・社会性の研究と発達支援、④学校保健と健康教育、健康に関連するリスク評価を4つの柱として、児童生徒に対する心理教育的対応、予防的介入を含めた発達支援、学校健康・安全教育、リスク評価、校内連携など、学校内外の専門家や諸機関との協働ができる知識と実践力を養います。



授業をクローズアップ!

子どもへの支援を考え実践する

学校臨床心理学演習

担当：藤原和政准教授



子どもへの支援について、子ども個人、学級集団などの環境をアセスメントする視点や、個人と環境の相互作用を理解するための理論を学びます。その上で、いじめや不登校などに対するアプローチをグループで考え実践することを通して、よりよい支援の在り方について検討します。

ディスカッションを重視

子どもの発達支援

担当：細谷里香准教授

子どもの発達と環境との関わりについての基礎的知識を踏まえた上で、保育・教育現場における子どもの発達支援に関する理論と実践例を学びます。支援する者として新たな気づきが得られるよう、異なる背景を持つ受講者同士のディスカッションを重視しています。



主な修士論文のテーマ

- ▶ 愛着に課題のある児童の学級適応感に関する研究
- ▶ 中国の経済状況が困難な地域で暮らす子どもに対するレジリエンス育成プログラムの効果
- ▶ 中学生のひきこもり親和性に関する研究
- ▶ 小学生におけるインターネット依存傾向とQOL及び睡眠習慣との関連
- ▶ 児童生徒の学校健康診断及びその結果に対する認識と活用
- ▶ 児童生徒の生活習慣改善の意思、取組、動機、方策などの実態及び認知的スキルとの関連性
- ▶ 他者受容をテーマとした絵本の読み聞かせによる心理的効果に関する研究
- ▶ 子どもの学業失敗場面における教師の知能観・失敗観と言葉かけとの関連
- ▶ 児童期における居場所感と自尊感情及び学校適応感との関連

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 秋光恵子	学校心理学、 社会心理学	子ども理解と学級経営の心理学、 心理統計研究法演習	子どもたちが認め合う学級経営や学校内外の連携・協働 に関心のある皆さんとの出会いを楽しみにしています。
 教授 岡本 希	衛生学・公衆衛生学、 学校保健	衛生学・公衆衛生学研究、 学校保健研究	児童生徒が適切な時期に適正な生活習慣を身に付ける ための教育について調査研究を行います。
 准教授 細谷里香	発達心理学	子どもの発達支援、 発達・学習支援特論	認知・社会的発達と他者との相互作用に関心があります。 発達や学習について多角的に研究したいと思います。
 准教授 藤原和政	学校心理学、 教育心理学	生徒指導と教育相談、 学校臨床心理学演習	子どもの学校適応の促進を目的とした援助について、心 理・社会面学習面に注目した研究に取り組んでいます。
 講師 清水真由子	発達心理学	発達アセスメントと支援、 情動・社会性発達論	仲間関係の中で育まれる子どもたちの向社会性に着 目し、教育や支援につながる研究を目指しています。
 講師 鳥取伸彬	運動生理学、 健康教育	健康教育論、 子どものリスクと安全教育	子どもの健康に関連する生活・環境・教育について、身 体活動に焦点を当てて研究を行います。

学校心理・学校健康教育・発達支援コースで得られる受験資格

所定の条件を満たすことで受験が可能になります。

- ▶ 学校心理士
- ▶ カウンセリング心理士
- ▶ 臨床発達心理士

Voice

学び続ける

学校心理・学校健康教育・発達支援コース
令和6年3月修了
八木泰子さん



「行動変容を促すのは難しい!」。養護教諭として健康教育を進める中、実践の根拠や手立てを探りたいとの思いが強くなり、大学院への進学を考えました。このコースでは、発達支援と教育を多様な角度から学びます。先生方からは高度な知見を教授していただき、授業内容を現場の指導にすぐに生かすことができます。

ゼミでは、指導教員の先生の幅広い研究や細やかな分析の視点を学び、先輩方の研究に大きな刺激を受け、研究の難しさや問題解決の楽しさを得ました。2年で修了予定でしたが、ゼミでの学びが深く、もっと勉強したいと思い長期履修に切り替えたくらいです。幾つになっても、いつからでも学ぶことは楽しい!と感じています。

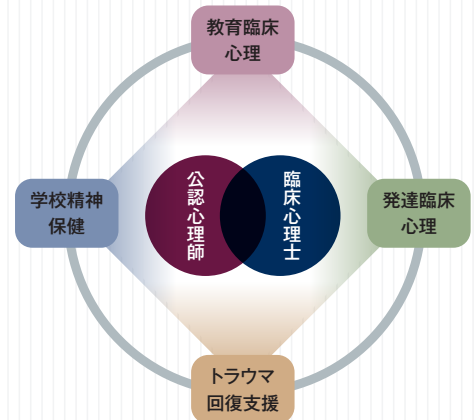
臨床心理学コース

学校現場で職場で地域で悩める人たちと共に考え、支援する人材を養成する

臨 床心理学コースでは、生涯発達のさまざまな段階における心の問題にアプローチする専門家を養成します。

心理職には、①面接や心理テストなどを用いた心理査定技術、②臨床心理面接援助技法を適用した的確な対応・処置能力、③地域の心の健康活動にかかわる人的援助システムのコーディネーティングやコンサルテーション能力、④心理臨床実践に関する継続的な研究と社会への還元が求められます。これらに精通するための基礎的な知識と技術を身に付けることを目指しています。そこで、教育臨床心理、発達臨床心理、学校精神保健、トラウマ回復支援の4つの柱(分野)を設定し、その4つが協働して立体的なアプローチを行っています。教員の専門領域は、力動的アプローチ、行動論的アプローチ、EMDRなど多様で、幅広い方法論を学べます。

【昼間クラス(資格取得クラス)】



昼間クラス(資格取得クラス)は、神戸キャンパスで授業を行います。

令和6年度からフレックスクラス(心理支援実践力養成クラス)を開設しました。

フレックスクラスは、教育現場ならびに対人援助現場の課題解決型のクラスです。勤務を継続しつつ、ICTやオンラインを活用して、自宅等から全ての授業を受講できます。本クラスでは、以下の実践力の養成を目指しています。

- ▶ 個々の事例の課題を見立てる(アセスメントする)力
- ▶ 個々の事例の介入ポイント・支援計画を明確化する力
- ▶ 事例の問題解決のために他職種連携・地域連携をする力

※講義科目は基本的にオンデマンド配信し、演習科目の一部は同期型オンライン授業です

対象

- ▶ 小・中・高等学校の教員で、子どもの不登校や発達の問題、保護者対応に悩んでいる方
- ▶ 対人援助職の方で、今の職場で臨床心理学の知識と技能を生かしたい方
- ▶ 心理職関連の資格を既に持っている方で、心理支援の実践力を高めたい方

※フレックスクラス(心理支援実践力養成クラス)では、公認心理師および臨床心理士の受験資格は取得できませんが、両資格に係る高度な専門科目を履修でき、所定の単位を修得し、修了した者には、本学独自の「心理支援実践プログラム」修了証書を授与します

令和7年度から厚生労働省認可職場適応援助者養成研修を昼間クラス生対象に開設予定です。詳しくはp.60へ

※訪問型職場適応援助者養成研修機関として厚生労働省に申請準備中であり、予定している開設有無や時期等が変更となる可能性があります

Voice

学派や手法にとらわれない柔軟な視点



臨床心理学コース
令和6年3月修了
佐野実花さん

多様な専門分野の先生方から丁寧なご指導をいただけることや、さまざまな背景を持つ仲間と共に、日々切磋琢磨しながら多角的な学びを得られることが、本コースならではの魅力です。臨床や研究に向き合う中でも、共に悩み、考えてくださる先生方や仲間の存在があるからこそ、学派や手法にとらわれない柔軟な視点が身に付きます。今後は専門家の一人として、ここで得た学びや経験を社会に還元していきたいと思えます。

学びの魅力に触れる2年間



臨床心理学コース
令和6年3月修了
山本真貴子さん

私は現職教員として入学しましたが、「心」に対してどのようなアプローチがあるかを知ることで、より深いアセスメントができるようになりました。本コースの先生方はそれぞれ抛って立つ理論や活躍される臨床分野が異なるため幅広い知見に触れさせていただくことができ、日常では仲間との多くのディスカッションがあり、視野を広げる機会をたくさんつくることができます。学ぶことは楽しく魅力的であることを教えてもらった2年間でした。

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
教授 市井雅哉	臨床心理学、 認知行動理論、 EMDR	トラウマ回復支援論I・II	PTSD、ストレス、不安、うつなどの査定、効果的な対処方法、援助方法について研究しています。
教授 海野千畝子	子ども虐待対応臨床、 統合的心理療法、 動物介在療法	被害者の心のケア、 臨床心理基礎実習	現場に役立つ介入について研究しています。臨床技法には、解離に焦点を当てた心理療法を実践しています。
教授 宇治雅代	精神医学、 臨床行動科学、 精神分析的な精神療法	保健医療分野に関する理論と 支援の展開	精神療法に重きを置く精神科臨床と心理社会的視点からの研究を行う中で、常に好奇心と探究心を持ち続けたいと考えています。
教授 遠藤裕乃	臨床心理学、 精神力動的な心理療法	臨床心理面接特論I・II	精神力動的な心理療法に家族療法、短期療法の技法を取り入れ、実効性のある心理支援モデルを探索しています。
教授 伊藤大輔	認知行動療法、 ストレス科学	臨床心理学特論、 臨床心理面接特論I・II	実証的根拠に基づいた心理学的支援（被害者支援や復職支援、ストレスマネジメント等）を検討しています。
准教授 嶋崎まゆみ	行動分析学、 応用行動分析	発達障害心理臨床特論、 福祉分野に関する理論と支援 の展開	知的障害や発達障害のある子どもの療育と、保護者や教員のサポートを行っています。
准教授 佐田久真貴	臨床心理学、 応用行動分析学	教育分野に関する理論と支援 の展開、 発達障害心理臨床特論	臨床技術の研鑽と、さまざまな専門家との協働を大切に、子どもたちとその周囲の人々への支援に取り組んでいます。
准教授 上田勝久	臨床心理学、 精神分析的な心理療法	教育相談論、 保健医療分野の理論と支援 (精神保健学特論)	力動的、精神分析的な実践知を、さまざまな現場で柔軟に活用していく方法について模索しています。
准教授 池田浩之	障害者就労支援、 認知行動療法、 発達障害	産業・労働分野の理論と実践、 福祉分野の理論と実践	認知行動療法を通じた、精神障害や発達障害のある方々への就労支援を専門としています。
准教授 永山智之	心理臨床学、 力動的な心理療法、 思春期・青年期の人格発達	臨床心理実習、 教育分野に関する理論と支援 の展開	①箱庭や描画、グループの現代的活用法②心理療法でのミクロな変化を捉える理論・技法を研究しています。
講師 池田龍也	臨床心理学、 異常心理学	臨床心理統計研究法	解離やトラウマの発生や影響について、主に定量的に研究しています。

※令和6年度中に精神医学・精神保健分野の教員が着任予定

主な修士論文のテーマ

- ▶ マインドフルネス傾向とPTSD症状の関連—トラウマ関連の否定的認知や回避行動を媒介して—
- ▶ 初任心理職者のリアリティ・ショックに組織社会化が及ぼす影響の検討
- ▶ 年代別にみるキャリアビジョンとワークエンゲイジメント及び職業性ストレスの研究
- ▶ 発達障害のある子どもを育てる母親のPTGにおけるコーピングとソーシャルサポートの役割
- ▶ PBS（ポジティブ行動支援）を活用した校内支援体制構築が教師の支援行動に及ぼす効果
- ▶ 眼球運動が脅威刺激に対する注意に与える影響
- ▶ 青年期におけるグループ箱庭心理教育プログラムの試み—対人恐怖心性に着目して—
- ▶ ライフストーリーワーク実施者の内的体験過程に関する質的研究

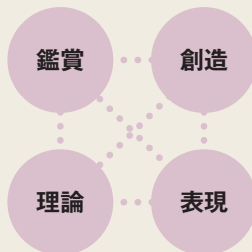
芸術表現系教育コース

芸術への理解と技能を深め新たなステージへ

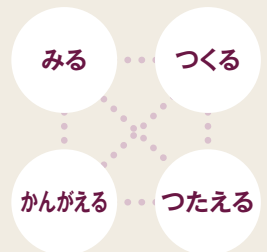
芸 術表現系教育コースは、音楽と美術における芸術教育とこれに関わる諸事象を研究領域とし、表現や鑑賞の能力に関する総合的理解を基盤として、芸術教育に関する理論と実践の融合を目指し現代社会の抱える諸問題に対処するための教育研究を行っています。音楽分野は声楽、器楽、音楽科教育学等を柱に、美術分野は絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術史学、美術科教育学等を柱に、それぞれ理論と実技の両面における創造的かつ実践的な研究に取り組みます。芸術棟には、視聴覚室、ML教室、合奏練習室、ピアノ練習個室、音響設備の整った講堂および絵画、彫塑、デザイン、工芸、窯芸、版画等の充実した実習室を完備しているほか、アート・ラボ、教材作成や授業研究のための演習室や院生研究室もあり、高度な演奏・制作・研究活動が可能です。



音 楽は、現代社会において見過ごされてきた感性の回復を目的とし「理論、創造、鑑賞、表現」という4つの視点に基づいて実践的な音楽教育の確立を目指しています。



美 術は、理論と制作の両面における創造的かつ実践的な美術教育の確立を目指し「かんがえる、つくる、みる、つたえる」という4つの作業を相互に関係付けながら新しい教育方法を探っています。



主な修士論文のテーマ

- ▶ 中学校音楽科における音楽的基礎力育成のための教材開発に関する研究—フォルマシオン・ミュージカルを視点として—
- ▶ 児童の表現力育成をめざす音楽指導に関する研究—小学校音楽科における表現活動の本質を求めて—
- ▶ 思いや意図を持った歌唱表現を育むための指導法—言語活動に着目して—
- ▶ 絵画を用いて「聴く」耳を育む小学校音楽科教材の研究
- ▶ 中学校音楽科における「永続的な理解」につながる学びと評価—「逆向き設計」と「汎用的能力」を用いた単元開発を通して—
- ▶ 児童の美術造形学習における身体関与の価値への視点に関する研究:「身体化された認知」の射程へ
- ▶ 《ぼやけた画像》をめぐる認識と想像力について—考察—「見ること」に関する教育実践とその理論—
- ▶ 高村光太郎の彫刻と詩の関係について
- ▶ メディア・リテラシー教育におけるポスターデザイン学習の可能性
- ▶ 中学校美術における皮革教材の可能性について

担当教員

(変更する場合があります)

	担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
音楽	 教授 野本立人	声楽、合唱	音楽表現の知識と技能Ⅰ(声楽)、 音楽表現の創意Ⅰ(声楽)	声楽曲および合唱曲の演奏と解釈。発声技法の実践的研究。また、合唱指導法についても研究しています。
	 教授 河内 勇	器楽(クラリネット)、吹奏楽指揮法、合奏指導法	音楽表現の知識と技能Ⅲ(器楽)、 音楽表現の創意Ⅲ(器楽)	専門はクラリネット。高度な専門性を生かした個人指導から初級者のための集団指導まで幅広く研究しています。
	 准教授 岡本信一	音楽科教育学、教育方法学、カリキュラムデザイン	音楽科の教材開発と実践研究、 音楽科カリキュラム研究	音楽に対する子どもの認知過程を視点としたカリキュラム開発や授業研究を、学際的・実践的に行っています。
	 教授 河邊昭子	音楽科教育学	音楽科授業の指導計画と教材研究の演習	音楽科の授業構成論を踏まえ、実践的知識と実践的思考を伴う教材開発力の育成を目指します。
美術	 教授 高木厚子	図画工作科教育、美術科教育	図画工作・美術科学習論、 図画工作・美術科教育研究	図画工作・美術科の授業および学習支援について、心理・認知過程に着目しながら研究・教育を進めています。
	 教授 喜多村明里	美学美術史学、イタリヤ美術文化史	美術史学の基礎と批評、 美術批評と「鑑賞」教育	美術作品をめぐる感性と知性の融合と拡張、真の芸術体験と鑑賞批評の教育について、真剣に考えよう。
	 教授 村上裕介	彫刻(彫塑、乾漆、木彫など)	造形活動の基礎Ⅱ(彫塑)、 造形表現の知識と技能Ⅱ(彫塑)	彫塑表現を通じて人と美術の関わりについて思索し、制作および伝える(教育)力の向上を目指します。
	 教授 大西 久	絵画(素描、水彩、油彩画など)	造形活動の基礎Ⅰ(絵画)、 造形表現の知識と技能Ⅰ(絵画)	絵画における「描く」「見る」「考える」の意義と関係について、多様な視点と柔軟な思考で探究しよう。
	 教授 浅海真弓	工芸(陶芸、立体造形など)	造形活動の基礎Ⅳ(工芸)、 造形表現の知識と技能Ⅳ(工芸)	工芸の実技と理論を担当。陶芸を中心に、工芸の素材・技法を用いた造形表現の可能性を探究しています。
	 教授 前芝武史	彫塑・デッサン、美術解剖学	造形活動の基礎Ⅱ(彫塑)、 造形表現の知識と技能Ⅱ(彫塑)	彫塑教育論(特別支援教育含む)を研究しています。事象の本質を掘り下げた教育を行いたいと思います。
	 教授 垣内敬造	デザイン(CI、デザイン理論、デザイン史)	造形活動の基礎Ⅲ(デザイン)、 造形表現の知識と技能Ⅲ(デザイン)	歴史や理論からデザインや職業としてのデザイナーの概念を捉えた上で、実践に結び付けて体得します。

Voice

学びというらせん階段を上り続ける



芸術表現系教育コース(音楽) 2年

山口明莉さん

音楽は生涯にわたり付き添うものであり、人生に確かな彩りを添えるものです。入学前は教育者としてのポリシーが甘い自分でしたが、入学後さまざまな講義を通して教員としての責任の他に「音楽教育者」とはどういう人なのかについて考えさせられています。自身の指導経験と大学での学びは常に相対関係であり、らせん階段を一周すれば見える景色が変わっています。なりたい音楽教育者としての自分が見つかる、ここはそんな場所です。

学び直しの大切さ



芸術表現系教育コース(美術) 令和6年3月修了

前田亜美さん

美術コースでは、さまざまな美術分野を実践をもって体験することができます。自分に不足していた技術や知識、自身の狭い視野に改めて気付かされることが多く、そのたび大学院に来てよかったと感じました。私は長期休業制度を利用し、大学院に進学しました。図画工作科における研究も、先生方のご指導の下、思う存分させていただきます。今回の学び直して得たものを児童に還元できることが、今からとても楽しみです。

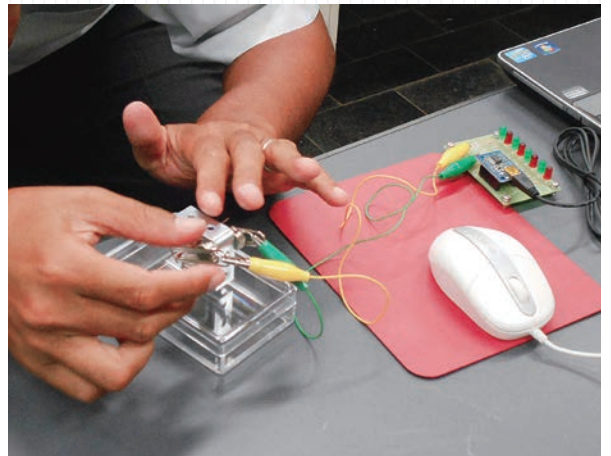
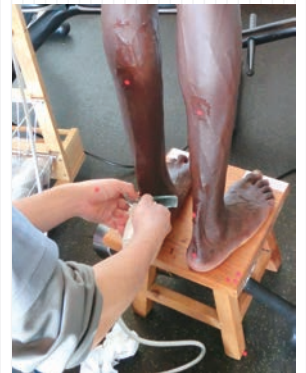
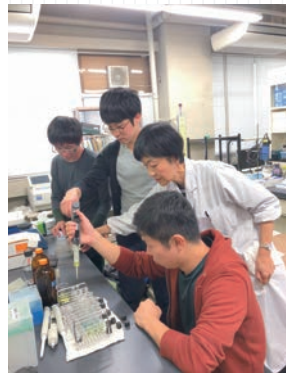
生活・健康・情報系教育コース

Imagination & Creation for Life — 想像から創造へ

生活環境の変化に対応するためには、「健康で豊かな生活を営む力」や「主体的に問題解決する能力」が求められています。このコースでは、これらの力を培うために必要な高度な知識と技能を身に付けるとともに、授業の内容と方法を開発・実践・省察することに取り組みます。

そして、保健体育、技術・家庭、工業、情報に関わる専門的な教科内容を学び、各教科の教育や授業の実践を深化させることを目指します。また、教科の枠を超えたスポーツ文化、食育、健康、環境、情報（ICT活用）、ものづくり等の複合領域についても教育・研究に取り組みます。健康教育について重点的に学びたい方のために、学校心理・学校健康教育・発達支援コースと連携した「健康教育実践プログラム」も開設しています。

合言葉は、“Imagination & Creation for Life”。想像したことは創造できる。幅広い研究を通して豊かなライフスタイルの実現を目指します。



Voice

2年間の深い学び

生活・健康・情報系教育コース

令和6年3月修了

田岡千里さん



大学での家庭科教育の学びをさらに深めたいと考え、本学へ入学しました。入学当初は2年間の学修や慣れない土地での生活への不安もありました。しかし、先生方の熱心なご指導や、教育現場での実践に直結する各授業での学びにより、すぐに意欲的に学修に取り組めるようになりました。兵庫教育大学では、コースの垣根を越えて授業を選択できるので、自分とは異なる世代や経験豊富な方々と交流することができました。

私は修了後は教員になることを目指しているので、現職の先生方から具体的なアドバイスを得られたことは、大きな収穫でした。この2年間の学びや経験を生かして、高い専門性を備えた教員になるという夢を実現させます。

Voice

充実した学びと
キャンパスライフ

生活・健康・情報系教育コース

令和6年3月修了

橋本真代さん



兵庫教育大学では、教育現場を経験している先生方や、現職教員として働いている方も多いため、教育についてより深く学ぶことができます。教育実習やスクールサポート、ボランティアなども充実しており、実際に子どもたちと関わるができる環境が整っていることも、数ある魅力の中の一つです。

また、部活動に入る学生も多く、大学院生になってもスポーツに携われたこと、授業以外でもたくさんの仲間と関わりを持ってたことをとてもうれしく思います。さらに、教員という同じ目標を持つ仲間と出会うことができ、教育実習や採用試験の勉強など、さまざまな場面において、近い距離で助け合い、支え合えた時間は私にとってかけがえのない宝物です。

Voice

理論と実践を
つなぐ場所

生活・健康・情報系教育コース

令和6年3月修了

山本晋司さん



学校現場でICTを効果的に活用するために、情報教育の理論を学び、実践と結び付けて考える勉強がしたいと思い大学院に入学しました。先生方には、ICTの活用や指導方法、データ分析などを丁寧に教えていただき、幅広い専門的な知識を得ることができました。また、プログラミング教育について研究し、文献を読んだり、学会に参加したりすることで知識を深めることができました。同じゼミ生と研究について相談し合ったり、ロボット教室の準備をしたりと共に学ぶ楽しさを味わうことができたことは大変幸せでした。

この大学院で得た貴重な時間と知見を基に、今後も授業研究に取り組み、児童の確かな学びにつなげていきたいと思っています。

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 上原 禎弘	身体教育学、 体育科教育学	保健体育科授業研究	学習成果(態度、技能)を高める教員の言語的相互作用を中心に研究を進めています。
 教授 森田 啓之	体育・スポーツ原論、 身体教育学	スポーツ文化論、 地域スポーツの運営と課題	学校体育(授業や部活動)の在り方、また社会体育(地域スポーツクラブ)との関係について研究しています。
 教授 小田 俊明	バイオメカニクス、 運動生理学、 医用工学	身体運動科学、 運動指導の基礎と応用	科学的な運動指導ならびに個に応じた指導には、スポーツ科学の基礎知識が必要条件と考えています。
 准教授 中須 賢巧	健康・スポーツ科学、 身体教育学	保健体育科教育論、 スポーツ心理学	専門は体育心理学、体育科教育学。特に体育授業における動機づけ雰囲気に関心があり、研究を進めています。
 教授 筒井 茂喜	健康・スポーツ科学、 身体教育学、 体育科教育学	初等体育科教材研究・授業づくり	状況判断力を高める指導、運動イメージの形成を促す指導、身体コミュニケーションに着目し集団凝集性を高める指導について研究を進めています。
 教授 岡本 希	衛生学・公衆衛生学、 学校保健	衛生学・公衆衛生学研究、 学校保健研究	児童生徒が適切な時期に適正な生活習慣を身に付けるための教育について調査研究を行います。
 講師 鳥取 伸彬	運動生理学、 健康教育	健康教育論、 子どものリスクと安全教育	子どもの健康に関連する生活・環境・教育について、身体活動に焦点を当てて研究を行います。

主な修士論文のテーマ

- ▶陸上競技中長距離選手の競技力に下腿筋の力学的特性が与える影響
- ▶小学校体育授業における教師の言語的行動に関する研究—運動前後のCueとフィードバックに焦点を当てて—
- ▶「学校教育の一環」たりうる運動部活動のあり方—目的および方法の視点から—
- ▶中学校体育における生徒の劣等コンプレックスに関する研究
- ▶学校の食育推進の評価に関する実践的研究—栄養教諭の関わりに着目して—
- ▶包括的性教育の視点をふまえた高等学校家庭科の授業構想
- ▶高等学校通信制課程家庭科における添削指導問題の基本構造及び作成手順の開発と評価
- ▶自立活動におけるプランニングを対象としたASD児向けデジタル教材の検討
- ▶システム工学の考え方に基づく中学校技術科における最適化思考の構造化
- ▶中学校理科「電流とその利用」のための科学的な概念形成を支援するアニメーション教材の開発

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 小山英樹	電子工学	電気・電子工学とものづくりの技術、計測・制御システム教材研究	LEDやトランジスタなどの電子部品の特徴を生かした、シンプルで使いやすい教材の開発を進めています。
 教授 森廣浩一郎	科学教育・教育学、教育学	教育情報コミュニケーション、総合学習情報論	学びを支援するシステムの構築やそれを用いた教育実践について、さまざまな学校種・教科等で考えてみませんか。
 教授 森山 潤	技術教育、情報教育、ICT活用	技術教育カリキュラム論、教育の情報化とICT活用	技術・情報教育における学習者の認知的実態の分析に基づく授業デザインやICT活用について実践的に研究しています。
 教授 小川修史	教育学、Assistive Technology、特別支援教育	教育情報工学、教育の情報化とICT活用	障害者のQOLを高めるICT活用や、そのための教員研修について研究しています。一緒に研究しませんか。
 准教授 掛川淳一	教育学、学習支援システム	情報活用実践論、情報化教育環境開発論	知識工学・認知科学的なアプローチに基づく学習／教育支援システムについて、一緒に検討していきましょう。
 講師 緒方思源	感性工学、ソフトコンピューティング	教育情報ネットワーク活用論、教育情報コミュニケーション	データ科学・AIを用いて感性・芸術の世界で価値を創造できる人材の育成に役立つ感性工学とAI芸術の研究を進めています。
 准教授 澤山郁夫	教育学、情報教育	情報社会と生活、教育の情報化とICT活用	e-Learningやアプリ開発を通して、問題解決や行動変容のための方法論を研究しています。無気力・無関心に陥らない新しい「学びの仕組み」を一緒に考えましょう。
 教授 岸田恵津	調理科学、食育・栄養教育	食育の考え方と進め方、生活科学演習	食の課題解決に向けて科学的にアプローチします。研究を通して物事の本質を見つめる習慣を養いましょう。
 教授 永田智子	家庭科教育学、教育学	家庭科授業論、教育の情報化とICT	小中高の家庭科教育、特に授業づくりについて研究しています。授業におけるICT活用についても研究しています。
 准教授 小林裕子	家庭科教育学、被服学	初等家庭科教材研究・授業づくり、家庭科授業研究	家庭科教育上の課題解決を目指す授業や教材の開発、持続可能な衣生活に関する研究を進めています。
 准教授 永田夏来	家族社会学、生活科学、家政・生活学一般、生活経営学	ライフスタイルと家族	家族社会学を専門としています。若者の結婚や妊娠出産を中心に、社会について考えてみませんか。
 講師 森井沙衣子	調理科学、食生活科学	食生活の科学と文化、ライフスタイルと健康	調理により食べ物に起こる現象を科学的に分析し、そのメカニズムや原因を明らかにするための基礎研究や、それらを食生活に応用する研究に取り組んでいます。

障害科学コース

総合的な専門性に裏付けられた支援力

特別支援教育の対象となる障害には、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱、知的障害、発達障害(LD、ADHD、ASD等)、重複障害等があり、これらは多様な教育的ニーズとして捉えることができます。今日では、多様な教育的ニーズのある児童生徒が同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、個別の教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供するための「連続性のある多様な学びの場」が求められます。

それに応えるために本コースでは、「実践する力」「連携する力」「研究する力」の3つの力の養成を目指しています。この「実践力・連携力・研究力」は、次の3つの専門性で構成されます。

- ①多様な障害に関する特性の理解
- ②障害児・者、保護者、学校・学級等への支援
- ③地域における支援システムの構築

これらについて、教育学、心理学、生理・病理、指導法、福祉・コーディネートといった多様な学問領域からのアプローチを学ぶことにより総合的に3つの専門性を高めていきます。

■総合的な専門性の概念図



令和6年度からフレックスクラスを開設しました。

フレックスクラスでは、勤務を継続しつつ、オンラインを活用し、自宅等から授業を受けることができます。昼間クラスとは、開講授業科目や研究指導等の方法が異なります。詳細については、本学ウェブサイトの「障害科学コース(フレックスクラス)」または大学院説明会(オンライン等)でご確認ください。

主な修士論文のテーマ

- ▶ 小学校特別支援学級における協調運動の困難さに対する指導方法の検討
- ▶ 中学校における行動コンサルテーションの実践研究
- ▶ ダウン症のある者のきょうだいへの出生前診断に対する意識調査
- ▶ 教員養成課程の学生を対象とした学習障害の理解に関する授業とその効果
- ▶ 入院中の児童生徒の教育保障に関する研究
- ▶ 高校生のキャリア教育における職業準備性を意識した学習プログラムの開発
- ▶ 自閉スペクトラム症児の行動変容に伴う母親の心理的变化の検討
- ▶ 個別最適な学びを目指した算数の学習に関する研究
- ▶ オンライン授業における聴覚障害学生へのより良い情報保障のあり方と今後の展望
- ▶ 場面緘黙の児童・生徒が求める支援・配慮に関する調査研究

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 井澤信三	発達障害臨床心理学、 応用行動分析学	障害児心理学研究、 行動障害支援論	個人、学校、地域における応用行動分析学に基づいたアプローチの実践と研究を一緒にやりましょう。
 教授 石倉健二	自立活動、 心理リハビリテーション、 協調運動困難	肢体不自由児指導論、 病弱児指導論	自立活動や心理リハビリテーション、関係機関との連携を通じて、障害のある方々の発達と生活上の困難の軽減について実践と研究を行っています。
 教授 高野美由紀	早期発見・早期支援、 医療と教育の連携、 知的障害児者とのインタラク ティブな語り	障害児病理、 障害児保健研究	「子ども、家族、支援者がそれぞれに充実した一日を送る」を一緒に追究していきましょう。
 准教授 中島武史	ろう教育研究、 社会言語学、 障害学	聴覚障害教育基礎技能、 聴覚障害児指導法	手話やリテラシーなどをキーワードに、ろう教育について一緒に考え、新たな実践を探ってみませんか。
 講師 丹所 忍	先天盲児の空間認知、 盲学校におけるセンター的取 り組み	視覚障害児教育論、 視覚障害児指導法	見えない・見えにくい子どもの学びから、見やすく・分かりやすい教育の在り方についても考えています。
 講師 石井智也	特別支援教育学、 特別ニーズ教育学、 日本教育史	特別支援教育研究、 特別支援教育特論	障害・特別ニーズを有する子ども一人一人の声に応じた発達支援について、主に歴史研究を通して検討しています。

授業をクローズアップ!

心理学からの障害の理解と支援へ!

障害児心理学研究

担当教員：井澤信三教授、石倉健二教授



知 知的障害等のある人を理解・支援するために、発達心理学(社会的情動、共同注意、感覚・知覚と運動動作等)と学習心理学(オペラント・レスポナント条件付け、認知的アプローチ等)という2つの視点から、講義と演習を通して具体的に学んでいます。

「自立活動」を適切に実施するために!

特別支援教育における学校臨床心理学演習 等

担当教員：井澤信三教授、石倉健二教授、岡村章司教授、石井智也講師 他

特 別支援学校の専門性の中核といえる「自立活動」を適切に実施できるよう、教育課程、指導法、個別の指導計画などについて取り扱っています。特に、発達心理臨床研究センターを利用したの実習や研修を行うことで、実践的な力量を向上させるための機会を設けています。



Voice

幅広い知識の学びと 貴重な出会い

障害科学コース
令和6年3月修了
八木貴之さん



教育現場では多様な教育的ニーズのある児童生徒の在籍が増えてきました。私が支援教育の現場で経験してきた20年でも、支援の方法や施策・制度が次々に新しく提唱されてきました。学び直しが必要だと決心したのは、これらがきっかけです。

大学院生活では、共に学ぶ院生との出会いがとても刺激的でした。同じような立場で来られている方、学部卒からストレートで来られている方、それぞれの立場から大学院での学びの動機や今後の希望を聞かせてもらい、自分自身の教育観を見つめ直す機会となりました。専攻での幅広い学びはもちろんのこと、専門教科の保健体育や心理学などの授業で得た知識と、そこでの交流が本当に貴重な経験となりました。

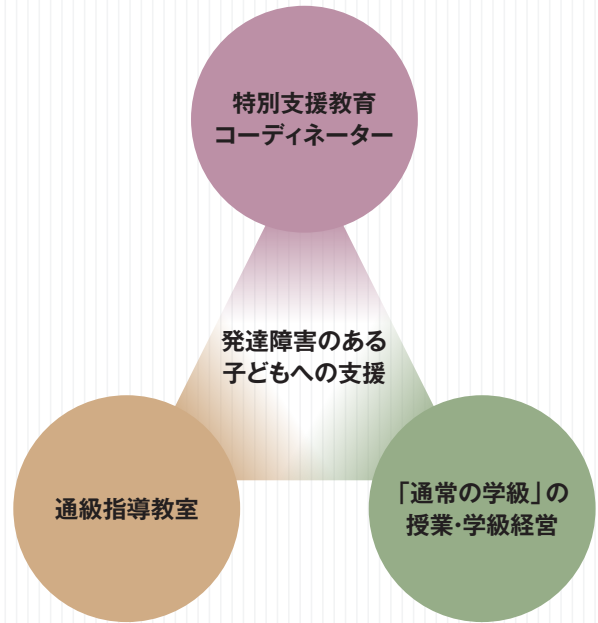
発達障害支援実践コース

すべての子どもにより良い支援を!

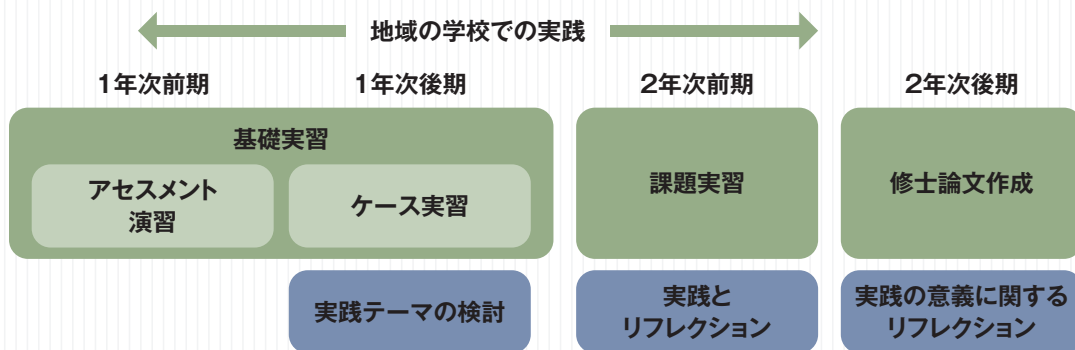
特 別支援教育における課題の解決を自ら主体的に考え、地域や学校で中核となって活動する特別支援教育担当者の育成を目指しています。通常の学級担任・教科担当者にも発達障害支援の実践力(例えば、ユニバーサルデザインの授業)が求められていることから、ストレート学生も入学対象となっています。

発達障害支援に当たって「特別支援教育コーディネーター」「通級指導教室担当者」「特別支援教育を理解して通常の学級において授業・学級経営の工夫をする教員」の人材育成を念頭に、授業科目の領域が設定されています。2年間を通して、地域の教育委員会や学校と協働した学校現場実習を組んでいることも大きな特色です。

コーディネーターや通級担当者には、ミドルリーダーとして教員間コミュニケーションを促進して、特別支援教育の体制を推進する役目もあります。これから、通常の学級担任には、インクルーシブ教育を見据えて授業をデザインする力量も求められます。本コースはこのような新しい役割にも積極的に対応しています。



■学校実習が核となる2年間の学び






主な修士論文のテーマ

- ▶ 国語の学習に困難がある子どもへの抽象語理解を促す語彙指導の試み—発達モデルを考慮したイラストカードを活用して—
- ▶ 配慮を要する生徒の中学校運動部活動への参加を促す実践に関する検討—基本スキルの習得と目標の設定を柱として—
- ▶ 通級担当教員と通常学級担任との連携を促す支援—連携プロセスの構築を目指して—
- ▶ 特別支援学級担任への保護者連携に関する研修効果—保護者とのコミュニケーション促進を目指して—
- ▶ 教師の“まなびほくし”を促す研修デザインの検討
- ▶ ユニバーサルデザインの視点から考える小学校理科の授業づくり—この規則性を見いだすための実験活動—

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 <p>教授 宇野宏幸</p>	発達障害の神経心理学、通常学級の授業づくり、地域リーダー論	発達障害研究、特別支援教育リーダーのための創発的コミュニケーション	通常学級の特別支援教育(授業づくり)、学校づくりや地域支援のためのリーダーシップに興味を持っています。
 <p>教授 岡村章司</p>	発達障害臨床心理学、応用行動分析学	学習障害児指導法演習、家族支援心理学	ASDやその家族への支援、およびコンサルテーションやチーム支援に関する研究をしています。
 <p>准教授 石橋由紀子</p>	特別支援教育学	コーディネート概論、コーディネート研究	インクルーシブ教育、特別支援学校のセンター的機能等について興味を持っています。

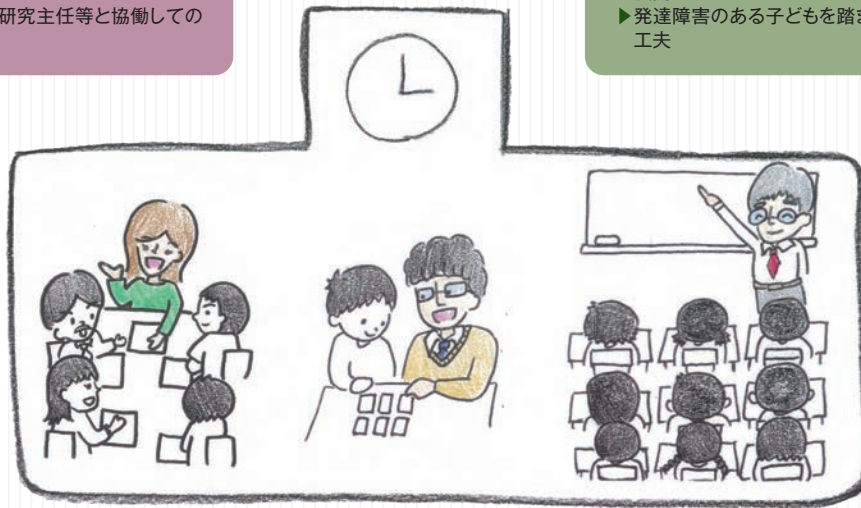
3つの領域で目指す実践力の向上

特別支援教育コーディネーター

- ▶ 特別支援学校のセンター的機能を発揮しての地域支援の充実
- ▶ 校内で、生徒指導や研究主任等と協働しての支援体制構築

「通常の学級」の授業・教科担当者

- ▶ 授業のユニバーサル・デザイン化の効果的な展開
- ▶ 発達障害のある子どもを踏まえた学級経営の工夫



通級指導教室担当者

- ▶ 発達障害のある子どもを対象とした個別的な学習・生活指導の力量アップ
- ▶ 学級担任や保護者との連携を図り、子どもの教育ニーズを的確に把握

Voice

学びへの道

発達障害支援実践コース2年

姫路友香さん



現職として働きながらたくさん子どもたちと関わる中で、うまくいかないことや迷うことがたくさんありました。教員として子どもに関わる以上、もっと専門的な知識を得たいと感じ、大学院への入学を決意しました。

入学後は、自分の課題や問題意識と向き合いながら今の自分にできることは何かを考える、とても良い時間が過ごせていると感じています。特にうれしかったことは、同じように考え大学院に入学してきた仲間がたくさんできたことです。大学院を修了した後も生涯大切にしていきたい仲間です。これから、自分の研究に向かって学びを深め、現場に戻った後に得た学びを子どもたちへ返していきたいと思っています。

教育現場等に実践力の高い
教職員を送り出す

専門職学位課程（教職大学院）

授与される学位・教職修士（専門職）

ニーズと実践性に根差した
高度な教育研究を推進

教育実践高度化専攻

こんな人を募集します！

学校経営コース 昼 F	校長や教頭などの学校経営専門職、指導主事などの教育行政専門職に必要とされる、課題解決力や組織経営力を高めます。	学校管理職、教育行政専門職（候補者含む）
教育方法・生徒指導 マネジメントコース 昼 F	児童生徒理解、指導と評価などの視点から、学校のさまざまな教育活動をマネジメントできる教員の養成を目指します。	小学校、中学・高校教員、教員志望者
言語系教科 マネジメントコース 昼 F	ことばの教育に関わる諸問題について指導法および専門的事項を幅広く探究し、言語文化に関する教育実践力を養成します。	小学校、中学・高校（国語・英語）教員、教員志望者
社会系教科 マネジメントコース 昼 F	児童生徒の社会認識を深め、現代社会をよりよく生きる知性と勇気を育むことのできる教員の養成を目指します。	小学校、中学（社会）・高校（地歴・公民）教員、教員志望者
理数系教科 マネジメントコース 昼 F	理数系の教科専門と教科教育を融合する教材研究・授業開発の習得、研究を通じた算数・数学と理科の教育を担う人材を育成します。	小学校、中学・高校（数学・理科）教員、教員志望者
小学校教員養成特別コース 昼 （3年制コース・2年制コース）	小学校教員志望者を対象とし、実践的な指導力と自己の実践を省察・改善できる能力を身に付け、即戦力となる教員を養成します。	小学校教員志望者
グローバル化推進 教育リーダーコース 昼 F	学校のグローバル化推進教育のために、多様な文化や社会を理解し、グローバル社会における生きる力を育てることのできる教員を養成します。	グローバル教育に関心のある教育関係者および教員志望者
教育政策リーダーコース F	未来を創る子どもたちの教育に加え、新たな地域社会の創出を担う教育行政に携わる教育長等を養成します。	教育長、教育行政の幹部（候補者含む）、学校管理職
授業実践課題探究コース F	今学校現場で起こっている課題を協働的に解決するプロセスを通して、これまでの教員経験を視座にした省察をサポートしながら教育実践研究の力を高めます。	教職経験5年以上の、自己の実践研究力を高めたい人

昼 …昼間クラス F …フレックスクラス（オンラインを積極的に活用して、勤務しながら学ぶことができるクラス（一部の授業等は対面あるいはオンライン同期型で実施））※教育政策リーダーコースは、学生の要望等を踏まえた時期・場所で授業を受けることができる「フレックス&プレイスカリキュラム制度」を導入

外国人留学生向けに 国際貢献型カリキュラムを開設

日本語や日本の文化、学校教育を理解することにより、主に母国における教育の向上に貢献することを目指す外国人留学生を募集します。

- Point**
- ▶ 日本型教育の特徴を学べます！（比較教育学など）
 - ▶ 学校体験・基盤実習の授業科目で実際の教育現場に接することで、母国の教育現場との違いを体感できます。

※母国での教職経験がある人は実習の一部を免除できます

対象コース ※昼間クラスのみ対象

教育方法・生徒指導マネジメントコース／言語系教科マネジメントコース／社会系教科マネジメントコース／理数系教科マネジメントコース／グローバル化推進教育リーダーコース

学びのプロセス

課題研究(教育実践研究報告書作成)の流れ

1年次	5月～6月	指導教員(ゼミ)を決定
	6月	実践研究テーマを設定(自身が所属するコースで行う実習での検証等を考慮して設定)
	8月～9月	実践研究計画発表会(研究テーマと研究方法のアウトラインの確定)
2年次	2月	中間発表会I
	8月～9月	中間発表会II
	2月	実践研究発表会(実践研究の成果発表)



社会系教科マネジメントコース
令和6年3月修了
／公立中学校・高等学校教諭
島津貴一さん

「社会の有為な形成者」 育成を目指して

私は兵庫教育大学卒業のストレート院生として入学し、学部の指導教員に引き続きご指導いただきました。大学院では、社会科の目標である「社会の有為な形成者」の育成に取り組む研究を行いました。社会科の学習というと、用語を網羅的に暗記するというイメージがあります。しかし、本来の社会科は現

実社会の諸課題に対して解決策を構想できる生徒を育成しなければなりません。社会科教育学では、育成したい生徒像に応じた授業理論がさまざまあります。私は、その中でも社会形成学習という理論に依拠しながら研究を2年間進めてきました。先行研究の課題分析から、社会的な問題に対して具体的な改善策を考えられる生徒を育てたいと思い、公共政策学の知見を取り入れた授業理論を設計し実習で実践・検証を行いました。2年次からは、実習校の県立高等学校で非常勤講師として勤務しながら研究しました。目の前の生徒と関係を築きながら実態に合わせた授業理論の設計と実践が可能となり、前年以上に研究が大きく進みました。

この2年間、たくさんの縁に恵まれました。教職大学院の実践研究は多くの方々のお力添えがあって初めて成立します。大学院の研究生活で最も大切なことは、自分の研究に一生懸命取り組むことです。それが研究生活を支えてもらった方々への一番の恩返しになると 생각합니다。

島津さんの2年間の学び

年次	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	コースのオリエンテーション	指導教員の決定	研究課題の選定			授業理論の設計		授業理論の実践(実習①)	授業理論の検証	中間発表①	授業理論の改善	
	情報収集(文献・学会参加)											
2年次	教育実践研究報告書の下書き作成		授業理論の再設計	学会発表①	中間発表②	授業理論の実践	学会発表②	報告書清書	報告書提出	最終発表	学会論文作成	学会論文提出
	非常勤講師として勤務						指導力向上実習(実習②)					

修了に必要な単位

	学校経営コース	小学校教員養成特別コース		教育政策リーダーコース	授業実践課題探究コース	左記以外のコース
		3年制コース	2年制コース ()は小学校2種免許状所有者			
共通基礎科目・専門科目	34単位以上	26単位以上	24単位以上	36単位以上	36単位以上 ※5	28単位以上
実習科目	10単位 ※2	12単位	14単位	10単位 ※2	10単位 ※2	10単位 ※2
学部教職課程	—	73単位 ※3	(22単位)	—	—	—
合計単位数	44単位	38単位+73単位	38単位 (38単位+22単位)	46単位	46単位	38単位
最低修得単位数 ※1	46単位	46単位+73単位 ※4	46単位 (46単位+22単位)			46単位

※1…合計単位数38単位(学校経営コースは44単位)と最低修得単位数46単位との差8単位(学校経営コースは2単位)は、共通基礎科目、専門科目(自身が所属するコース以外で開設する専門科目を含む)および実習科目のうちから修得するものとします(教育政策リーダーコースおよび授業実践課題探究コースは除きます)

※2…実務経験等に応じ、実習科目の全部または一部が免除される場合があります

※3…幼・中・高1種免許状所有者は55単位

※4…幼・中・高1種免許状所有者は46単位+55単位

※5…修士課程各専攻・コースで開講する授業科目を修得した場合は、10単位まで修了に必要な単位数に含めることができます

学生の時間割を公開！



教育方法・生徒指導マネジメント
コース2年
／公立小学校教諭
糟谷樹理さん

理論と実践を学ぶ絶好の機会

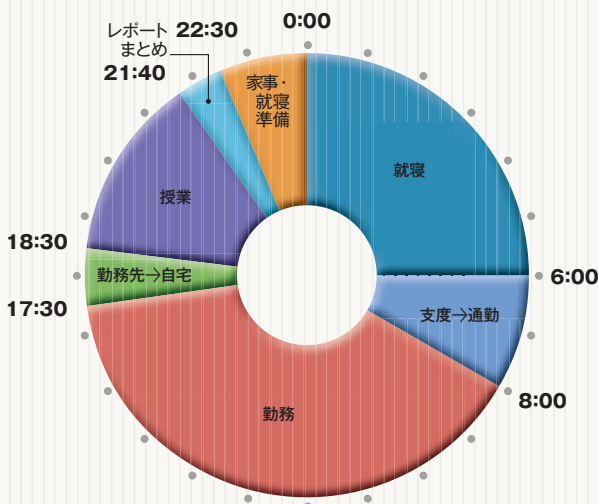
東北地方に住んでいるため、オンラインで大学院の課程を履修できることを知り、入学しました。この3年間の学びは、教員としての経験を振り返りつつ、理論と現場実践を結び付ける絶好の機会です。現場で気になっていたことが先人の研究によって明確にされることには、大きな驚きと喜びを感じています。教員業と研究の二つの軸が、私の日常生活を支えてくれています。学業との両立を図るため、動画配信を活用しながらも、仕事を定時に終える工夫をしています。また、周囲に自分の状況を伝え、家族の協力を得ながら、効率的な作業方法を取り入れています。学校全体への働き方改革を提案することもあります。

1年次の授業スケジュール(令和5年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	6		道徳教育及び道徳授業の理論と実際	学校における道徳教育の実践研究	教員のための学校組織マネジメントの実践演習
	7	教育方法生徒指導マネジメント演習I	児童生徒を活かす学級経営の実践演習	包括的児童生徒支援に関する事例研究	ゼミ
後期	6	教育課程における各教科の特性と課題		初等国語科教材研究・授業づくり	社会心理学に基づく学級経営の実践開発
	7	実践的な指導方法に関する理論と実際		ゼミ	授業研究の理論と実践

集中講義：授業におけるICT活用、初等算数科教材研究・授業づくり

授業がある日の1日



言語系教科マネジメントコース
(英語) 令和6年3月修了
藤田理瑚さん

学びの架け橋を行き来するteacher-researcherに

1年次の初めに2年間の履修計画を組み、目前にある課題に集中できる環境を整えました。小学校免許取得のための学部科目と院科目が同じコマに重なることが多く、履修計画には苦労しましたが、志を同じくする仲間と情報共有し、安心して履修できました。2年次の応用実習、研究報告書、小学校実習を念頭に置き、1年次に詰め込んで履修しました。院と学部の科目を同時進行で履修することで、理論と実践とを行き来して学べたと思います。学部生の時に教育を専攻しなかった私にとって、学部科目で学んだ理論の基礎は、院での学びのためのスモールステップになりました。修了に当たっては、中学・高校(英語)の専修免許と小学校2種免許を取得予定です。

1年次の授業スケジュール(令和4年度)

時限	月	火	水	木	金	
前期	1	特色あるカリキュラムづくりの理論と実際		包括的児童生徒支援に関する事例研究	児童生徒を活かす学級経営の実践演習	
	2	教員のための学校組織マネジメントの実践演習	小学校英語科授業の研究	特別活動・地域教育活動プログラムの開発	学校における道徳教育の実践研究	教員の社会的役割と自己開発/実践的な指導方法に関する理論と実際
	3	第二言語習得と外国語学習	教育課程の制度的特質と課題	教育課程論④	授業におけるICT活用	
	4	初等算数科教育法④	英語科授業と言語表現2			総合的な学習の時間の理論と実践④
	5		世界の教育			言語系教科教育実践研究
後期	1		初等英語科教育法④	初等家庭科教育法④		
	2		道徳教育論④	情報通信技術活用論④	英語科授業の実践研究④	
	3		教育方法論④	初等音楽④/初等図画工作④	特別支援概説B④	
	4				初等家庭④/初等生活④	
	5					言語系教科教育実践研究

集中講義：包括的児童生徒支援に関する事例研究、小中連携教育論
実習：学校観察実習④、学校基盤実習 ④…小中連携教育プログラム



社会系教科マネジメントコース
2年 / 公立小学校教諭
万壽本寛之さん

議論の中で新たな学びが

私は、授業力向上と理論を実践に生かしたいと思い、現職教員として本学に入学しました。1年次には、修了条件を満たすように履修しました。大学院では、他校種の先生やストレート院生などさまざまな立場の方が、さまざまな地域から集まってきます。必修の授業では、そういった方々と議論を深める中で、新たな視点を発見し、考えを深めることができました。また、「社会科教育学」の授業では、専門的な知識を学んだり、授業論についての論文を読み議論したり、教材や授業の検討をしたりしました。その中で、理論を確立し、実践に生かし、何度も改善を行っています。そして、同じコースの仲間と議論を重ね、自身の教育観を高められる場となっています。

1年次の授業スケジュール(令和5年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	1	教員のための学校組織マネジメントの実践演習	道徳教育及び道徳授業の理論と実際	障害のある児童への指導と支援方法	
	2	学級づくりと教育的関係の構築	社会系教科の授業デザインの理論と方法(2)	包括的児童生徒支援に関する事例研究	児童生徒を活かす学級経営の実践演習
	3	教育課程における各教科の特性と課題		授業におけるICT活用	
	4	社会系教科の授業デザインの理論と方法(1)		社会系教科におけるカリキュラムの変遷とマネジメントの実態	
	5		社会系教科教育実践研究		
後期	1		授業における評価の基準作成理論と学力評価法		
	2	学校における特別支援教育への対応と方法		社会系教科の授業デザインの理論と方法(3)	カリキュラム・マネジメントと学校のオープン・イノベーション
	3	社会系教科の授業研究			
	4				
	5	現代社会の課題とその教材化	社会系教科教育実践研究		



理数系教科マネジメントコース
(数学)2年
/ 公立高等学校教諭
池田貴大さん

刺激と学びの日々

私は、数学の問題は何となく解けるけれどよく分からないという生徒に、数学の本質的な理解・納得をどのように促すことができるのかについて研究したいと考えていました。そのため、数学教育に関わる科目を履修するようにしました。ゼミや授業で日々刺激を受け、勉強に取り組んでいます。また、日本の教育だけでなく、他の国の教育の実情について知りたいと思い、履修した「世界の教育」では、私の持つ価値観が覆され、改めて教育について考える機会となりました。興味があったものの、開講時間が重なって履修できなかった科目も多かったため、2年次に履修しようと考えています。実習は2年次に控えており、実りある研究実践ができるよう、主にゼミを通して準備しています。

1年次の授業スケジュール(令和5年度)

時限	月	火	水	木	金	
前期	1	教員のための学校組織マネジメントの実践演習				教員の社会的役割と自己啓発
	2		数学的リテラシーと算数・数学的活動			児童生徒を活かす学級経営の実践演習
	3	算数・数学科の授業づくりと評価	教育課程における各教科の特性と課題		授業におけるICT活用	ゼミ
	4				中等数学科教材研究	ゼミ
	5		世界の教育			
後期	1	教員のための人権教育の理論と方法	授業における評価の基準作成理論と学力評価法			
	2	学校における特別支援教育への対応と方法			「図形」領域の探究的学習教材	
	3	算数・数学科教育の理論と実践	数学教材の背景と応用			ゼミ
	4		「数と式」領域の探究的学習教材			ゼミ
	5					

学生の時間割を公開！



小学校教員養成特別コース
(3年制) 令和6年3月修了

戸塚亮太さん

最高の環境で最高の仲間と

本コースでは、さまざまな専門分野について探求することができ、専門性の高い先生方から教育理論とその指導方法、現場での実践に向けて深く学ぶことができます。経歴の豊かな仲間たちと同じ夢を追いかけ、多様な授業や教員採用試験対策を通して切磋琢磨し合えるのも本コースの魅力です。また、3年制コースでは、2年次には約4カ月間の実習があります。大学院の授業を通して得た学びや知見を踏まえて、専門分野の授業実践で研究させていただき、教壇に立った時の糧となって生きることを確信しています。長期的に児童と関わりながら現場で学ぶだけでなく、毎週ゼミの先生や同期と共にリフレクションを行うことで新たな気づきを得ることができる最高のコースです。

1年次の授業スケジュール(令和3年度)

時限	月	火	水	木	金	
前期	1	初等体育	同和教育と人権教育			
	2	教育史	初等英語		初等音楽科教育法	初等体育科教育法
	3	初等理科	教職原論		初等社会	
	4		教育制度論		発達心理学	総合的な学習の時間の理論と実践
	5		初等社会科教育法			
後期	1	生徒指導論	初等国語・算数	初等英語科教育法		初等理科教育法
	2	初等国語科教育法	教育実地基礎1(レポート作成法の研究)		初等家庭科教育法	
	3	初等生活科教育法	道徳教育論		初等音楽・図画工作	特別支援教育概説B
	4		教育社会学			初等家庭・生活
	5		特別活動論			



グローバル推進教育リーダー
コース2年
/ 公立中学・高等学校教諭

藤田勝如さん

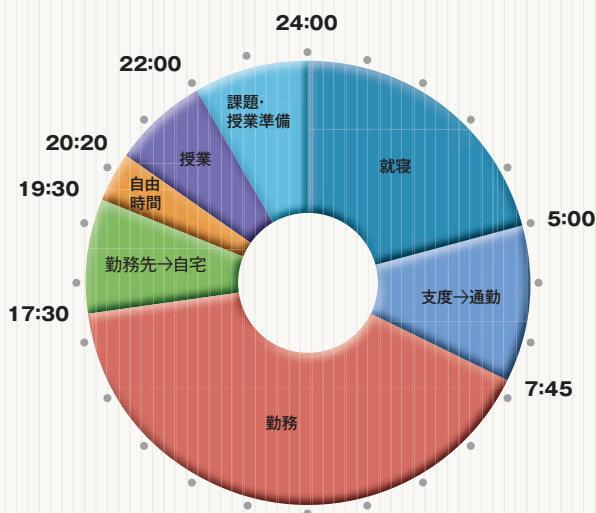
時間は「つくれば」、ある

入学前は業務との両立に不安がありました。しかし、始めてみるとなんとかなるものです。学びたい自分があり、そこに教えてくださる先生がいることで、「ない」と思っていた時間を「つくる」ことができました。業務との両立は簡単ではないですが、夜間の授業ではオンデマンド方式の授業があり、自分の空き時間に授業を受けることができ、工夫次第で今まで「ない」と思っていた時間を生み出すことができています。また実践の場を持っていることで学んだことを即現場で生かすことができます。仕事と学びの両立は大変ですが、学びを生かすという面から考えると学びを即実行できる今の環境はとても素晴らしいものだと感じています。

1年次の授業スケジュール(令和5年度)

時限	月	火	水	木	金	
前期	6				教員のための学校組織マネジメントの実践演習	
	7	ゼミ	英語を活用した論理的思考	児童生徒を活かす学級経営の実践演習	包括的児童生徒支援に関する事例研究	国際理解教育I(基礎)
後期	6	教育課程における各教科の特性と課題	国際理解教育II(応用と実践)			社会心理学に基づく学級経営の実践開発
	7	実践的な指導方法に関する理論と実際		教員のための人権教育の理論と方法		

授業がある日の1日





学校教育コース*3年
／公立小学校教諭
増田里奈さん

長期履修を活用し、ゆとりを持って学ぶ

仕事と大学院との両立には不安がありました。長期履修学生制度を利用することで、ゆとりを持って履修計画を立てることができています。中には隔年開講の講義もあるため、3年間を見通して計画的に履修することができるように考えました。まずは必修科目や選択必修科目を中心に、自分の興味関心のある講義を受講していますが、仕事のことも考えて、あまり無理のないように受講することを心がけています。おおむね全ての講義がオンラインで行われているため、自宅から受講したり、休日にオンライン教材を視聴したりすることが多いです。通学時間が必要ない分、その時間を大学院での学びを深める時間に充てることができます。

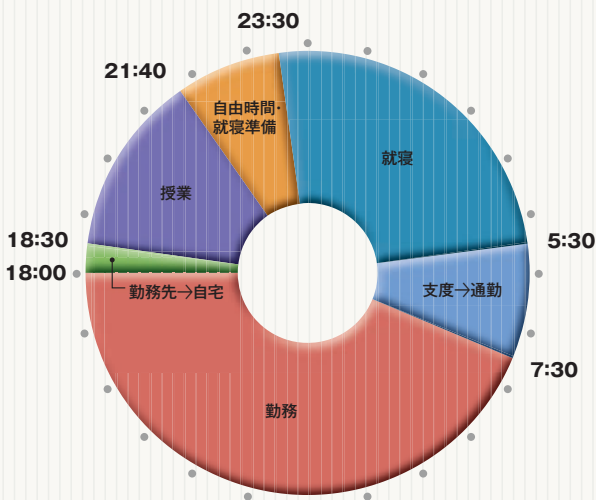
※令和6年度から、コース名が授業実践課題探究コースに変更

2年次の授業スケジュール(令和5年度)

時限	月	火	水	木	金	
前期	6	生徒指導と学校教育相談	授業における評価の基準作成理論と学力評価法	学級づくりと教育的関係の構築	学校における道徳教育の実践研究	
	7		教育実践リフレクション			
後期	6	教育課程の制度的特質と課題			初等国語科教材研究・授業づくり	
	7	実践的な指導方法に関する理論と実際	教育実践リフレクション	教員のための人権教育の理論と方法		

集中講義：小中連携教育論、総合的な学習と特別活動のデザイン

授業がある日の1日



Point1 質の高い実践的な実習

専門職学位課程(教職大学院)では、教員としての実践的指導力の強化を図るため、長期にわたり、学校等における実習(実地研究)を行います。教員免許状を取得するための実習とは異なり、実習校が取り組んでいる教育課題や研究内容と、実習生の研究テーマとの整合性等を取りながらマッチングを行い、双方にメリットのある研究活動を推進しています。

現職教員の学生は原則として現任教員、現職教員以外の学生は兵庫県内の連携協力校*が実習校となります。

※兵庫県内の200を超える公立小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、幼稚園、適応指導教室等が、連携協力校として本学と協定を結んでいます



Point2 充実した支援体制

教育実習総合センターでは、教職大学院の実習を円滑に進めるための支援を行っています。

センターには、県・市教育委員会や公立の学校長等を経験し、教員の育成に豊かな経験と実績を持つスタッフを配置しており、学校等における実習に関するさまざまなことや、学校現場の様子などについて気軽に相談することができます。

また、ストレート院生に対し、教員としての高度な実践的指導力を身に付けてもらうことを狙いとして、「教育実践サポート」および「教育実践個別サポート」を開設し、修学を強力に支援しています。



学校経営コース

学校づくりをリードする高度な実践力の修得を目指す

学 校経営コースでは、社会の期待や要求に応えながら、自律的な学校づくりをリードする校長や副校長・教頭などの学校経営専門職、学校を支援する指導主事などの教育行政専門職を養成します。

入学募集の対象としては、国立・公立・私立にかかわらず、全ての校種から応募が可能です。現に校長、副校長・教頭等の学校管理職にある者のみならず、その候補者・希望者たる教諭、主幹教諭等に加えて、教育委員会の指導主事等や学校事務職員を含めて、幅広い職層を歓迎します。

本コースでは、今後の学校づくりに必要とされる課題解決力や組織経営力を高めるカリキュラムを用意し、対面とオンラインの併用（ハイブリッド方式）による講義等を実施します。

昼間クラスでは、対面授業が中心となり、通常の講義等に加えて、インターンシップやフィールドワーク等を通じた多様で深い学びの機会を提供します。

フレックスクラスでは、オンライン授業を中心に、柔軟な学びのスタイルに対応する仕組みを導入することで、全国どこにいても勤務しながら学ぶことができます。

専門科目の授業の一部は、神戸キャンパス等において、昼間クラスとフレックスクラスの合同で実施しますが、その際は対面かオンラインの選択が可能です。

大学院修了後は、学校管理職や教育委員会の幹部として

活躍するパターンが大多数である一方で、近年は博士課程に進学する例も増加しています。いずれのキャリアパスを歩むにせよ、在学中のさまざまな出会いと交流に加え、全国各地に広がる同窓会の活動を通じた修了生ネットワークも大きな財産となります。

昼間クラス 2年	フレックスクラス 2年または3年
共通基礎科目 オンライン授業	共通基礎科目 オンライン授業
専門科目 対面授業中心	専門科目 オンライン授業中心
専門科目 授業の2割程度を昼間クラスとフレックスクラスの合同で実施 対面授業（神戸キャンパス）またはオンライン授業（同時双方向）	
課題研究 昼間クラスとフレックスクラスの合同で実施 対面授業（神戸キャンパス）またはオンライン授業（同時双方向）	
インターンシップ（実習） 学校または教育委員会	インターンシップ（実習） 申請により免除

*昼間クラスには、フィールドワーク等の多様な学びの機会を提供

Voice

視野が広がる 学び



学校経営コース（昼間）2年

宇田毅さん

鳥取県の義務教育学校に所属しています。強みを生かしてより高い教育効果を発揮できる学校づくりについて研究しています。授業では、学校経営に必要なさまざまな知見を得ることができ、自分の学校をより多角的に分析できるようになりました。また、フィールドワークや先進校視察などの学びからも、自分の視野を広げることができました。そして校種、県域を越えて集まった仲間にも日々、刺激と元気をもらっています。

求めよ さらば与えられん



学校経営コース（フレックス）2年

松野千恵美さん

学校現場で働いてきた40年。でも、「まだ学びたい」と大学院に飛び込みました。昼間は中学校で事務長を務め、夕方からはオンラインでカリキュラムや学校経営・教育行政を学びます。授業で得た情報を職場に伝え、現場での問いが新たな学びへの意欲となります。限られた時間の中、同じフレックス生と励まし合い、他のコースの方とも出会い、皆さんの教育への熱い思いに触れつつ自らのテーマを探求する、無限の学びを楽しんでいます。

担当教員	研究分野	担当専門科目	メッセージ
 教授 富山清実	教師教育、 教育経営	学校経営・教育行財政実践課題研究、学校経営・教育行政専門職インターンシップ	教員の職能開発を促進する現職研修と学校危機管理の在り方を中心とした研究を進めています。
 教授 大野裕己	教育経営学、 学校経営・学校改善	学校・地域協働の理論とデザイン	学校の創発を促す組織過程やリーダーシップの在り方を中心に研究を進めています。また、日・米の学校改革の比較研究にも取り組んでいます。
 教授 川上泰彦	教育政策、 教育行政学、 教育経営学	学校・教育委員会の経営と財務、学校・教育委員会のEBPMと評価	国・地方レベルにおける教育行政システムの変化が学校の諸活動や経営に与える影響に関心があります。
 教授 神内 聡	教育法、 教育制度、 社会科教育	教育法規の理論と実践演習、 学校危機管理の理論と実践演習	教員と弁護士との双方の視点から、教育法、教育制度、社会科教育などを研究しています。
 准教授 安藤福光	カリキュラム・マネジメント、 小中一貫教育、 中高一貫教育	カリキュラム・マネジメントと学校のオープンイノベーション	カリキュラム研究、特に小中一貫カリキュラムや中高一貫カリキュラムの研究、高等学校のカリキュラム・マネジメントの研究に取り組んでいます。
 准教授 三浦智子	教育経営学、 教育行政学	学校マネジメントによる組織活性化	学校経営や自治体・国の教育政策が地域の多様なニーズに応答するプロセスや仕組みを研究しています。



改善プラン(教育実践研究報告書)のテーマ例

学
校

- 【小学校】▶少人数指導加配教員の機能性に影響を与える要素—学力向上推進リーダーへの質問紙調査から—
▶小中合同の学校運営協議会で創る学校—コミュニティ・スクールの仕組みの活用—
▶地域住民・保護者と「つながる」カリキュラムマネジメントの創造
- 【中学校】▶一貫教育を推進するスクールミッションの再構築と学校組織再編—義務教育学校の開校プランの提示—
▶プロセスマネジメントをベースとした開発的改善—生徒・教員の主体性を伸ばす組織改善—
▶中高一貫教育における中学校から高等学校への接続に関する考察—社会に開かれた教育課程の実現をめざして—
- 【高等学校】▶機能する学校組織の在り方についての考察—主幹教諭・ミドルリーダーの役割を中心に—
▶「学習する組織」としての高等学校の授業改善—コミュニティ・スクールの仕組みを活用して—
▶探究的な学習によるグローバル・リーダーの育成—カリキュラム・デザインと組織力向上によるアプローチ—
▶予測困難な未来を切り拓くビジネス教育の革新—地域産業をリードする人材の育成—
- 【特別支援学校】▶児童生徒の自立と社会参加を目指す学校づくり—カリキュラム・マネジメントによるデザイン—
▶地域とともに共生社会を実現する学校—児童生徒が卒業後に自分らしく生きるために—
▶障害のある子ども達の自立と社会参加をめざす学校づくり—地域資源を活用した教育活動の展開—

教
育
委
員
会

- ▶教育資源を最大限に活用した教育行政の在り方—新しい時代の学びを支える「A市版スクール・コミュニティ」の可能性を探る—
- ▶「地域とともにある学校づくり」の推進に向けた教育施策の立案—B県型地域連携教育の取組の充実を通して—
- ▶小・中学校における効果的な人材育成の取組に資する教育委員会事務局の支援策—若手教員の育成を中心にして—
- ▶教育委員会の学校コンサルティング機能の強化と学校支援の仕組みの構築—C市学校教育活性化のための評価運動モデル—
- ▶施設隣接・分離型小中一貫教育の推進における教育行政の支援—持続可能な支援体制の構築を目指して—

教育方法・生徒指導マネジメントコース

カリキュラムの3本の柱で学ぶ「学校現場のマネジメント力」

教育方法と生徒指導の分野において、「教師個人の力量」と「学校全体の力量」を高めるための学びを提供します。

カリキュラムの3本柱

1. 一人一人に最適化された学び

「教師個人マネジメント力」を養う演習、「校内組織マネジメント力」を高める演習を個別に開設しています。現職院生、ストレート院生のいずれもが、各自の大学院進学のために応じた力量形成が可能です。

2. 研究力、実践力を高める学び

データ分析などの研究法に関する授業で、教育活動の効果性を科学的に検証する力を獲得できます。また実習科目では、研究力に支えられたマネジメント力を現場で実践し、さらに向上させることができます。

3. 問題解決を支える専門性を身に付ける学び

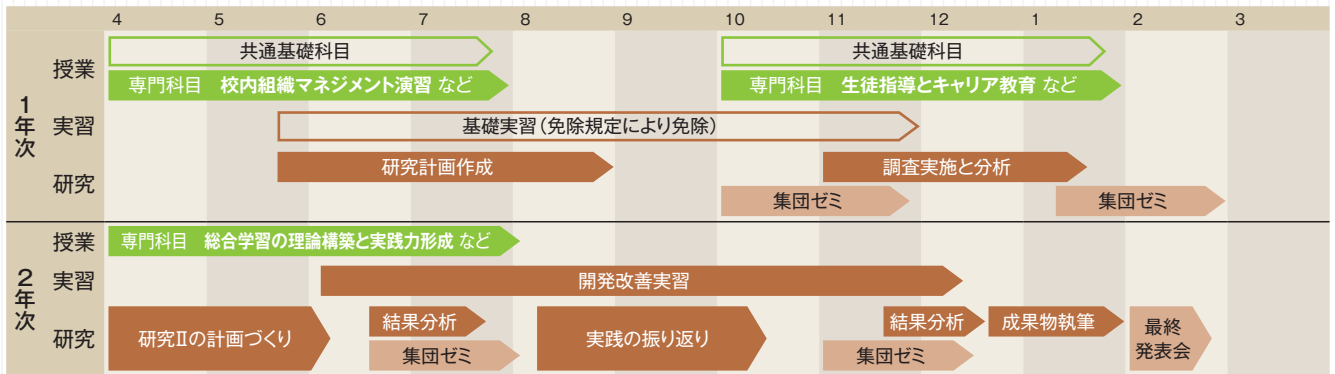
多彩な専門科目から自らの目的や問題意識に応じて選択できます。また、心理学、教育方法学、教師教育学などのアカデミックな学問とリンクさせて学修できます。

本コースで学べる内容

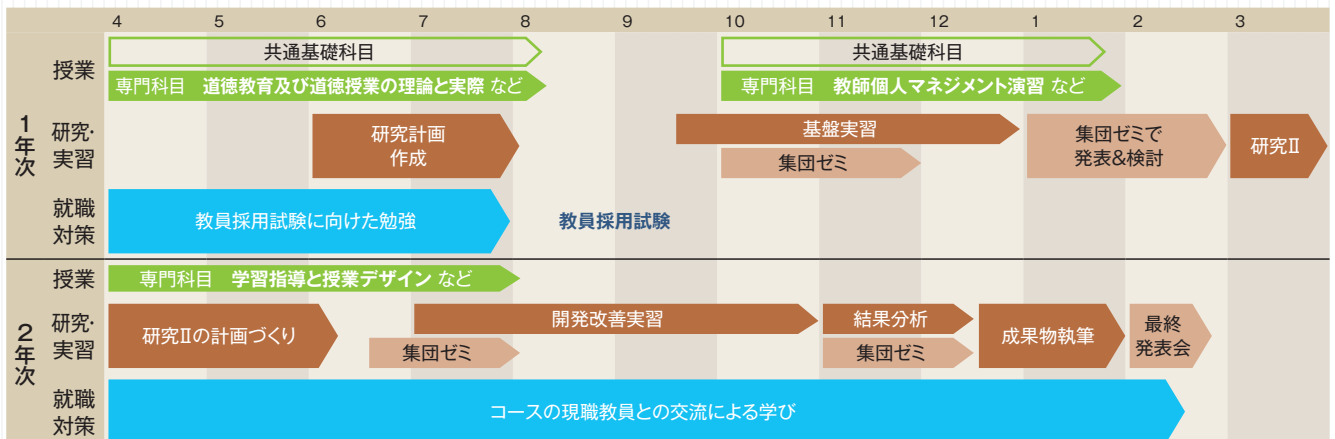
- ▶ 授業研究
- ▶ 教育評価
- ▶ 教授学習過程
- ▶ カリキュラム・マネジメント
- ▶ 総合的な学習（探究）の時間
- ▶ 特別活動
- ▶ 道徳教育
- ▶ 学級経営
- ▶ 教師教育
- ▶ キャリア教育
- ▶ インクルーシブ教育
- ▶ 教育相談
- ▶ カウンセリング 等

2年間の学びの例

キャリア教育についての教員研修を学びたい現職院生



道徳の授業力を高めたいストレート院生



※上記はカリキュラムの一部を模式的に表したものです

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 谷田増幸	道徳教育、 公民科教育	学校における道徳教育の実践 研究、道徳教育及び道徳授業 の理論と実際	道徳科や公民科「倫理」を中心に、人間としての在り 方や生き方に関する教育について取り組んでいます。
 教授 竹西亜古	社会心理学、 リスク心理学、 心理学調査法	社会心理学に基づく学級経営 の実践開発、学校における データの取り方と分析	データに基づく科学的な教育実践や研究を目指しまし せんか。どのような教育分野にも応用できますよ。
 教授 山中一英	教育心理学、 社会心理学、 教師教育学	円滑な学級経営のための力量 形成、学校における質的研究 のデザインと方法	「他者とのかかわる」ことと「学ぶ」こと。私たちを支える この2つの営みの繋がりをめぐって研究しています。
 准教授 安原一樹	社会教育学、 地域教育経営論	特別活動・地域教育活動プロ グラムの開発、教員のための 人権教育の理論と方法	生涯学習社会における子どもから高齢者に至る学習 環境の有りようとその社会的意義を探究しています。
 准教授 伊藤博之	教育方法学、 教育課程論、 教育方法論史	学校カリキュラムのデザイン と評価、実践的な指導方法に 関する理論と実際	自律的・協働的な学びとはどのようなものであり、それ をどのように組織し運営するか、共に追究しましょう。
 准教授 淀澤勝治	道徳教育学、 幼児教育学	学校における道徳教育の実践 研究、道徳教育及び道徳授業 の理論と実際	小学校での教職経験を生かし、道徳教育および道徳 科の授業の在り方を実践的に研究しています。
 准教授 隈元みちる	臨床心理学、 教育相談、 発達相談	包括的児童生徒支援に関する 事例研究、 教育相談の理論と技能開発	臨床心理学の立場から、それぞれが生きやすい在り方 や環境を探っていきたいと考えています。
 准教授 宮田佳緒里	教育心理学、 学習心理学	学習指導と授業デザイン、 教師発達とメンタリング	児童生徒が概念を理解し、思考できるまでの認知過程 について、教育心理学の立場から研究しています。
 准教授 森本哲介	教育心理学、 臨床心理学、 ポジティブ心理学	生徒指導とキャリア教育、 包括的児童生徒支援に関する 事例研究	個人の強みをどのように自己形成、キャリア形成に生 かすかということを研究しています。
 講師 徳島祐彌	教育方法学、 カリキュラム論、 教育評価論	授業における評価の基準作成 理論と学力評価法、 授業研究の理論と実践	身体と教育を中心に、カリキュラム論、教育評価論、授 業論について研究しています。
 准教授 松田 充	教育方法学、 教授学、 授業研究	授業研究の理論と実践、 学習指導と授業デザイン	難しい社会の中で、「よい授業」をつくり出すための理 論と方法を追究していきたいと思い、研究に取り組ん でいます。

Voice

ストレート院生から 見たコースの学び



教育方法・生徒指導マネジメント
コース2年

村上優奈さん

本コースには、多数の現職教員が在籍さ
れています。また、留学生もいらっしゃいま
す。院生の仲がととても良く、受講した授業
の内容について、現場の実際について、文
化の違いについて、気軽に意見交換しなが
ら、充実した日々を送っています。そして、
コースの先生方の専門分野は多岐にわた
り、幅広く深い視点から魅力的な授業をし
てくださいます。自分が大変恵まれた環境
にいることを実感する日々です。

理論と実践をつなぐ 実践研究ができる!



教育方法・生徒指導マネジメントコース
令和6年3月修了

大地健文さん

系統的に学べるよう工夫されたカリキュ
ラムや各先生方からの専門的な授業を通し
て、現場での実践を振り返りながら自身の
教育観を問い直し、深く考える貴重な2年
間を過ごせました。院生同士の対話で、よ
り学びが深まったことも強く実感していま
す。自身の研究では、理論や認識調査結果
を基に「割合」の困難さを低減させる授業
の検討とその効果検証を行いました。現場
への調査や実践もでき、理論と実践をつな
ぐ研究となりました。

言語系教科マネジメントコース

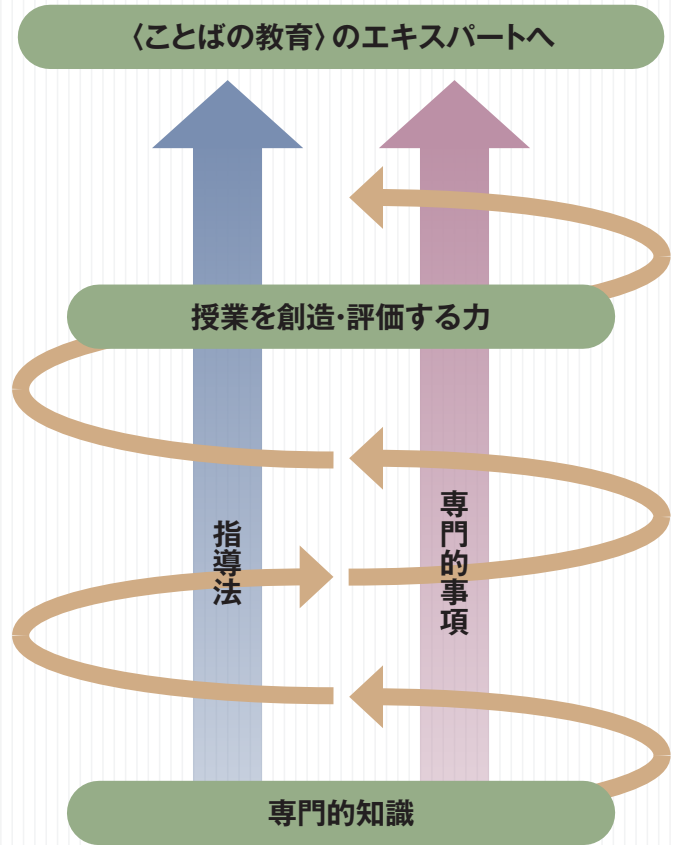
国語教育・英語教育のエキスパートを育てる

専 門的知識に裏付けられた授業を創造・評価する力を持ち、小学校・中学校・高等学校における言語教育の実践に関わる高度な専門的力を身に付けた教員の育成を目指します。そのことを達成するため、「ことばの教育」に関わる諸問題について、指導法（カリキュラム・シラバス、生徒の資質・能力を高める指導、授業づくり、学習評価、言語習得など）および専門的事項（言語表現、文学表現、言語構造、言語文化、言語教育、コミュニケーション、異文化理解など）を幅広く探究できるカリキュラムを編成しています。

実習では、現職教員については、学校教育の抱える諸問題の調査・分析を行い、研究課題を絞り込むとともに、課題解決のための目標を設定します。

ストレート学生については、教科指導を中心とした学校教育全般にわたる実習を通して、大学院実習に必要な基本的な知識・技能等を習得し、教員としての素養を養います。

自らの教科教育の理論を構築し、研究内容と関連付けた実習を通してその有効性を検証することにより、教員としての総合的な力量を高めます。



兵庫教育大学言語表現学会での研究発表風景

言語表現学会は、コース内に事務局を置く、開かれた学術組織です。



主な教育実践研究報告書のテーマ

- ▶ 英語の歌を活用した英語発音指導—リズムに焦点をあてて—
- ▶ 論理的読解力を育成する宣言的説明文の方略指導の開発—「確認読み」と「批判的読み」の関連性に着目して—
- ▶ 中学1年生を対象とした明示的な読み書き指導の研究—デコーディング・スキルの獲得のために—
- ▶ 小集団で探究的に話し合う力を育てる学習指導の検討
- ▶ 高等学校における論理の構成力を育むパラグラフライティングの授業実践
- ▶ 音声入力アプリを活用した「書くこと」の実践研究—意見文執筆指導を題材として—

担当教員

(変更する場合があります)

	担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
国語	 教授 菅井三実	理論言語学、 日本語学、 言語教育	言語の仕組みと言語教育、 言語系教科教育実践研究	日本語がどのような言語で、人はそれをどのように習得し運用するかについて知見を提供したいと思います。
	 教授 羽田 潤	国語科教育、 メディア・リテラシー、 サブ・カルチャー	国語科授業実践研究、 授業におけるICT活用	多様なメディアを活用した国語科授業の開発を目的に、映画、マンガ、写真、広告の分析に取り組んでいます。
	 准教授 竹口智之	日本語教育学	外国人児童生徒の指導と多文化共生教育	日本人とは異なった方法で日本語を学んでいこうとする生徒・学生がいます。その過程を学んでいきましょう。
	 准教授 西田太郎	国語科教育、 文学教育	国語科授業と言語文化、 初等国語科教材研究・授業づくり	学習集団は自己とテキストと他者の文脈から文学を読みます。さまざまな文脈を手がかりに、学習デザインを検討していきましょう。
	 教授 吉川芳則	国語科教育、 説明的文章、 論理的思考力	国語科授業実践研究、 言語系教科教育実践研究	ことばによってよく思い、表現することで豊かに生きる。このことにつながる授業づくりを追求しましょう。
英語	 教授 中村浩一郎	英語学、 理論言語学、 比較統語論	英語科授業と言語表現2、 言語系教科教育実践研究	英語学／理論言語学で蓄積された英語に関する知見を共有し、英語教育の現場で役立つ知識を習得することを目指します。
	 教授 吉田達弘	英語教育学、 社会文化理論に基づく英語授業研究・英語教師教育研究	小学校英語科授業の研究、 教育課程の制度的特質と課題 初等英語教材研究・授業づくり	理論のレンズを通して小中高の英語授業を分析し、授業におけるコミュニケーションについて考えていきます。
	 准教授 近藤暁子	外国語教育、 英語教育学、 応用言語学(第二言語習得)	英語科授業の実践研究、 初等英語教材研究・授業づくり	外国語学習における個人差要因と、映像メディアを使用した外国語の指導についての研究に取り組んでいます。
	 准教授 多田ウエンディ	第二言語習得、 英語教育、 英語教師教育	英語科授業と言語表現1(文学作品における英語表現と多様な文化)、 言語系教科教育実践研究	将来、学校教育の場で必要になる英語のスキルと知識を英語で身に付けることを目的とした授業です。
	 講師 鳴海智之	英語教育学、 心理言語学、 第二言語習得	第二言語習得と外国語学習、 初等英語教材研究・授業づくり	心理言語学的アプローチにより、学習者の英文理解時の処理プロセスと、その自動化の過程を研究しています。

Voice

研究の面白さに 出合える場



言語系教科マネジメントコース(国語)
令和6年3月修了
鶴谷拓真さん

自身の実践や研究と向き合う貴重な時間を過ごしました。同じ院生でも他校種の現職教員やストレート院生、留学生といった多様な方がおり、日々の交流の中でさまざまな視点から国語という学問を学んでいます。また、国語科教育をはじめ、言葉に関わる専門性を持った先生方の熱心なご指導により、研究の面白さを知り、私自身、全国規模の学会で発表する機会をいただきました。これからも理論と実践を大切に、研さんを重ねていきます。

思う存分学べる 2年間は、人生の宝



言語系教科マネジメントコース(英語)
令和6年3月修了
向井留衣さん

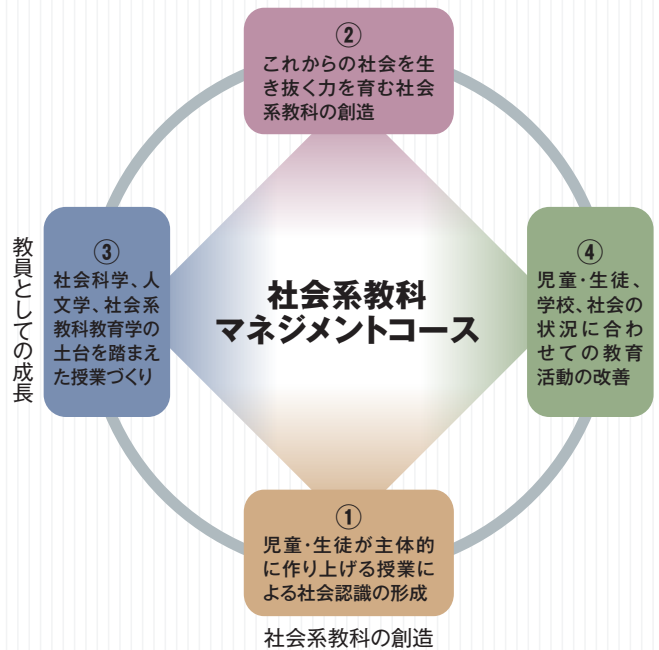
本コースでは、さまざまなご専門の先生方の温かいご指導の下、言語文化教育について、多角的に学び、自分自身の研究を深めることができます。また、校種・教科の異なる学生や留学生との交流は学びを広げてくれます。学びを通して、これまで感じていた「なぜ」や「どうしたらいいの」という疑問にじっくりと向き合うことができました。私の教員生活をパワーアップさせてくれるこれらの経験は、人生の宝となりました。

社会系教科マネジメントコース

これからの社会を「生き抜く力」を育成する教育の創造

社 会系教科には多様化・流動化している現代社会を「生き抜く力」を育成することが求められています。この目標を実現するために、まず①児童・生徒が主体的に授業を作り上げていく中で社会認識を育むという社会系教科の特徴を生かしながらも、②そのつどの状況に応じて主体的に社会参画できる力を育成するため、新しい社会系教科を創造していかねばなりません。これと並んで、③教員自身が社会科学、人文学、社会系教科教育学の土台を踏まえた授業づくりに習熟するだけでなく、④児童・生徒、学校、地域の状況に合わせて教育活動を改善することができる能力を身に付けなければなりません。社会系教科マネジメントコースは、このように他者と協調しながら自己成長を行うことのできる教員の養成を行うことを目標とします。

本コースには、同窓会組織である嬉野会があります。兵庫教育大学創立以来、40年以上にわたる卒業生の団体です。そこには、現役の校長や教頭などの管理職や、兵庫県教育委員会の指導主事の他、社会科教育の中核となって活躍されている現役の教員が多くいます。年1回の総会の他に、教員採用試験前には、かつて面接の試験官をされた嬉野会の人を招いてセミナーを開いたり、授業実践の研究会を開いたりしています。皆さんも、この仲間に加わって、大いに交流してください。



嬉野会研究会

主な教育実践研究報告書のテーマ

- ▶ 未来洞察型教育理論に基づく高等学校「歴史総合」の授業実践—「グローバル化」における域内経済システムに着目して—
- ▶ デザイン思考を組み込んだPBL的単元構成により社会形成力を育成する授業実践—中学校地理的分野「地域の在り方：泉北ニュータウン 少子高齢化問題」—
- ▶ 社会環境の変化が学校教育に及ぼす影響と適応についての考察
- ▶ 尼崎市における地域学習のあり方の研究—地域学習の授業実態と教師の意識調査を通して—
- ▶ 概念レンズを活用した小学校社会科カリキュラムの開発と実践に関する研究—経済の視点に着目して—

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 森田 猛	史学、 ヨーロッパ史・アメリカ史、 西洋史	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(2)、 現代社会の課題とその教材化	近代ヨーロッパ史を専門にしています。特に19世紀の ドイツ史学史、スイス文化史に関心をもっています。
 教授 森 秀樹	哲学、 市民性教育、 創発性	現代社会の課題とその教材化、 社会系教科の授業研究	「対話」と「協働」を手がかりとして、複雑化する現代 社会に対応できる教育を考えていこうと思います。
 教授 山内敏男	教育学、 教科教育学、 社会科教育学	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(2)、社会系教科 におけるカリキュラムの変遷 とマネジメントの実際	規範を教授するのが教育か…を問いとして歴史教育、 教員研修を中心に研究しています。
 教授 福田喜彦	社会系教科教育、 東アジア、 市民性教育	社会系教科におけるカリキュ ラムの変遷とマネジメントの 実際、社会系教科の授業デザ インの理論と方法(3)	グローバル化に生きる子どもたちが「市民性」を身に つけるための社会系の授業をともに考えていきま しょう。
 准教授 今出和利	法学、公法学、 未成年者保護法、 憲法	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(3)	「子ども」「教育」「学校」などに関わる法律を中心 に、比較法的・歴史的視点を踏まえつつ研究してい ます。
 准教授 濃邊 正	経済学、国際経済学、 アジア経済、 海外直接投資	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(3)	国際経済学を専門としています。海外直接投資や工程 間分業に着目し、アジアの経済発展メカニズムを研究 しています。
 講師 小倉拓郎	自然地理学、 地形学、 地理情報科学	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(1)、現代社会の 課題とその教材化	ドローンやレーザ測量を用いた高精細地形解析を通し て、地域環境の変化抽出・要因分析に関する研究や学 校教育で使える教材整備・実践を行っています。
 講師 吉川修史	生活科教育学、 社会科教育学	初等社会科教材研究・授業づ くり、教科・領域の内容・指導法 研究Ⅲ(社会科)	子ども自らが自立し、生活を豊かにしていく生活科授 業や、自分なりの社会への関わり方を考えることで できる社会科授業づくりを追究しましょう。
 教授 瀧野 清	社会科教育、 地理教育、 ESD(防災含む)	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(1)、学校におけ る防災教育と心のケア	「なぜ社会科を、なぜ地理を学ばなければならないの か」、また、「社会科ならではの、地理ならではの学びと は何なのか」。共に考えてみませんか。

Voice

未来を生きるための能力

社会系教科マネジメントコース2年

宮内元さん



中学校の社会科授業において、批判的思考を中心とした授業実践を完成させるために社会系教科マネジメントコースで学んでいます。専門科目の授業では、社会科全体の一般的な理論等を学びます。共通科目では学級経営やICT等、これからの学校に求められている諸能力を教科の枠を超えて学びます。

ゼミでは私の研究テーマである「批判的思考」をキーワードとして、授業で使えそうな理論を収集し、分析します。AIの発達によりこれからの時代は情報を「知る」時代から自分で情報を取捨選択してこれを「使う」ことが求められます。その時に情報を批判的に見るということが必要です。批判的思考力は未来を生きるために必要な能力になると考えています。

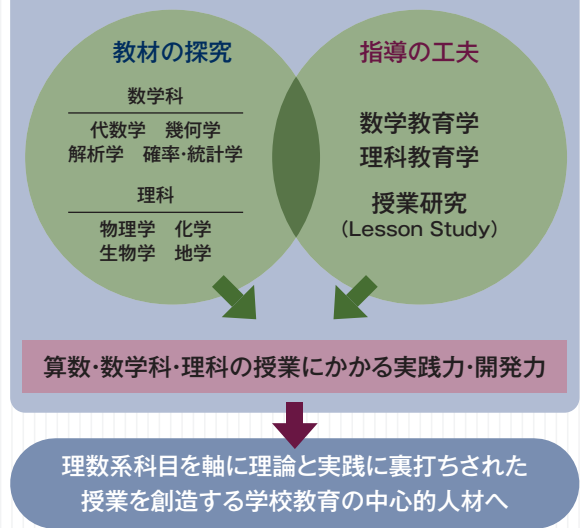
理数系教科マネジメントコース

数学・理科教育を担う人材の輩出を

数学が好き・理科が好き子どもを育てるには、先生自身が数学好き・理科好きであってほしいという考えの下に、理数系教科マネジメントコースでは、数学と理科の魅力や楽しさを堪能できる教育研究を行っています。身近な現象から定理や法則の支配する興味深い世界へ広がっていく様子を子どもに教え、小・中・高校でも数学・理科の教育を担える人材を送り出したいと考えています。

数学・理科といった理数系科目は特にその系統性が重要であり、その系統性に対する深い理解と、教育課程の趣旨を捉えた授業を創造する力に加えて、数学教育・理科教育の観点から授業を解釈・評価・考察していく力がカリキュラムマネジメントに必要となります。そのため、本コースでは、理数系の教科専門と教科教育を融合する教材研究・授業開発に焦点を当てたカリキュラム編成となっており、それにより数学・理科教育を担う人材を育てることを目的とします。

理数系教科マネジメントコースの人材育成



主な教育実践研究報告書のテーマ

〔数学〕

- ▶ 図を活用して数学的理解を深める算数科の授業づくりに関する研究—下学年における比例的推論の育成を対象として—
- ▶ 中学校数学科における知識構成型ジグソー法を用いた文字式の学習指導に関する研究
- ▶ 中学校数学科における構成的アプローチに関する研究
- ▶ 高等学校数学科における探究型学習について—知識の存在理由に焦点を当てて—

〔理科〕

- ▶ 一人一台端末を活用した新たな授業法の開発
- ▶ ベンジルアルコールの酸化反応の教材化と実践
- ▶ 高等学校「生物」におけるゲノム編集トマトを用いた分子生物学実験の教材開発と実践

Voice

教員としての専門性を高める最高の環境



理数系教科マネジメントコース(数学)
令和6年3月修了
平井大誠さん

生徒の数学に対する態度について研究しました。修了後も研究を生かして、生徒に数学への興味を持たせ、考える楽しさを感じさせられる教員になりたいと思っています。大学院の授業は興味深い内容ばかりで、特に数学の内容が絡んだ授業は私の毎週の楽しみでした。大学院には熱心に教えてくださる先生方、現職の方や同い年の仲間が存在があります。教員になる私には、これ以上恵まれた環境はないと思っています。

探究と発見の場



理数系教科マネジメントコース(理科)2年
鹿島一輝さん

私は「授業力を向上させたい」という目的を持ち、「より良い生物の調査ができるようになりたい」という目標に向けて研究を行っています。現在、現職教員を含む15人の学生が在籍し、積極的に意見を交換しています。先生方は親身になってサポートしてくださり、自然豊かでフィールドワークも可能な素晴らしい環境です。講義ごとに児童生徒がより深く学べる実習や、専門的な内容についての学びがあり、日々新たな発見があります。

担当教員

(変更する場合があります)

	担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
数学	 教授 國岡高宏	教育学、 教科教育学	算数・数学教育の理論と実践、 数学的リテラシーと算数・数学 的活動	算数・数学教育学の理論に裏打ちされた確かな実践力を養ってほしいと思います。
	 教授 瀧中裕明	数学、 幾何学、 数学教育学	数学的リテラシーと算数・数学 的活動、 「図形」領域の探究的学習教材	生徒が自ら学ぶことを可能とするような魅力的な数学教材開発を念頭に、数学を探究できたらと思います。
	 教授 吉川昌慶	代数学、 代数的組合せ論	「数と式」領域の探究的学習 教材	代数的組合せ論を主に研究しています。代数学や代数的思考に関する数学教育の研究にも興味があります。
	 准教授 川内充延	数学教育学	算数・数学科の授業づくりと 評価	自分自身の指導経験や学習経験を丁寧に振り返り、先行研究の知見を踏まえた実践力を培いましょう。
	 准教授 小川聖雄	微分方程式、 流体力学	数学教材の背景と応用	純粋数学または応用数学的な研究を行います。教育現場での実践に生かしてほしいと考えています。
	 教授 加藤久恵	算数教育、 数学教育	理数系教科教育実践研究	子どもが算数数学を学ぶ楽しさを感じられるよう、子どもなりの考え方を生かした授業づくりを研究しています。
理科	 教授 荳原 恵	生物教育、 分子生物学、 遺伝学	理科授業の理論と実践(生命)、 理科教材開発実習B	生命現象や身近な生物の不思議に興味を持ち、さまざまな視点からそれらを考察し視野を広げてほしいと思います。
	 教授 小和田善之	機能物質化学、 量子材料化学	理科授業の理論と実践(粒子)、 理科実験開発実践演習I・II	身近な物質に起きる反応や現象を原子・分子の世界から考察することで、化学への理解を深めてほしいと思います。
	 教授 石原 諭	場の理論、 素粒子理論、 物理教育	理科教科内容論I、 理科実験実地演習	物理は自由だ。教育研究テーマについても自由な発想で考えてみてください。
	 教授 竹村静夫	構造地質学、 層序学、 地学教育	理科授業の理論と実践(地球)、 理科教材開発実習B	フィールドは教材の宝庫です。野外調査の基本をマスターし、現場での教育に役立ててください。
	 教授 山口忠承	教育工学、 科学教育、 有機光化学	理科授業の理論と実践(粒子)、 理科教材開発実習A	化学を通じて身の回りにある物質が役に立っていることや物質の変化に興味を持ってほしいと思います。
	 講師 山本将也	植物進化多様性学、 分子系統地理学、 保全遺伝学	理科授業の理論と実践(生命)、 理科教材開発実習B	植物がたどってきた歴史や生き方を紐解くことで「動けない生き物」である植物の面白さを体感してほしいです。

小学校教員養成特別コース

教育実践力と魅力のある先生を育てる

小 学校教員には、深い児童理解に支えられた学級づくりや授業づくりとともに、地域や保護者との連携や自らが学び続けることが求められています。そのため、本コースでは、「学級経営」「教科等の指導」「個の課題」「教育実践研究」「教科の授業内容・方法」の5分野で編成された多様な授業科目と、大学と学校現場が一体となった実地研究(実習等)などの特色ある授業内容に加えて、少人数ゼミを通じた細やかな指導、教員採用に向けた手厚いサポート体制を整えています。

また、これからの学校現場は、Society5.0時代に生きる子どもたちのために、学習者用デジタル教科書の導入などICT機器をこれまで以上に活用し、一人一人の子どもたちに個別最適化された学びや創造性を育むことが求められています。一方、体験学習などの重要性がますます高まることは言うまでもありません。これらに対応するスキルを備えた教員を養成するため、小学校教諭免許状を取得していない人を対象とした3年制コースと、すでに小学校教諭の免許状を持っている人を対象とした2年制コースを設置しています。

学びのフロー図 変更する可能性があります。

年次期 コース	1年次		2年次		3年次		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
3年制 コース	小免取得科目	小免取得科目・ 専門科目	小免取得科目・ 専門科目	初等実習 4週	小免取得 科目	小免取得科目・ 専門科目	専門科目
				実地研究I・II 計10週		インターンシップ(通年60時間以上)	
2年制 コース	共通基礎科目・専門科目		専門科目				
	インターンシップ(通年60時間以上)				学校教育基盤実習 4週 指導力向上実習 6週		

実習では、教科の指導内容・方法・技術をはじめ、特別活動、生徒指導、担任業務など多岐にわたる小学校現場において、授業づくりや学級づくりについて学びます。連携協力校の学級担任(メンター)と大学の修学指導教員、学生が協働してチーム・コンサルテーションを実施し、学校現場における実践的指導力の向上や自己教育力の基礎を修得します。

Voice

魅力のある カリキュラム



小学校教員養成特別コース
(3年制コース)3年
堀川太慧さん

本コースでは、現場での経験を持つ専門性の高い先生方から最新の教育理論を学ぶことができます。2年次の実習では、中学年の社会科を中心に実践的指導力の向上を目指しました。このような理論と実践が融合した魅力あるカリキュラムの学修を通して、日々成長を感じています。

この魅力あるコースで小学校教員になりたいという強い思いを持った仲間が、互いに切磋琢磨しながら夢に向かって共に学んでいます。

学校現場で生きる 「学び」がある場所



小学校教員養成特別コース(2年制コース)
令和6年3月修了
伊賀瑞穂さん

私は小学校教員免許を持っていましたが、より充実した教科指導力を身に付けたいと思い、2年制コースに入学しました。

1年次のインターンシップでは、2年次実習に向け、教職員や児童との信頼関係の構築に努めました。そして、2年次実習では、「和文化」を対象にした総合的な学習を展開しました。教科書、先行実践がない中での指導案作成および授業実践は、未知の経験であり、これからの教員生活を支える深い学びになりました。

3年制コース

対象 これから小学校教諭免許状を取得しようとする人
本学学校教育学部(教職課程)と教職大学院の授業科目を併せて履修することで、小学校教諭専修免許状を取得できます。現在、小学校教諭免許状を取得していない人でも、一から小学校教諭免許状を取得できます。

同コースの
学生対象

授業料免除の制度あり!
詳しくはp.62へ

2年制コース

対象 既に小学校教諭1種または2種の免許状を取得している人
学校教育の最新動向や学校現場の実情を踏まえ、学生一人一人がこれまでに培った力をより一層、実践的なもの向上させ、自信を持って小学校の教壇に立てるよう、教員としての確かな基盤を身に付けることを目的としています。小学校教諭2種免許状を取得している人でも、修了時には小学校教諭専修免許状を取得できます。



担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 吉川芳則	国語科教育学	教科・領域の内容・指導法研究I (国語科)、児童生徒を活かす 学級経営の実践演習A・B	言葉によってよく思い、表現することで豊かに生きる。 このことにつながる授業づくりを追究しましょう。
 教授 筒井茂喜	健康・スポーツ科学、 身体教育学、 体育科教育学	初等体育科教育法、 教科・領域の内容・指導法研究IV (体育科)	「自己肯定感」「仲間意識」を高める体育授業づくりを 講義と模擬授業を通して考えましょう。
 教授 河邊昭子	音楽科教育学	教科・領域の内容・指導法研究I (音楽科)、教育実地基礎研究I (レポート作成法の研究)	小学校教員に求められる実践的指導力とともに、自己 の人間力を向上させることができるコースです。
 教授 勝見健史	国語科教育学(単元学習論)、 教育方法学(評価論)、 教育鑑識眼	授業における実践的評価論、 総合学習の創造過程と評価法	評価論を視点とした授業改善、特に単元組織・質的 評価・学習支援に関する実践的研究に取り組んでいます。
 教授 鈴木正敏	幼児教育、 多文化教育	教育実地基礎研究II、 授業におけるICT活用	実践的な知見を基に、子どもたちが楽しく主体的に学 べる授業づくりを目指します。
 教授 山本智一	理科教育・科学教育、 アーギュメント、 総合学習	教科・領域の内容・指導法研究 IV(理科)、 総合学習の創造過程と評価法	科学的な説明活動の授業への導入や、社会における 科学問題の教材化に関する指導法開発に取り組んで います。
 教授 別惣淳二	教育実習、 教師教育、 教育経営学	教育実地基礎研究I、 教育実地基礎研究II	本コースでは、学生が自身の教育実践を対象として 研究し、論文にまとめる力を身に付けてほしいと思い ます。
 教授 加藤久恵	算数教育、 数学教育	教科・領域の内容・指導法研究II (算数科)、教育実地基礎研究I (レポート作成法の研究)	子どもが算数を学ぶ楽しさを感じられるよう、子どもの 考え方やつまづきを生かした授業づくりを研究してい ます。
 教授 前芝武史	彫塑・デッサン、 美術解剖学	彫塑造形論、 彫塑教育論	彫塑教育論(特別支援教育含む)を研究しています。 事象の本質を掘り下げた教育を行いたいと思います。
 講師 真田穰人	学校心理学、 学校教育相談、 特別活動	特別活動指導と自治的文化的 活動の展開、教育実地基礎研 究I(レポート作成法の研究)	子どもたちが、平和で民主的な社会をつくる力を育む 授業・学級・学校づくりを、共に追究しましょう。
 講師 吉川修史	生活科教育学、 社会科教育学	初等社会科教材研究・授業つ くり、教科・領域の内容・指導法 研究III(社会科)	子ども自らが自立し、生活を豊かにしていく生活科授 業や、自分なりの社会への関わり方を考えることで できる社会科授業づくりを追究しましょう。

主な教育実践研究報告書のテーマ

- ▶ 小学校におけるプログラミング的思考の育成に関する研究—分解と順序立てに焦点を当てたアンブラグドの実践—
- ▶ 小学校音楽科における日本歌曲の歌唱指導に関する研究—第5学年《待ちぼうけ》の場合—
- ▶ 地理的な見方・考え方の育成を目指した小学校社会科授業デザインの開発—知識構成型ジグソー法を用いた活動を通して—
- ▶ 他者の感情・気持ち・考えへの理解を促す体育授業づくり—非言語メッセージの受信・解釈を促す指導を通して—
- ▶ 読解授業の話し合い活動における教師の関与のあり方—「専有」を促す教師の役割に着目して—
- ▶ 理科教育における人間性の涵養を目指して

グローバル化推進教育リーダーコース

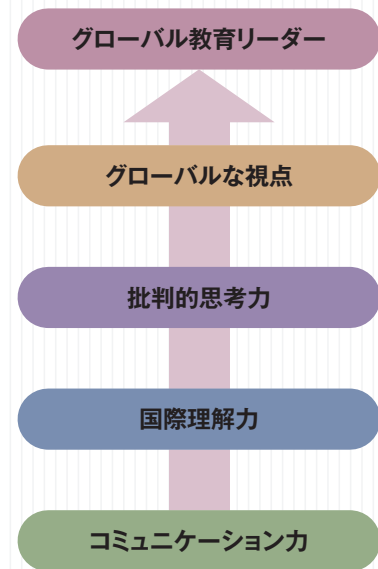
グローバル教育、進んでいますか？

グローバル化推進教育リーダーコースでは、グローバル化が進む社会に対応できる児童生徒を育てるスクールリーダーを育成します。国際社会のさまざまな事情について学び、考え、議論し、批判的思考力を身に付けるとともに、柔軟な理解力を養います。また、SDGsを踏まえた授業開発等を通して、国の内外を問わず人々が共に生きるための基盤となるコミュニケーション力をつけ、それらを総合的に実践できる教員を養成します。

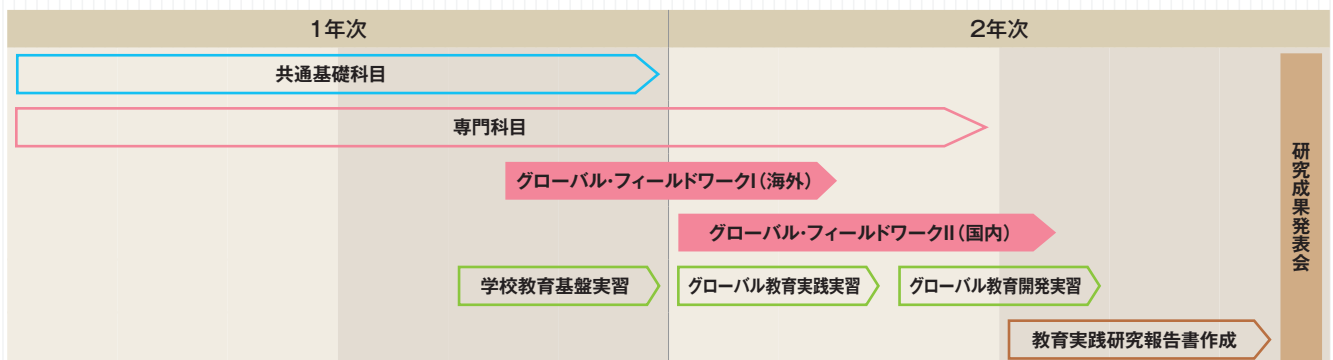
これらを遂行するために、以下のような取り組みを行っています。

- 各教科にSDGsやグローバル教育を盛り込んだ授業開発
- 学校の先生方を対象としたグローバル教育研修開発

「国際理解教育」「英語を活用した論理的思考」等の科目においてグローバル教育の専門知識や学術研究に必要とされるスキルを習得します。「世界の教育」では、オンラインで世界各国の教育関係者からその国の教育事情について学び、国内・海外で実施するフィールドワークでは、学校や教育関係機関を訪問して、多様な現場からグローバル教育の実際を学びます。さらに、研究課題に即した教育実践に取り組める実習科目が設定されており、段階的に実践力が身に付くカリキュラムが編成されています。



2年間の学びの流れ 変更する可能性があります。



主な教育実践研究報告書のテーマ

- ▶ 小学校におけるグローバル化教育の一方策—学校経営の視点から実践例の提示—
- ▶ 高等学校 共通教科「理数」における授業デザインルーブリックの開発について—諸外国の教育実践にみるグローバル時代で求められる力とその育成を通して—
- ▶ 沖縄県立高校における地域協働型探究学習のフレームワークの構築—「高校魅力化」の事例を手がかりとした実践と検証—
- ▶ 小学校外国語におけるグローバル化教育の展開—グローバルイシューを組み込んだレッスンプランの提示—
- ▶ 高校生を対象とした短時間のグローバル教育実践の意義
- ▶ 日本人学校における特別支援学級の開設とその運営状況

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 <p>教授 岩見理華</p>	ESD、国際理解教育、探究学習	国際理解教育、世界の教育、英語を活用した論理的思考、グローバル・フィールドワーク1 (海外)	ESD(持続可能な開発のための教育)の視点に基づく探究学習のカリキュラム開発について研究しています。また、国内・海外におけるグローバル人材育成に向けた国際理解教育プログラムの検証に取り組んでいます。
 <p>講師 吉田夏帆</p>	教育社会学(教育開発)、国際理解教育	国際理解教育、世界の教育、英語を活用した論理的思考、グローバル・フィールドワーク1 (海外)	開発途上国と呼ばれる国々の教育について研究しています。また、そこでの研究成果や現地調査での知見などを踏まえて、国際理解教育やグローバル教育の実践および評価にも取り組んでいます。
 <p>協力教員 益岡都萌</p>			
 <p>協力教員 スタインジック リチャード イチロウ</p>			
 <p>協力教員 ビーシェル サイモン ジョン</p>			
 <p>協力教員 佐藤真久</p>			

授業をクローズアップ!

研修留学生を迎えて英語でディスカッション

実用外国語演習



モ ロック、ガボン、マラウイからの研修留学生が英語の授業に参加してくれました。皆さん自国では英語の先生です。日本の英語教育の在り方について意見を述べ合い、活発なディスカッションとなりました。

国際学会で発表する学生

グローバル教育実践課題研究

学 生たちは国内外の学会で研究成果を発表しています。写真は、平成29年7月に広島で行われた国際学会において、高校生対象の異文化理解に関する新しい教育的アプローチについて、英語で発表をする様子です。



フィリピンの小学校訪問



台湾の中学校訪問



ベトナムの小学校で模擬授業

Voice

経験を専門に

グローバル化推進教育リーダーコース
令和6年3月修了
西千裕さん



私は、台湾留学経験を通して、自らの視野を広げることができました。自分の経験をどのように学校現場で生かすことができるのかを課題に本コースに入学しました。

専門科目の授業では、世界の教育事情を学んだり、ワークショップを通して体験的に国際理解教育について学んだりしました。また、経験豊富な現職の先生方との交流を通して、今までなかった視点や考え方を得ることもできました。

さらに、教員採用試験対策も多くの先生方や仲間たちの支えのおかげで「中・高国語」で無事合格することができました。「国語科における国際教育」について研究を深め、教員として学校現場で最大に生かせるように専門性を高めていきたいと思っています。

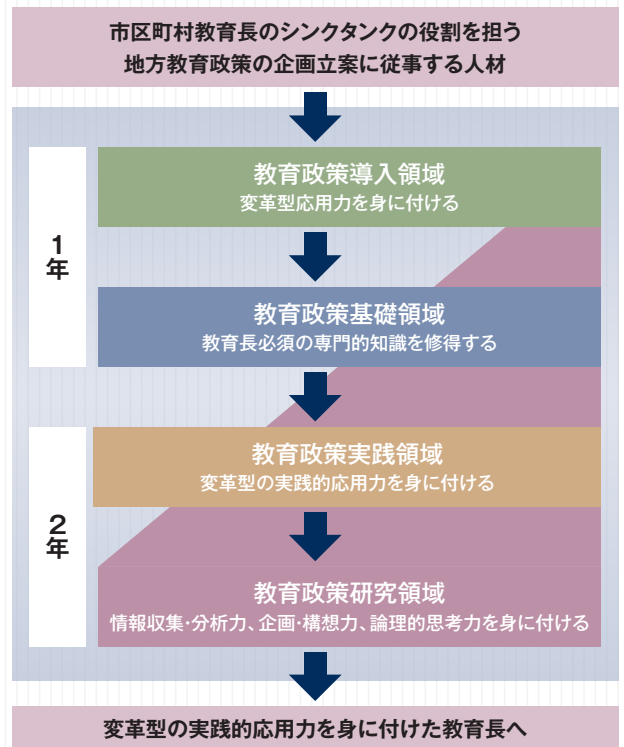
教育政策リーダーコース

日本の新しい地方教育行政をリードする人材育成

教育変革期における地方教育行政のリーダーの役割はますます重要なものとなっています。未来を創る子どもたちの教育に加え、地方分権化社会における新たな地域社会を創り出すために、教育行政の役割はかつてないほどの転換期を迎えています。

そのような中、教育政策リーダーコースは日本で初めてとなる、現職教育長や将来の教育長候補および教育行政の幹部の養成コースです。多忙を極める学生のために、学修形態を教員が地元に出向いて行う授業や双方向のオンライン授業、VOD(ビデオ・オン・デマンド)による視聴学習、神戸キャンパスにおける集中演習とし、学生の業務への影響軽減を図るなど、学びやすいものとしています。

また、海外、自自治体首長部局・教育機関、他自治体等で実習を行う実習科目も充実しており、教員と実習先のメンターとの綿密な連携と指導により、地域教育行政の変革を推進し得る資質能力の獲得を図ります。



授業をクローズアップ!

自治体教育政策の実践事例から学ぶ

教育政策実践論

担当教員：押田貴久准教授、富田明徳附属小・中学校長



自 自治体と比較自治体におけるさまざまな教育政策の実践事例の検討を踏まえ、その実践者を招聘または訪問し、講義演習に基づく経験交流や意見交換、データ収集を行います。これらを通じ、地域の教育課題に応じた政策案の構想を目指します。

現職の教育長等と共に学ぶ交流型演習

教育行政リーダーシップ特論演習I・II

担当教員：澤野幸司特別教授、堀内昭彦教授、菅野祐太准教授

ト ップリーダーとしてのリーダーシップについて、学生以外の教育長等と共に公開型の演習形式で学びます。お互いに議論を深め、その中から自分なりのリーダーシップの在り方について考え、実践に結び付けます。



主な教育実践研究報告書のテーマ

- ▶ 児童・生徒数が減少する地域における教育環境の整備に関する考察
- ▶ 次代を担う管理職の確保と育成
- ▶ 学校部活動から学校を拠点とした地域クラブ活動への移行
- ▶ 新しい時代の生涯学習社会における次世代型学校・地域のあり方について
- ▶ 「地域とともにある学校」の構築を支援する教育委員会の在り方

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 堀内昭彦	教育行政、 教育課程	教育行財政の立案と分析、 教育行政リーダーシップ特論 演習I・II	教育行政や教育課程等について研究を行っています。本コースでの学びを通じて、地方教育行政のトップリーダーに求められる力を身に付け、さまざまな地域課題のよりよい解決を目指していきましょう。
 特別教授 澤野幸司	教育行政、 コミュニティスクール	教育行政リーダーシップ特論 演習I・II、 教育政策課題研究	新教育委員会制度下における教育長に必要な資質能力とは何かを問い続けながら、地域の教育課題解決に資する教育行政の在り方について一緒に考えていきましょう。
 准教授 押田貴久	教育行政、 教育政策、 カリキュラム開発	教育政策実践論、 生涯学習特論	自治体における教育政策過程に関する研究を行っています。教育課題の解決に向け、共に考えていきましょう。
 准教授 菅野祐太	教育行政	地域と学校、 比較教育政策論	トップリーダーである皆さんの教育行政に対する構想力・実行力を向上させる一助になれば幸いです。学び合う場を一緒につくっていきましょう。

 客員教授 青木栄一	 客員教授 天笠 茂	 客員教授 新井 肇	 客員教授 今中博章
 客員教授 遠藤洋路	 客員教授 小川正人	 客員教授 貝ノ瀬滋	 客員教授 合田哲雄
 客員教授 露口健司	 客員教授 藤川 聡	 客員教授 細田真由美	 客員教授 マルック・ アンティンルオマ
 客員教授 水本徳明	 客員准教授 阿内春生	 客員准教授 葛西耕介	 客員准教授 匠達岳美
 客員准教授 矢田 匠			

Voice

学びでつながる喜び

教育政策リーダーコース2年

山部英之さん



私自身、地方教育行政のリーダーとしての力不足を痛感し、教育長2年目となる令和5年4月に教育政策リーダーコースの門をたたきました。

大学院では、教育界のスペシャリストである先生方の専門的な講義や先進地視察(フィールドワーク)など魅力いっぱい、感動の連続です。そして何よりも、高い志を持つ全国の仲間とつながり、学び合う時間を共有できることが、私にとって一番の喜びです。このコースに入学して本当によかったと感じています。

これからも、「UNLEARN(アンラーン)~今まで積み上げてきた知識や経験、思考の枠組みをゼロにして学び直すこと~」に取り組み、自分自身を高めていきたいと思っています。

授業実践課題探究コース

日々の授業実践を見つめ直し更新しながら歩む

現場の教室で日々繰り返される授業実践の中に存在する「今、その教員にとって意味のある実践課題」を研究課題として取り上げることができるコースです。その教員の成長の物語における、こだわり、つまずき、克服、疑問、葛藤を価値ある課題として焦点化し、自身の教室の日々の授業実践の更新と往還させながら研究課題の解決を進めていきます。

本コースの研究の進め方は3つの特長を持っています。1つ目は、長期・中期・短期の3つのスパンのリフレクションの場を活用し、並走する大学教員と対話的・相談的に研究内容や方法を柔軟に更新しながら進めていくことです。2つ目は、各教科の教材研究、授業づくりなどを中心に、幅広いニーズに応えるカリキュラムを編成していることです。勤務するそれぞれの現場の課題に合った授業を選択し、日々現場に立つ自らの見識を厚くしていくことができます。3つ目は、本コースでは、「学びの報告書」として、在学中の自身の「歩みの物語」をつづるものを作成することです。

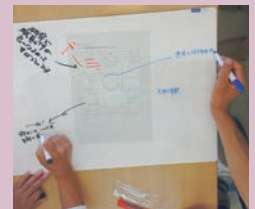
「歩み」そのものが成果となるもので、実践によって得られた結果を分析し、授業へどう還元させていったかという、実践の変容や更新が第一義となります。

それぞれの年齢・立場・歩みの中で抱えている問題意識を深める本コースで、教員としての自身の成長の物語に価値ある1ページを刻みましょ。



リフレクション科目の特色

リフレクション科目では、日頃の教育実践を客観的・科学的に振り返ることで、新たな発見や気づきを得て教育実践の改善につなげる未来志向の方法論を学びます。例えば、授業に関わる自分自身の考え方について、「できたこと」と「やりたかったこと」の差異に着目し、それを生んだ要因を先行研究や先進事例の知見を参考にしながら検討することで改善策を考え、新たな教育実践につなげます。



■日頃の教育実践のリフレクションが核となる2年間の学び

1年次前期	1年次後期	2年次前期	2年次後期
リフレクション科目			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">長期リフレクション</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">短期リフレクション</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">中期リフレクション</div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">短期リフレクション</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">中期リフレクション</div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">短期リフレクション</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">中期リフレクション</div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">短期リフレクション</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">長期リフレクション</div> </div>
共通基礎科目 専門科目	共通基礎科目 専門科目	専門科目	専門科目
学びの蓄積 ポートフォリオ			
学校現場等における教育実践			

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 <p>教授 勝見健史 ※ (令和7年度 担任)</p>	国語科教育学(単元学習論)、 教育方法学(評価論)、 教育鑑識眼	教育実践リフレクション	各校の課題に関わりながら、教師の力量に還元させていく実践的研究に取り組んでいます。皆さんの自律的な研究展開のサポートができればと思います。
 <p>教授 鈴木正敏</p>	幼児教育、 多文化教育	教育実践リフレクション	幼児教育に関する知識をもとに、主体的・対話的で総合的な学びとは何かを探っています。ワクワクする授業づくりや子どもに寄り添った実践と一緒に考えましょう。
 <p>教授 山本智一 ※ (令和7年度 担任)</p>	理科教育・科学教育、 アーギュメント、 総合学習	教育実践リフレクション	日々の授業実践や学級づくりについて、子どもが知識や文化を構築するプロセスに注目しながら分析し、よりよい実践を目指していきます。
 <p>教授 別惣淳二</p>	教師教育、 実地教育、 教育経営学	教育実践リフレクション	教育実習生の力量形成に関する研究を行っています。特に、省察力に注目して学び続ける教師を養成するためにはどうすればよいかを考えています。
 <p>教授 加藤久恵 ※ (令和7年度 担任)</p>	算数教育、 数学教育	教育実践リフレクション	数学的な見方・考え方や、メタ認知を育てることを目指して、子どもの考え方やつまづきを生かした授業づくりを研究しています。

※令和6年度入学者の修学指導教員(教育実践リフレクション科目担当教員)。中・長期リフレクションは、教員全員で関わります

主な教育実践研究報告書のテーマ

- ▶教育カウンセリングを使った自尊感情の育成
- ▶学びの好循環を実現する実践の開発—「主体的な学び」と「気づき」の活用を柱として—
- ▶生徒エージェンシーを育成するためのICT活用
- ▶協同学習を通して理解を深める数学科の授業づくり—小中の連携—
- ▶丹波市における伝統的な学習法“一人学び”の価値と国語科授業づくりの新たな可能性
- ▶3年地域学習での知識の概念化を目指して—教科書、副読本、ペーパーテストの関連性に着目して—
- ▶国語科物語文における「対話」に関する実践研究—読みと対話の深まりを比較して—
- ▶教育方法の改善を目的とした「架け橋期」の接続のあり方—教科の見方・考え方と「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」との関連性に着目して—

Voice

自分のこだわりに 向き合える

学校教育コース3年※

増田里奈さん

※令和6年度から、コース名が授業実践課題探究コースに変更



自身の教員生活を振り返り、見つめ直すことで、自分のこだわりを見いだすことができました。

私は、かねてから関心を持っていた社会科について、日々の授業実践の中で感じた課題を解決するために学びを深めています。授業実践を行い、その課題を分析することで、自分自身の授業を更新していこうとしているところです。隔週で行われる教育実践リフレクションでは、担当の先生から研究の進め方について指導を受けながら、自分のこだわりたいことに向き合うことができます。半期に1度行われる学びの発表会では、コースの先生方と学生が対面で集まります。さまざまな意見をいただいたり、他の学生の発表を聞いたりすることが刺激となっています。

教育プログラム

大学院に在学しながら数学または理科の教員免許状を取得

理数系教員養成特別プログラム

対象 専門職学位課程の「理数系教科マネジメントコース(昼間クラス)」を志願する人

プログラムの特徴

- ▶ 大学院に在学しながら数学または理科の教員免許状を取得
- ▶ 教員免許状を持っていない人も対象
- ▶ 大学院の教育課程と学部の教職課程を併せて履修
- ▶ 長期履修学生制度(3年間)を活用(授業料は大学院2年分のみ)
- ▶ 理科の実験指導のための授業科目が充実
- ▶ 大学院の科目に併せて体系的な学校現場での実習を実施
- ▶ 受講者のためのアドバイザー教員を配置
- ▶ 受講者専用の部屋(プログラム支援室)を自然、生活・健康棟に整備
- ▶ 修了者のほとんどが現職教員として活躍中

3年間で大学院の教育課程と学部の教職課程を履修し、数学または理科の教員免許状を取得して中学校や高等学校の教諭を目指すプログラムです。学部と大学院の科目を両方履修することで、理数系教員としての教科・教職に関する高度な専門知識を修得します。また、これらの学部・大学院の科目に加え、本学学部の実地教育と大学院専門職学位課程における学校現場での実習によって、実践力のある教員を養成します。

本来、専門職学位課程(教職大学院)は教員免許状を持っている人が対象ですが、本プログラムの受講生の場合は学部段階で教職課程を全く履修しなかった人(教員免許状を持っていない人)も教職大学院に入学することができます。長期履修学生制度を活用して3年間で大学院を修了し、学費は大学院2年分の授業料を3年間に分割して納入します。学部の教職課程を履修する費用はかかりません。そして、大学院修了時には中学校教諭・高等学校教諭専修免許状の「数学」「理科」のいずれかを取得できます。

本プログラムの受講生は、専門職学位課程の理数系教科マネジメントコース(昼間クラス)志願者に限ります。また、同コースの「数学」または「理科」の分野のうち、プログラムで志願する免許と同じ分野を志願する必要があります。詳細は大学院学生募集要項等をご覧ください。

受講希望者は、8月選抜または11月選抜の大学院の入試とともに、本プログラムの選考試験も受験してください。

特別支援教育の知識・技能を修得

特別支援教育プログラム (神戸キャンパス・フレックスクラスのみ)

対象 フレックスクラスの学生

神戸キャンパスのフレックスクラスにおいて、特別支援教育領域(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)の各領域の授業科目を開講し、特別支援教育に対する十分な知識・技能を修得できるよう支援します。3年以上の教職経験がある人は、授業科目の履修状況に応じて特別支援学校教諭(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)の各領域の1種または2種の教員免許状を取得することが可能です。

3年で本学と海外の大学の2つの学位を取得

ダブルディグリープログラム

対象 修士課程を志願する人(8月選抜のみ)

※臨床心理学コース・発達障害支援実践コース・各コースフレックスクラスを除く

教師教育の分野における教育研究を国際的にリードするグローバル人材の養成を目的に、3年間で本学大学院修士課程[在学期間:1年6カ月]と韓国または台湾の協定大学の大学院修士課程[在学期間:1年6カ月]の教育課程を履修するものです。修了時には本学と協定大学の双方の学位を取得できます。

協定大学

- ▶ 大邱教育大学校(韓国)
- ▶ 京仁教育大学校(韓国)
- ▶ 屏東大学(台湾)
- ▶ 台北教育大学(台湾)
- ▶ 高雄師範大学(台湾)

現場の子育て支援課題に対応する力を養う

子育て支援コーディネーター 養成プログラム

対象 修士課程の「幼年教育・発達支援コース」に所属する学生

今日、幼保連携型認定こども園、幼稚園、保育所では子育て支援機能の充実が図られており、地域においてもさまざまな子育て支援事業が展開されています。そのため、保護者支援や地域連携などの子育て支援の専門性が強く求められています。本プログラムでは、修士課程の幼年教育・発達支援コースの学生を対象に、多様化する子育て支援の課題に対応するための専門性を身に付けた人材を養成します。本学の子育て支援ルームや附属幼稚園、地域の子育て支援施設での演習を含む所定の科目の単位を修得することにより、「子育て支援コーディネーター」の認定証が授与されます。

兵庫教育大学では、各専攻・コースの正規カリキュラムに加え、現代的な教育課題やニーズに対応した多彩な教育プログラム等を開設しています。各専攻・コースで自身の専門性を高めるとともに、教育プログラム等で教員としての多様な能力の向上や教員としての幅を広げてください。

健康教育を実践できるスペシャリストを目指す

健康教育実践プログラム

対象 修士課程の「学校心理・学校健康教育・発達支援コース」または「生活・健康・情報系教育コース」に所属する学生

児童生徒の健康課題は、飲酒、喫煙、薬物乱用、問題ある性行動などの危険行動、心の健康問題、食習慣の乱れ、運動不足、睡眠不足、インターネットの過剰使用、アレルギー性疾患など複雑化、多様化しており、学校には、健康に関わる社会的要因を踏まえ家庭・地域、専門機関等と連携した健康教育が求められています。本プログラムは、そのような健康教育の開発、実施、評価等の実践力の向上を目指します。健康教育の基礎的内容に関する2科目から2単位以上、専門的内容に関する8科目から8単位以上履修することにより、履修証書を取得できます。

理科の実験・観察指導のスペシャリストを養成

コア・サイエンス・ティーチャー (CST) 養成プログラム

対象 専門職学位課程の「理数系教科マネジメントコース(理科)」に所属する学生

実験や観察を中心とした科目群を履修することで、児童生徒に理科の面白さを伝えることができる知識と技能を修得し、地域の初等・中等教育の場で指導的な役割を担う理科教員の養成を目的としています。

専門職学位課程(教職大学院)の理数系教科マネジメントコースで開設する授業科目から所定の単位を修得の上、CST養成プログラム運営室が認定した演習やセミナー等に出席することにより、履修証書を取得できます。

理数系教員養成特別プログラムとの重複受講が可能です。

臨床心理学の最新の知見により心理支援実践力を養う

心理支援実践プログラム

対象 修士課程の「臨床心理学コース(フレックスクラス)」に所属する学生

現場の課題解決を目標とするフレックスクラスでは、医療・保健、教育、福祉、産業・労働、司法の各領域における心理支援実践力を包括的に養うために、在学期間中を通して心理支援実践事例研究(ケースカンファレンス)を行います。それに加えて、臨床心理士・公認心理師資格に係る高度な専門科目によって心理支援の最前線について学びます。本プログラムの修了証書は、心理支援実践事例研究の単位と両資格に係る所定の単位の履修により取得できます。

※本プログラムでは臨床心理士・公認心理師の受験資格を取得できません

就労支援技術を修めた心理的支援の専門家を養成

厚生労働省認可 職場適応援助者養成研修 (令和7年度新設予定)

※訪問型職場適応援助者養成研修機関として厚生労働省に申請準備中であり、予定している開設有無や時期等が変更となる可能性があります

対象 就労支援領域での心理的支援を行うことを希望する修士課程の「臨床心理学コース(昼間クラス)」に所属する学生(10人程度)

今日高まっている精神障害、発達障害のある方々への社会移行や就労支援のニーズに応えるため、臨床心理学コースでは厚生労働省認可の職場適応援助者養成研修を大学院として国内で初めて開設する予定です。職場適応援助者とは障害者の職場適応を行うための専門人材を指し、本研修ではインクルーシブな社会(産業)環境構築に寄与する心理的支援の専門家を養成・輩出することを目的としています。

障害の中でも特に精神障害、発達障害のある方々を対象とした就労支援・職場定着支援や企業実習、それらに関する認知行動療法をベースにした心理的支援技術の研修を実施します。また、障害科学コースともタイアップし、各障害特性に関する基礎的な知識や就労上の課題などについて、より専門性の高い講義を受講できます。公認心理師養成課程を修了後、受講者が臨床活動を行う地域にある独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の障害者職業センターに登録することで、訪問型職場適応援助者(通称ジョブコーチ)として活動できるようになります。

大学院で小(中)学校の
教員免許状を追加で取得

小中連携教育プログラム

詳細はp.3を参照

博士課程への進学を見据えた
よりアカデミックなスキルを修得

研究力向上特別プログラム

詳細はp.64を参照

修学支援

入学料・授業料(令和6年度入学生)

入学料 28万2,000円 入学手続き時に納付

年間授業料

一般学生(2年)	長期履修学生許可者(3年) 理数系教員養成特別プログラム受講者を含む ※通常の2年分の授業料を3年間で分割納入することになります	小学校教員養成特別コース(3年制コース)
53万5,800円	35万7,200円	53万5,800円

年額の2分の1を2回(前期・後期)に分けて納付【納付期間】前期5月1日～31日、後期11月1日～30日

●在学中に授業料の額が改定された場合は、その時点から新たな授業料が適用されます ●2年次から、長期履修学生(3年)から標準修業年限(2年)への変更を許可された場合、標準修業年限(2年)と長期履修学生(3年)の授業料の金額(前期・後期合計)の差額17万8,600円を1年次の許可時に納付していただきます。また、2年次から新たに長期履修学生(3年)になることを許可された場合、2年次前期分から長期履修学生(3年)の授業料の金額を納付していただきますが、入学当初からの長期履修学生より授業料(3年)の総額が17万8,600円増となります。

長期履修学生制度

職業を有しているなどの事情により、2年の修業年限で教育課程を履修することが困難な学生を対象に、計画的に教育課程を履修することができる「長期履修学生制度」を設けています。この制度を利用すれば、3年をかけて自分のペースで無理なく授業や研究指導を受けられ、学業と仕事を両立しやすくなります。

●長期履修を申請できる人

- ▶フレックスクラス志願者で職業を有する等の事由のある者
- ▶理数系教員養成特別プログラム受講申請者

入学料の免除(全額または一部免除)

条件: 経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。または入学前1年以内に学資負担者が死亡もしくは風水害等の災害を受け、納付が著しく困難であると認められる場合。

授業料の免除(全額または一部免除)

条件: 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者。または各期の納期前6カ月以内(新入生は入学前1年以内)に学資負担者が死亡もしくは風水害等の災害を受け、納付が著しく困難であると認められる場合。

令和5年度実績

● 入学料免除	● 授業料免除(社会人経験のある学生および現職教員学生対象の授業料免除を除く)	
申請者21人	前期分: 申請者41人	後期分: 申請者46人
全額免除…0人	全額免除…24人	全額免除…28人
4分の3免除…12人	4分の3免除…7人	4分の3免除…10人
半額免除…8人	半額免除…7人	半額免除…5人

奨学金制度等

日本学生支援機構の奨学金

日本学生支援機構では、学業、人物がともに優れ、経済的な理由により修学が困難であると認められる者を対象に、奨学金を貸与しています。貸与月額は第一種奨学金は5万円または8万8,000円、第二種奨学金は5万円、8万円、10万円、13万円、15万円の中から選択します(令和5年度入学生実績)。

奨学金受給者数(令和6年2月現在)

第一種58人、第二種16人

※長期履修学生の第一種奨学金は3年間のうち2年間の貸与となります
※詳しくは日本学生支援機構ウェブサイト <http://www.jasso.go.jp/> をご覧ください

兵庫教育大学独自の奨学金・授業料免除等

<p>社会人経験のある学生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業料の免除 「学び直し」やスキルアップを図りたい社会人経験のある学生を対象に、就学機会を確保するための授業料を免除する制度です。 【免除対象者】現在職に就いている者／2年以上の社会人経験(家事・家事従事を含む)のある者 【令和5年度実績】前期分：全額免除…15人(申請者25人) 後期分：全額免除…14人(申請者23人)
<p>教員採用猶予制度を活用して大学院学校教育研究科に入学した学生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 奨学金の給付(兵庫教育大学特例制度利用者奨学金) 教員採用猶予制度を活用して大学院学校教育研究科に入学した学生に対し、申請によって奨学金を給付します。
<p>現職教員学生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業料の免除 大学院修学休業制度利用者(勤務先から給与等が支給されない現職教員学生)は申請によって、他の授業料免除とは別枠で授業料を免除する制度があります。 【令和5年度実績】前期分：全額免除…15人(申請者15人) 後期分：全額免除…15人(申請者15人)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究経費の助成 大学院で取り組む実践的な研究に対して経費を助成します。 【応募資格】現職教員学生(当該年度中に収入が無い者(大学院修学休業制度利用者)を優先します) 【助成金額】1人当たり年間10万円
<p>大学院学校教育研究科1年に在籍する学生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究経費の助成(大学院同窓会研究助成金) 大学院で取り組む研究に対して経費を助成します。入学後に申請し、1年次1月から2年次2月まで使用できます。 【助成金額】1人当たり20万円
<p>大学院学校教育研究科(全学年)に在籍する学生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 奨学金の給付(兵庫教育大学学会発表奨励金) ファーストオーサーとして全国的な学会で行う発表に対して、申請によって奨励金を給付します。 【給付金額】学会開催地により決定(1人当たり最高3万円)
<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大による家計急変のあった学生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 入学金・授業料の一部免除 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による収入減少があった者のうち、当該事由に基づく公的支援を受給している者、または事由発生後の世帯収入が家計急変前と比較し、2分の1以下となっている者を対象に、入学金および授業料の3分の1の額を限度として免除する制度です。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 入学金・授業料の徴収猶予 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による収入減少があった者のうち、申請により入学金・授業料の納付が猶予されます。
<p>小学校教員養成特別コース(3年制コース)に在籍する学生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業料の免除 2年次に教員採用試験に合格し、かつ教員採用猶予制度を利用して3年次に進級する学生に対して、3年目の授業料を免除します。
<p>海外に留学する学生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外留学支援授業料免除 海外の協定大学に派遣留学する、学業成績が特に優秀であると認めた学生に支給します。 【免除金額】1年間の授業料全額
	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外留学支援特別奨学金 海外の協定大学に派遣留学する、学業成績が優秀な学生に支給します。 【支給金額】米国、ドイツ、スイス、フィンランド、チェコ、ラトビア…1人当たり30万円 中国、韓国、台湾、タイ、ベトナム、カンボジア…1人当たり10万円
<p>本学附属学校教員大学院派遣制度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 入学金・授業料の免除 教育委員会との人事交流により本学附属学校園に派遣された教員のうち、一定の要件を満たし、校園長の推薦を受け、学長が認めた者について、大学院に入学できる制度を設けています。

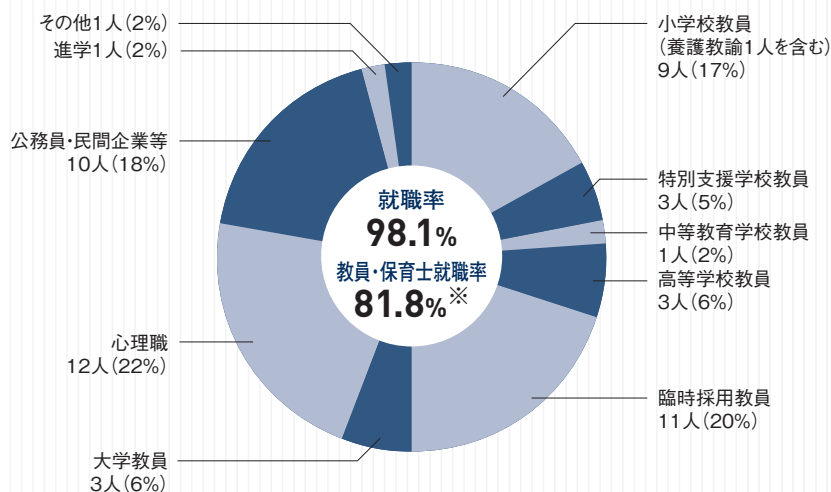
修了後の進路・就職

教職をはじめ、保育士、心理職に従事する人など
多様な分野で活躍しています。

令和4年度 大学院学校教育研究科修了者の就職状況

(現職教員・留学生等を除く就職・進学を希望する者) 令和5年9月30日現在

修士課程 (54人)



※臨床心理学コースを除いて算出した数値

ほとんどの修了生が
教職や心理専門職に
就いています

主な就職先

教員 (臨時採用教員含む)

兵庫県6、神戸市3、大阪府2、京都府2、神奈川県2、奈良県1、和歌山県1、長野県1、岡山県1、佐賀県1、宮崎県1、熊本県1、鹿児島県1、沖縄県1、国公立2、私立4

心理職

病院・クリニック、行政心理職、家庭裁判所調査官、教育・福祉系施設 他

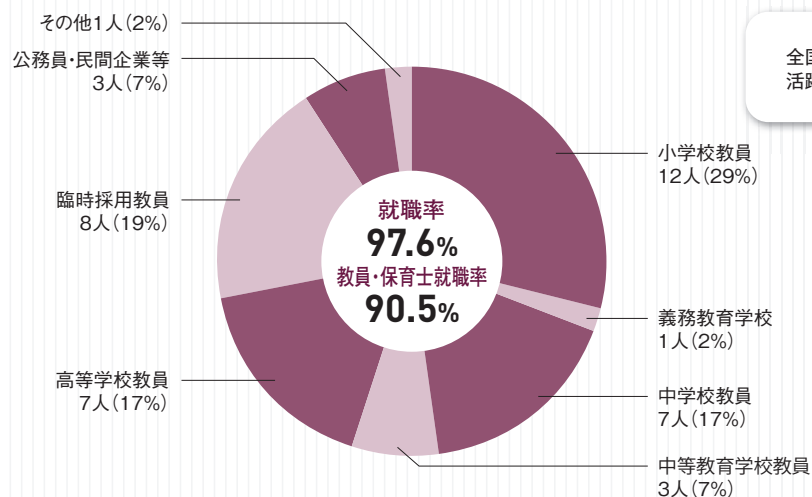
公務員・民間企業等

専門学校教員、学校事務、地方公務員、福祉系企業 他

進学

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科

専門職学位課程 (42人)



全国の自治体で
活躍しています

正規合格率**73.8%**
(入学前または在学中に特例
進学制度を活用した学生は8人)

主な就職先

教員 (臨時採用教員含む)

兵庫県18、神戸市4、大阪府2、広島市2、鳥取県2、神奈川県1、滋賀県1、香川県1、高知県1、福岡県1、私立5

公務員・民間企業等

地方公務員、協同組合、経済団体等

キャリア支援

教職キャリア開発センターでは、教員就職支援を中心に学生の多様なニーズに応じた支援を行っています。

就職支援

- ▶ 公立学校校長等経験者による就職相談
- ▶ 教員採用試験対策特別講座、筆記講座 など
- ▶ 教員採用試験対策模擬試験
- ▶ 教員採用試験対策模擬面接
- ▶ 教員採用試験学内説明会
- ▶ 就職に関する書籍の貸出、情報提供 など



集団模擬面接

ちょっと気になるQ&A

Q どのような支援を受けることができますか。

教職キャリア開発センターでは、教員・保育士希望の学生向けに元小学校・中学校・高等学校校長等による個別面談を実施しています。面談では、面接・模擬授業対策から小論文添削等に至るまで幅広く対応しています。

Q 兵庫県以外の教員採用試験に対応していますか。

各自治体の面接試験内容に応じた面接練習を行っています。また、全国の教員採用試験の筆記試験の過去問をそろえています。大学院は兵庫県以外の出身者も多く、修了後は全国の自治体で活躍しています。

Q 大学院進学による教員採用試験の優遇措置やメリットはありますか。

大学院進学や在学を理由とした採用候補者名簿登載期間の延長のほか、教職大学院修了見込みの学生を対象とした特別選考（1次試験免除）の実施など特例的な措置がある自治体もあります。受験する自治体によっては大学院在学中に2回教員採用試験にチャレンジできます。

また、教員就職後は、大学院修了や専修免許状取得により給与面でも優遇されます。

大学院連合学校教育学研究科(博士課程)

本大学院修了見込みで出願の場合 博士課程進学時の検定料・入学料免除！ 修了者の6割以上が国公立大学等に採用

連合学校教育学研究科は、兵庫教育大学を基幹大学とし、上越教育大学、岐阜大学、滋賀大学、岡山大学、鳴門教育大学の6大学が連合して構成している後期3年だけの博士課程です。

実践に根ざした学校教育学を独自の学問分野として確立し、今日の

教育課題の解決と学校教育の質的改善・改革に貢献することを目的としており、学校教育実践について高度で専門的な研究を行い、学校教育実践学および教科教育実践学の分野において自立して研究・実践できる研究者や専門職教育者を養成しています。

博士課程への進学を見据え、よりアカデミックなスキル修得を希望する学生向けの教育プログラムです。

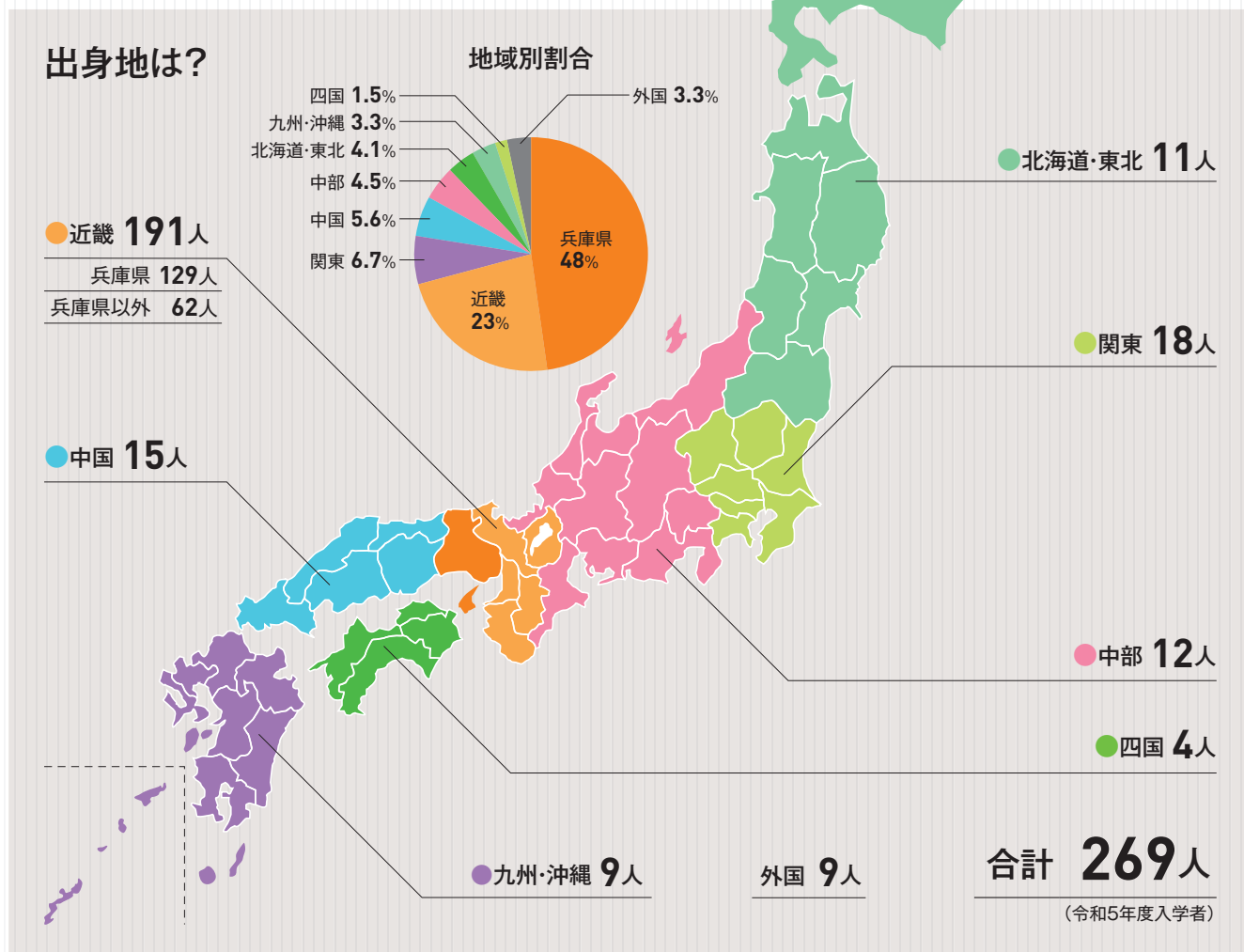
研究力向上特別プログラム

対象 専門職学位課程に所属する学生

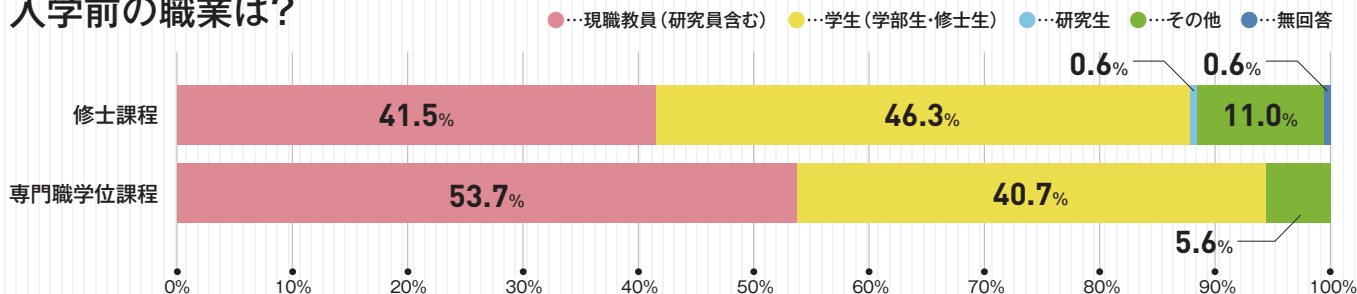
個々の研究テーマに応じたアカデミック性の高い追加のゼミ指導を受けることで独自の研究成果を上げ、学会で発表することを目指します。

データで見る 大学院生のキャンパスライフ

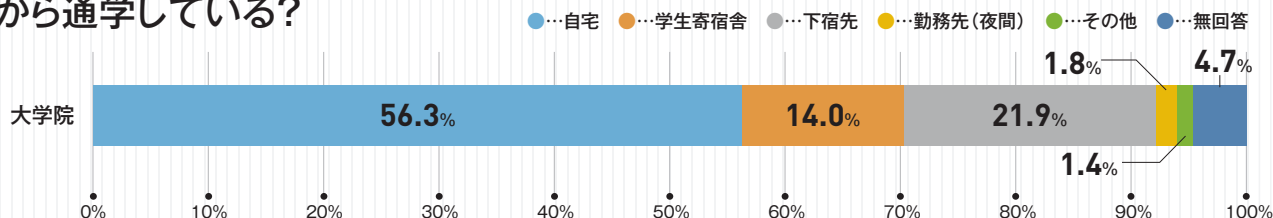
全国各地から集まった多彩な経歴の学生が在籍。
互いに刺激し、学び合える仲間との出会いが待っています。
また、キャンパス内にある学生寄宿舍は、
移動時間が削減できて非常に便利です！詳しくはp.68へ。



入学前の職業は？



どこから通学している？



学びをサポートする充実の環境

加東キャンパス

院生研究室



各コース・分野等では、大学院生の研究活動や協同的な学びを促進する目的で独自に研究室を設けています。学生同士の交流も活発に行われています。

附属図書館



平日は22時、土日祝日は17時まで開館し、蔵書は教育関係資料を中心に約36万冊。大学院生は15冊まで借りることができます。教材文化資料館を附置しています。

ラーニングcommons



総合研究棟、附属図書館、大学会館にある学生たちの自主的な学びのための共有スペース。研究やグループ学習、就職対策などに活用できます。

大学会館



食堂、売店、ベーカーリーカフェ、書店、ATMコーナー、和室、ボランティアステーション等が設けられ、課外活動での利用や大学内における生活上の利便が図られています。

教育実習総合センター



教職大学院や学校教育学部における学校等での実習を円滑に行えるよう支援しています。

発達心理臨床研究センター



発達心理臨床に関する高度な知識・技能を有する教員および心理専門職を育成しています。地域の方の心理的な相談に対応しています。神戸キャンパスに分室（臨床心理相談室）を設置しています。

神戸キャンパス

院生合同研究室

広さは約120㎡。グループワークにも活用できるオープンなデスクスペースと各席をパーティションで仕切った個別スペースがあります。個別スペースでは、共用のノートパソコンを使えるので研究に集中できます。オンラインブースは1人用と4人用があり、オンライン授業を受けられるほか、個室としても利用可能。くつろぎながら読書できるスペースも設けています。

ICT教育室+ STEAM Lab

約114㎡のICT教育室には、ノートパソコン24台やグループ学修に活用可能なモニターを設置。グループでの発表や学修に最適なプレゼンテーションスペースも併設しています。同じフロアにあるSTEAM Labには3DプリンターなどSTEAM教育やEdTechの実践につながる教材・備品等がそろっています。

KATO Campus Map

丘陵地に広がる加東キャンパスには多彩な施設がそろっており、学生寄宿舎も敷地内に並んでいます。加東市の中心地からも比較的近く、周囲の自然に恵まれた立地は学びにも生活にも最高の環境です。

キャンパス
パートナー

兵庫県立美術館
兵庫教育大学の学生は無料(一部有料)で各展覧会を観覧することができます。



10 総合研究棟(学生ホール)



3 自然、生活・健康棟



4 体育棟



1 講堂

1 講堂	8 情報処理センター	15 ラグビー・サッカー場
2 教育・言語・社会棟	9 事務局	16 和弓場
3 自然、生活・健康棟	10 総合研究棟	17 野球場
4 体育棟	11 教育子午線ホール	18 陸上競技場
5 芸術棟	12 発達心理臨床研究センター	19 ソフトボール場
6 共通講義棟	13 大学会館(食堂、バーカリーカフェ、書店、売店)	20 体育館
7 附属図書館	14 テニスコート	21 武道場

加東キャンパスで履修するコース(昼間クラスのみ)

修士課程	人間発達教育専攻	教育コミュニケーションコース
		幼年教育・発達支援コース
		学校心理・学校健康教育・発達支援コース
		芸術表現系教育コース
		生活・健康・情報系教育コース
特別支援教育専攻	障害科学コース	
	発達障害支援実践コース	
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	学校経営コース
		教育方法・生徒指導マネジメントコース
		言語系教科マネジメントコース
		社会系教科マネジメントコース
		理数系教科マネジメントコース
		小学校教員養成特別コース(3年制コース・2年制コース)
		グローバル化推進教育リーダーコース

学生寄宿舍

加東キャンパス東側の「学生寄宿舍エリア」に、学生の勉学に適する環境を提供することを目的として単身用学生寄宿舍7棟(全560室)を設置しています。また、加東市内には学生向けのマンションやアパートなどもあります。

入居資格・寄宿料等について(令和6年度)

学生寄宿舍の入居者は大学が選考のうえ決定します。入居者は光熱水料、共益費なども負担しなければなりません。

入居者の選考基準について

- ① 片道通学所要時間
- ② 同一生計世帯全員の年間所得
- ③ 身体障害、風水害等の災害および不慮の事故等
- ④ その他特に考慮すべき場合

単身用学生寄宿舍

1カ月の負担額(目安)	約1万5,000円
寄宿料	4,300円(月額)
光熱水料	電気・ガス・水道料金
共益費	4,500円(月額)

全室に
光インターネット
回線を完備

学生寄宿舍の詳細はこちら!

<https://www.hyogo-u.ac.jp/campuslife/dormitory.php>



※学生寄宿舍は計画的な整備・改修工事を行っています。改修工事の際には、他の棟への転居(引越し)に協力いただく場合があります

KOBE

Campus Floor Guide

教職等の仕事と両立しながら通えるよう、2駅3路線が利用可能な神戸市長田区の「新長田キャンパスプラザ(仮称)」に移転開設。3フロア、延べ床面積約3,700㎡には図書室や学生ラウンジなど充実したキャンパスライフを送るための環境を整えています。

6階

- 臨床心理相談室
- 面接室(4室)
- プレイルーム(4室)
- 観察室、検査室
- 臨床心理相談室(事務室)
- 臨床心理相談準備室
- その他 演習室、プロジェクト室

7階

- 演習室(8室)
- 院生合同研究室
- 図書室
- 学生ラウンジ
- 学生相談・休養室
- 連合大学院室(博士課程)
- 事務室

8階

- 講義室・演習室(9室)
- STEAM Lab
- ICT教育室
- 多目的室

神戸キャンパスで履修するコース

修士課程	人間発達教育専攻	教育コミュニケーションコース F
		幼年教育・発達支援コース F
		学校心理・学校健康教育・発達支援コース F
		臨床心理学コース 昼 F
		芸術表現系教育コース F
		生活・健康・情報系教育コース F
	特別支援教育専攻	障害科学コース F

専門職学位課程	教育実践高度化専攻	学校経営コース F
		教育方法・生徒指導マネジメントコース F
		言語系教科マネジメントコース F
		社会系教科マネジメントコース F
		理数系教科マネジメントコース F
		グローバル化推進教育リーダーコース F
		教育政策リーダーコース F ※
		授業実践課題探究コース F

● 昼間クラス ● フレックスクラス(授業等の実施方法はp.5を参照)

※…神戸キャンパスでの集中講義のほか、出張講義やビデオ教材等を用いた授業を実施します

注) ●専攻・コースにおける入学者の状況や希望により変更する場合があります。

●修士課程の課題研究と研究指導は、指導教員等と学生が相談の上、曜日・時限を設定することになります。

●修士課程の共通科目(選択必修)および神戸キャンパスの特別支援教育プログラムの一部の科目は、土・日曜や休業期間中に集中講義として開講します。

●各専攻・コースの専門科目のうち集中講義で行う授業科目は、加東キャンパスで開講することがあります。

●演習科目の一部と実習・実技科目は、土・日曜や集中講義形式等により加東キャンパスで開講することがあります。

加東キャンパス

加東市下久米942-1



アクセス

車の場合

大阪国際空港から中国自動車道経由 約45分
 JR新大阪駅から中国自動車道経由 約60分
 三宮(神戸市)から新神戸トンネル、国道428号経由 約60分

公共交通機関の場合

JR新大阪駅 ... ハイウェイ約65分 ... 高速社(中国自動車道) ... 兵教シャトル便 約5分
 JR三ノ宮駅 ... ハイウェイ約55分 ... 高速社(中国自動車道) ... 兵教シャトル便 約5分
 JR姫路駅 徒歩約80分 ... 社車庫前(案内所) ... 徒歩 約12分

神戸キャンパス ※移転後の情報です

神戸市長田区腕塚町5-2-1 新長田キャンパスプラザ(仮称)6~8階



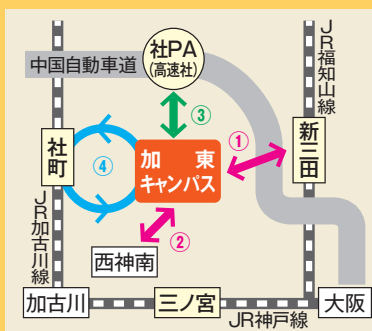
アクセス

公共交通機関の場合

JR・神戸市営地下鉄「新長田」駅から
 徒歩約7分

安心して通学できる環境

通学や生活に便利なカレッジバス(無料)



神戸・大阪方面からの学生の通学や、マイカーを持っていない下宿生の生活をサポートするため、加東キャンパスと各地を結ぶカレッジバスを4ルート運行しています。

時刻表など詳細はこちら→



電車の時刻や授業に合わせて運行

- ① 新三田シャトル便 JR新三田駅→加東キャンパス 平日(年末年始を除く)3往復
- ② 西神南シャトル便(試行運行) 神戸市営地下鉄西神南駅→加東キャンパス 平日(年末年始を除く)3往復

高速バスの時刻や授業に合わせて運行

- ③ 兵教シャトル便 高速社→加東キャンパス 平日(年末年始を除く)20往復 ※来学者も利用できます

買い物などに便利! 加東市内を循環

- ④ 加東ループ便 JR社町駅→イオン社店→加東市街→高速社→加東キャンパス 平日(年末年始を除く)4往復(1周約70分)

兵庫教育大学のビジョン

- 1 教師教育のトップランナー
- 2 学生の持てる力を最大限に引き出す大学
- 3 成長し続ける大学

兵庫教育大学のミッション

- 1 現職教員に対する高度な専門性と実践的指導力の育成
- 2 豊かな人間性と確かな実践力を持った新人教員及び心理専門職の養成
- 3 教育実践学の推進
- 4 教師教育の先導的モデルの構築
- 5 教育研究成果の国内外への発信

問い合わせ先

入試について 入試課 ☎ 0795・44・2067

カリキュラム・教員免許状について 学務課 ☎ 0795・44・2040

国立大学法人
兵庫教育大学

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1 <https://www.hyogo-u.ac.jp/>
令和6年4月発行